A110

ALPINE



お車をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、次のことに必要な情報が含まれています。

- -車の知識を高め、最適な状態で使用することにより、この車の持つ性能を最大限にご利用ください。
- メンテナンスに関する簡単かつ的確な知識を得ることにより、車の最良の機能性を維持していただく。
- 技術者の修理の必要ない簡単なトラブルに素早く対処できる知識を身につけていただく。

本書には、車の各機能および新機能をご理解いただくにあたって大いに役立つ情報が記載されています。 内容について疑問に 思うことがご ざいましたら、お近くの指定サービス工場にお問合せください。特定の点についてまだ不明な点がある場合は、 当社のネットワーク技術者が追加の情報を提供いたします。

取扱いに役立つ指針については、次の記号の付いた記載をご覧ください。

▲ 車両に記されている場合、車両の装置について、詳細な情報または操作の制限を確認するために、取扱説明書を参照してください。

→ (取扱説明書のいずれかにページの記載)。



(取扱説明書のいずれかに、警告、危険、安全上の注意の記載)。

この注意事項におけるさまざまなモデルの説明は、本書の構想の際に分かっていた技術仕様に基づいて作成されました。 「クイック」ガイドには該当モデルの全バージョンの装備がまとめられています(標準装備とオプション装備を含む)。車両の各装備の有無はバージョン、オプションや販売国によって異なる場合があります。

| 同様に、同年内に導入が予定される新装備につきましても記載される場合がありますのでご了承ください。

取扱説明書の図は、例としてのみ提供されているものです。

満足のいくカーライフをお楽しみください。

フランス語からの翻訳。たとえ部分的であっても , 自動車メーカーの許諾書なしに本書の複製または翻訳をすることは、固く禁じられています。

要約

あなたのお車について知っておきましょう4	タイヤ空気圧モニターシステム109
カードキー4	ドライビングアシストと補正装置112
キー、リモコン11	スピードリミッター116
ドアと開閉部12	クルーズコントロール118
フロントシート17	パーキングアシスト121
シートベルト19	快適装備125
補助の安全装置22	エアベンチレータ、ヒーター、エアコン125
子供を乗車させるとき28	マルチメディア装備132
チャイルドシート33	室内装備133
お子様の安全: 助手席エアバッグの作動解除/作動40	各部の収納スペース136
ドライビングポジション43	荷物を積み込む138
オンボードコンピューター48	点検整備141
警告灯67	エンジンへのアクセス、レベル141
ステアリング71	バッテリー:153
リアビュー72	エアロパーツ155
ランプ類73	クリーニング156
ホーン/パッシングランプ/ハザードランプ/方向指示	使用上のアドバイス159
灯75	タイヤ159
ワイパー76	車両故障時の対処の仕方170
燃料タンク79	ヘッドライト、ランプ: 電球の交換176
発進する81	カードキー179
慣らし運転81	ワイパーブレード: 交換181
エンジン始動と停止82	ヒューズ182
走行モードの選択88	オーディオ(標準装備)187
スタンディングスタートの手順90	アクセサリの取付けと使用: 重要な推奨事項188
シフトコントロール92	作動異常189
ガソリン車についての注意事項98	テクニカルスペック194
パーキングブレーキ故障100	車両に関する情報194
地球にやさしい車づくり104	部品および修理
メンテナンスと環境に優しい運転のアドバイス105	整備証明
ドライビングアドバイス、FCO-ドライブ 106	TE MU hr. 2)1

要約

防錆点検......210

「概要」の項を参照してくださ



カードは、ケースに収納されていま す。

- ロッ ク解除
- 2. すべてのドア/テールゲートの ロック。
- 3. リモート操作によるライトの点灯
- 4. リアラゲッジルームのロック / ロック解除。
- 5. 内蔵キー

カードで次のことができます:

- 開口部 (ドア、トランクルーム) お よ びフューエルリッドのロック/ ロッ ク解除(以降のページを参 昭)。

- リモート操作によるルームランプの 点灯(以下のページを参照してくだ さい):
- エンジンの始動(2章の「エンジン の始動」の項を参照してください。)

交換時期

26787

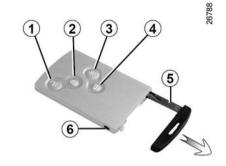
雷池の状態、タイプ、プラス/マ イナ スが正常かを確認してくだ さい。電 池の寿命は約2年です。「カードキー バッテリー低下」のメッヤージがイン ストルメントパネルに表示されたら、 電池を交換してください。(5章の 「カード:電池」の項を参照)。



電池が切れても、施錠/解 錠およびエンジンの始動は 可能です。1章の「ドアの 施錠と解錠」の項および2章の

「エンジン始動」の項を参照して ください。

カードキーの作動範囲



周囲の条件により異なります。知らず にルノーカードキーの施錠または解錠 ボタンを押さないようご注意くださ い。



カードをケースに収納する 場合、1、2、3、4のボタ ンがケースのマークと反対 側になるようにカードを反転しま

す。

内蔵キー5

内蔵キーを使用して、カードが機能し ないときに左フロントドアをロックま たはロック解除できます:

カードキー

- カードキーの電池が消耗している、 または切れている場合
- 使用しているカードキーと同じ周波 数の機器を使用している場合。
- 強い電磁波の影響内に車両がある 時。

キー 5 へのアクセス

カードをケースから抜き取ってくださ い。ボタン6を押し、キー5を引いて からボタンを放します。

キーの使用方法

「ドアの施錠と解錠」の項を参照して 下さい。

内蔵キーを使用して車内に入ったら、 カードのケースにキーを戻します。 カードをケースに収納します。



駐車または停車時のドラ イバーの責任

お子様、ひとりで動けな い成人、ペットを車内に

残して、たとえ短い時間でも絶対 にお車から離れないでください。 彼らがエンジンを始動したり、パ ワーウインドウやドアロックなど の装置を作動させると大変危険で す。

その上、暑く晴れた日には、車内 の温度は急に上昇します。

死亡または重傷のおそれがありま す。



アドバイス

カードを熱気、冷気および 湿気に さらさないでくだ

さい。

カードを曲がったり、誤って損傷 したりする恐れのある場所に入れ ておかないでください。衣服の後 ろポケットなどに入れると、その まま座ってしまうことがありま す。



j カードの作り替え: 追加 カードが必要

カードを紛失したり、カー ド交換が必要となったりした場合 には、正規ディーラーにご連絡く ださい。

カードを作り替える場合は設定を 入れ替えますので、お持ちのすべ てのカードと車両を正規サービス 工場へお持ちください。

1 台につきカードは最大 4 枚ま でご使用いただけます。



駐車または停車時のドラ イバーの責任

お子様、ひとりで動けな い成人、ペットを車内に

残して、たとえ短い時間でも絶対 にお車から離れないでください。 彼らがエンジンを始動したり、パ ワーウインドウやドアロックなど の装置を作動させると大変危険で す。

その上、暑く晴れた日には、車内 の温度は急に上昇します。

死亡または重傷のおそれがありま す。

「ハンズフリー」カード

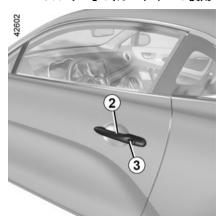
使用方法



車両を施錠 / 解錠するには次の2つの 方法があります:

- 「ハンズフリー」式カードキー、 - リモコンモードのカードキー。
 - (i) カードを携帯する時、他の 電子機器(コンピュー ター、電話など…)に接触 しないようにして下さい。故障の 原因となります。

「ハンズフリー」式カードキーの使用

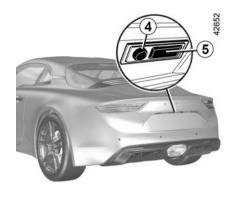


車両のロック解除

カードをエリア1に入れ、車両を施錠 し、いずれか1つのフロントドアのハ ンドル2のボタン3を押します。車両 が解錠されました。

ボタン4またはボタン5を押すとトラ ンクが開き、その他のドアが解錠され ます。

解錠されると、ハザードランプとサイ ドマーカーが 1 回点滅します。



注: ボタン3を押して解錠した後は施 錠が抑制されるため、解錠後3秒間は 再度車両を施錠することができませ ha

カードのボタンを押して車 両またはラゲッジルームを ロック/ロック解除する

と、車を離れるときにロックされ る機能とハンズフリーモードによ るロック解除機能は作動しませ ha

「ハンズフリー」機能を復旧する には、車両を再発進させます。

障害物

カードキー

近くにリモコンと干渉する機器(外部 設置、またはカードと同じ周波数を使 用する機器)がある場合、リモコンは 作動しないことがあります。

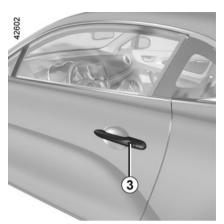
解錠システムの専用機能

非作動な状態が3日間続くと、ボタン3 またはボタン4を押して解錠する機能 は無効になります。リモコンを押すと 車両のロックが解除し、モードが再作 動します。



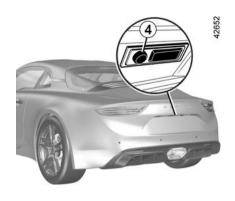
車両のロック

エリア1にカードを入れ、ドアとトランクが閉まっている状態でいずれかのフロントドアのボタン3を押すか、またはトランクルームのドアのボタン4を押します。車両が施錠されます。ロックされると、ハザードランプとサイドマーカーが 2 回点滅します。



ロックシステムの専用機能

ボタン3またはボタン4を押して施錠した後に車両を再度解錠するには、3秒間ほど待つ必要があります。この3秒間にドアハンドルに触って、車両が正しく施錠されているか確認することができます。



開閉部(ドア、トランク、ボンネット)が開いているか、完全に閉じていない場合、ボタン3またはボタン4を押して施錠すると、ハザードランプと方向指示灯が点滅せずに車両は施錠し、続いて素早く解錠します。



4265

カードをリモコンとして使用する

7 8

カードがエリア6内にあるときは、車両を施錠できません。

カード の検出不可能の警告音「ハンズフリー」

エンジン作動中にドアを開閉したときにカードキーがエリア6にない場合、インストルメントパネルに「カードキー 検出なし」のメッセージが15秒間ほど表示され、警告音が鳴ります。カードがエリア6に再び置かれると、警告は消えます。

カード を使用した解錠 ボタン 7 を押します。

解錠されると、ハザードランプと方向 指示灯が1回点滅します。



エンジンが作動している と、カー ドのボタンは非 作動になります。

カードキーを使用して車両を施錠する ドア、トランク、ボンネットを閉じ て、ボタン8を押します。車両は施錠 されます。 ロックされると、ハザードランプとサイドマーカーが 2 回点滅します。

注: 車両を施錠できる最大距離は、周辺環境によって異なります。



カードキーを車内に置い たまま、決して車両から 離れないでください。

<u>(i</u>

アドバイス

スタンバイ時に車両のの早期放電を防止するには、 カードを車両から 5 メートル以

上離してください。



駐車または停車時のドラ イバーの責任

お子様、ひとりで動けない成人、ペットを車内に

残して、たとえ短い時間でも絶対にお車から離れないでください。 彼らがエンジンを始動したり、パワーウインドウやドアロックなどの装置を作動させると大変危険です。

その上、暑く晴れた日には、車内の温度は急に上昇します。

死亡または重傷のおそれがありま す。

スーパーロック機能



スーパーロック装備車の場合、スーパーロック機能で開閉部をロックし、車内からドアを開けられないようにすることができます(ウインドーを割って内側からロック解除を試みる場合などに備えて)。



車内に人が乗っていると きは、ス ーパーロック 機能は絶対に作動さ せ ないでください。

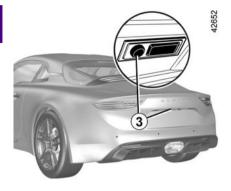


カードキー仕様車 ボタン1を素早く2回押します。

「ハンズフリー式」カード装備車

車両を解錠した状態では、運転席ドアのボタン2、そして助手席ドアまたはトランクのボタン3を続けて素早く押すこともできます。

どちらの場合でも、警告灯と方向指示 灯がゆっくり2回、そして素早く3回点 滅して施錠を知らせます。

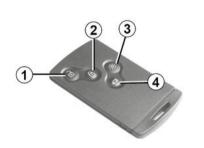


特徴:スーパーロック機能はハザード ランプまたはスモールランプが点灯し ているときは作動しません。

キー、リモコン

使用方法

ドアおよびラゲッジルームのロ ッ ク解除



ボタン 1 を押します。

アンロックされるとハザードランプが 1回だけ点滅します。

運転席ドアのみが解錠している場合:

- ボタン1を押すと、運転席側ドアと フューエルフラップのみが解錠しま す。
- ボタン1を2回押すと、ドアとトラン クルームが解錠します。

ドアおよびラゲッジルームのん。 ロック

施錠ボタン2を押します。ハザードラ ンプが2回点滅して、車両が施錠した ことを知らせます。開閉部(ドア、ト ランク、ボンネット) のいずれかが開 いていたり、正しく閉じていない場 合、またカードがリーダーの中に入っ たままの状態である場合、開閉部は施 錠してから素早く解錠し、警告灯は点 滅しません。



エンジンが作動している と、カー ドのボタンは非 作動になります。

ハザードランプの点滅によって車 両の状態が分かります:

- 1 回点滅した場合、車両は完 全 に解錠されています。
- 2 回点滅した場合、車両は完 全に施錠されています。

車両がロック解除されても ドアを開けないで 2 分経 過すると自動的に再度ロッ クされます。

リアラゲッジルームのみの施錠 / 解錠

ボタン4を押すと後部トランクルーム が施錠/解錠します。

検出不可能の警告音: カード

エンジンがオンのときにドアを開いた 状態で、カードがリーダーにない場 合、警告のビープ音を伴って「カード キー 検出なし」のメッセージが表示 されます。カードを再びリーダーに入 れると音声アラームは停止します。

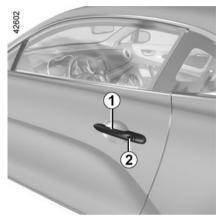
「灯火類リモコン」機能

ボタン3を押すと、外部ランプおよび ルームランプが約30秒間点灯します。 この機能は、広い駐車場の中などで自 分の車を遠くから見分けるときに便利 です。

注:ボタン3を再度押すと消灯しま す。

ドアの開閉

車外からドアを開く



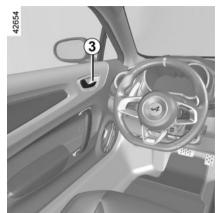
フロントドア

ドアを解錠するには、ハンドル1を引きます。

「ハンズフリー」カードキーの特徴 ドアを施錠した状態で、いずれかのフロントドアのハンドル1のボタン2を

押して、ハンドルを手前に引きます。

車内からドアを開けるとき



ドアハンドル 3 を引きます。



ドアを閉めるとウイン ドーも閉まります。 大ケガを負う危険があり ます。



安全のために、ドアやラ ゲッジルームの開閉は必 ず停車した状態で行って ください。

ドアまたはテールゲートの締め忘れ警告ブザー

開閉部(ドア、トランク、またはボン ネット)が開いているか、完全に閉じ ていない場合、インストルメントパネ

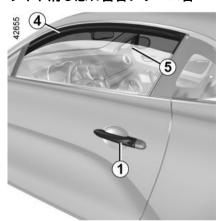
ルに 警告灯が点灯します。車両が約10 km/hに到達するとすぐに、インストルメントパネルに「テールゲート 開」または「ドア 開」のメッセージ (開閉部に応じて) がビープ音とともに表示されます。

いずれかのドアを開く度に、ドアの動きをスンドウがなっためにウインドウが閉まります。ドアを閉めると再度ウインドウが閉まります。ドアを開くときに結氷や雪でウインドーが開かない場合は、ドアを閉める前に、ウインドーが動くよください。

バッテリーの接続を外す場合は (故障など)接続を外している間 ドアの開閉をしやすいように、ウ インドーを下げてください。

ドアと開閉部

ライト消し忘れ警告アラーム音



ドアを開けたとき、イグニッションス イッチが OFF なのにランプ類が点灯 したままになっている場合、警告ブ ザー が鳴ります。

カード抜き忘れ警告ブザー

運転席側ドアを開けたときにリーダーにカードが残っている場合には警告音が鳴り、インストルメントパネルに「カードを抜いてください」のメッセージが表示され、ビープ音が鳴ります。

作動異常

バッテリー上がりの時:

- **ドアを開けるには**: ハンドル1を引き、シール4が損傷しないように注意してドアを開きます。
- **ドアを閉じるには**: ドアがシール4 の下を通るようにハンドル1を使用してドアを支えながらウインドウの上部 (ゾーン5)を押し、ドアを慎重に閉じます。

パワーウインドーが故障した場合

ドアが開いている時ウインドウが下がらず、ドアを閉めた時にウインドウが閉じない場合。この場合、ウィンドウを完全に閉じるには、パワーウインドウスイッチを 6 回連続して引きます。

ドアを閉めるには、「バッテリの不具 合が生じた場合」の項に記載される説 明に従います。



ウインドーを押してドア を閉めないでください。 ゾーン*5*では、指をあま り上の方に置かないよう

にしてください。

場合によってはケガを負うこともありますのでご注意ください。



駐車または停車時のドラ イバーの責任

お子様、ひとりで動けな い成人、ペットを車内に

残して、たとえ短い時間でも絶対にお車から離れないでください。 彼らがエンジンを始動したり、パワーウインドウやドアロックなどの装置を作動させると大変危険です。

その上、暑く晴れた日には、車内 の温度は急に上昇します。

死亡または重傷のおそれがありま す。

ドアの施錠、解錠

車外からのドアのロック/ロック 解除

カードを使用してこれを行うことができます: 第1章の「カード」をお読みください。

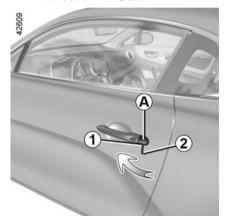
次のような場合には、カードキーが作動しないことがあります:

- カードキーの電池が消耗している、 または切れている場合
- カードと同じ周波数で作動する機器 を使用する場合(携帯電話など)。
- 強い電磁波の影響内に車両がある 時。

このような場合は次のようにします:

- カードに内蔵されたキーを使用して 左フロントドアを解錠します。
- 各ドアを手動でロックする
- 車内からドアロック/ロック解除スイッチを使用します(以下のページを参照)。

カード内蔵キーの使用法



- キー2の端をノッチ1に挿入して、左 側のドアからカバーAを取り外しま す。
- これを上方向に持ち上げてカバー*A* を外します。
- キー2を鍵穴に差し込み、左フロントドアを施錠または解錠します。

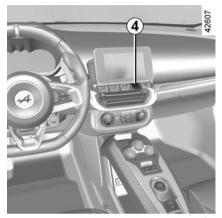
手動によるドアのロック



ドアを開き、ボルト3を回して(内蔵キーの先端を使用)ドアを閉めます。 これでドアを車外からロックできます。

この場合、ドアは車内から開けるか、 左フロントドアをスペアキーによって のみ開けることができます。

車内のロック/ロック解除スイッ チ



スイッチ*4*は、ドア、トランクおよび 車両によってはフューエルフラップを 同時に制御します。

開閉部(ドア、トランク、またはボンネット)のいずれかが開いたままか、完全に閉じていない場合、ロックした後すぐにロック解除します。

トランクを開けたまま荷物を運ぶことが必要な場合でも、他のすべての開閉部を施錠することができます:エンジンをオフにした状態でスイッチ4を5秒間以上長押して、他のすべての開閉部を施錠します。

ドアと開閉部

カードを使わずにドアをロックす る

電池が消耗したり、カードが一時的に 作動しなくなったなどの場合。

イグニッションをオフにし、ドアまた はラゲッジルームを開いた状態で、ス イッチ 4 を長押しします。

次にドアを閉めると、全ての開口部がロックされます。

車両がアクセスゾーン内にある場合 は、カードを使用する、またはカード に内蔵されたキーを使用しないと、車 両の外からロック解除はできません。

カードのボタンを押して車両またはトランクルームを施錠 / 解錠すると、「ハンズフリー」の施錠と解錠機能は作動しません。

「ハンズフリー」機能を復旧するには、車両を再発進させます。

ドアのロック状態を告げる警告灯

イグニッションスイッチをオンにすると、スイッチ4に内蔵された指示灯により、ドアの施錠状態を知ることができます。

- 警告灯が点灯している場合は、ドアとテールゲートがロックされています。

- 表示灯が消えているとき、ドアは ロック解除されています。

ドアをロックすると警告灯が点灯し、 その後消灯します。



カードキーを車内に置い たまま、決して車両から 離れないでください。



ドライバーの責務 ロックしたままの走行 は、緊急の場合に乗 員 の救出が困難になる恐れ

があります。

車速感応式オートドアロック



車両の始動後に速度が約 10 km/h になると、ドアは自動的にロックされます。

ロックの解除:

- ドア解錠ボタン1を押します。
- 停止時に、いずれかのドアを開けます。

注: ドア開閉後も、車速が約 10 km/h 以上になると、ドアは自動的に再ロッ クされます。

ドアと開閉部

機能の起動/作動解除

エンジンを稼働した状態で、ボタン1をビープ音が聞こえるまで5秒間ほど押します。

作動異常

操作不良が発生した場合(自動施錠しない、ドアを施錠するときにボタン1に統合されている警告灯が点灯しないなど)。まず、ドアが適切に閉じていることを確認します。ドアがしかっりと閉まっているのにオートドアロックが作動しない場合は、ルノー指定サービス工場にお問い合わせください。

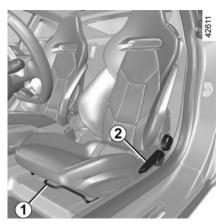


ドライバーの責務

ロックしたままの走行 は、緊急の場合に乗 員 の救出が困難になる恐れ

があります。

フロントシート



調整機能の有無と数は車両およびシー トのタイプに応じて異なります。

前後方向の調節

ハンドル1を上げてシートのロックを 解除します。選択した位置でハンドル を放し、きちんとロックされたことを 確認します。

上下方向の調整。

レバー 2 を必要な回数だけ上げ下げ します。



車両にシート高さ調整ス イッチが搭載されていない 場合は、高さ調整を行うに はルノー正規サービス工場に連絡 する必要があります。



背もたれが調節後に正し くロックされることを確 認します。



安全のために、この操作 は必ず停止時に行ってく ださい。

床の上(運転席の前)に は 物を置かないようにしてくだ さい。急ブレーキが必要なとき に、ペダルの下に物が滑り込んで 急ブレーキを踏む妨げになる危険 があります。

背もたれを傾ける



制御ノブ3を回して背もたれを希望す る傾きの位置に調整します。



背もたれを後方に傾けす ぎると、シートベルトの 効果がなくなるおそれが ありますのでご注意くだ

さい。

フロントシート

ヒーティングシート



イグニッションオン:

- 該当するシートのスイッチ4を初めて押すと、暖房が「高」に設定された状態でシステムが作動します。スイッチに内蔵されている両方の警告灯が点灯します。
- スイッチを**もう一度押す**と、ヒーターが低温に変わります。1 つの一体 型警告灯が点灯します。
- 3 回目に押すとヒーターがオフになります。

作動異常

動作不良が検出されると、該当するシートのスイッチ4に内蔵されている警告灯が点滅します。正規サービス工場にご連絡ください。

18 - あなたのお車について知っておきましょう

シートベルト

安全のため走行時には必ずシートベルトを着用してください。また各国の安全規格に従ってベルトの着用義務を果たしてください。



シートベルトの調節が正 しく行われていなかった り捩れたりしていると、 事故などが起こった場合

に負傷を最小限に抑えられない危 険があります。

シートベルトは 1 人 (大人でも 子 供でも) につき 1 つご使用く ださ い。

妊娠中の方も必ずシートベルトを 着用してください。この場合に は、ラップベルトの余分な遊びを なくし下腹部に圧力がかかり過ぎ ないように注意します。

エンジンを始動させる前にまずはドラ イビングポジションの調整を行い、次 に最大限の安全を確保するべく全乗員 のシートベルト位置を調整します。

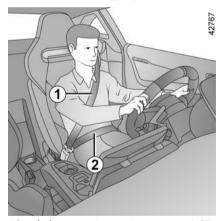
ドライビングポジションの調節

- シートに深く腰掛けます(コートやジャケットなど脱ぐこと)。必ず、背中が正しい位置になるようにお座りください。

- シートベルトとペダルの位置を調節 します。ペダルを深く踏み込める位置を確認し、それより後方にスライドしないようにしてください。背もたれは、ハンドルを握って肘を軽く曲げた状態を保てる角度に調節します。

- 調整するか、調整スイッチが装備されていない車両の場合は、指定ディーラーにシートの高さを依頼してください。この調節を行うことで、運転中の視界が良好に確保できます。 - ステアリングポジションを調節します。

シートベルトの調節



どの座席のシートベルトについても調整と位置決めを正しく行うには、次のように対応してください。

- シートを調整します(使用可能な場合、シートの位置とシートバック角度)。
- 背もたれに背中が密着するように深く座ります
- 肩ベルト 1 を、首の付け根に限りなく近く、首には触れない位置まで動かし(必要であればシートベルトの高さも調整し)、肩ベルト 1 が肩に当たっているか確認します。
- 腰ベルト 2 が腰骨に当たり、腿の上に平らに配置されるようにします。 シートベルトはできるだけ体に密着するように着用する必要があります。

ロック



ベルトを**ゆっくりと、勢いをつけずに** 引き出し、バックル *3* をシートベル

トキャッチャー 5 内にロックします (バックル 3 を引っ張ってロックを確認します)。

ベルトが引っかかった場合は、いったんベルトを大きく戻し、再度引き出してください。

ベルトが完全に動かない場合は、ゆっくり強く引いて、約3 cm 引き出します。ひとりでに巻き戻されるままにし、次に再び引き出します。

不具合が直らない場合は、ルノー指定 サービス工場にお問い合わせくださ い。

グ 運転席と助手席(車両タイプによります)シートベルト締め忘れ警告 灯

運転席または助手席のシートベルトが 固定されていない場合、イグニッショ ンが ON になったときに、これがイン ストルメントパネルに表示されます。

車両によっては、シートに人が座っていて、車両が約 20 km/h を超える速度で走行している状況で、シートベルトのいずれかが締められていない状態か外された状態になると、約 120 秒

にわたり、 警告灯が点滅し、警告音が鳴ります。

注: 車両によっては、助手席に荷物などが置かれていると、警告灯が作動することがあります。

ロック解除方法

ボタン 4 を押すと、シートベルトは 慣性リールにより巻き取られます。手 を添えてください。



- 初めから車両に取り付けられている拘束システム部品(シートベルト、

座席、固定具)は絶対に改造しないでください。特別な場合には(たとえば、チャイルドシートの取り付けなど)、指定サービス工場にご相談ください。

- シートベルトをたるませるためにキャッチの中にピンやクリップなどを突っ込んだり取り付けないでください。緩すぎるシートベルトは万一の事故の際に大変危険です。
- 絶対に胸部ベルトを腕の下や背中に回さないでください。
- 同じシートベルトを複数の人間 で使わないでください。乳幼児や お子様を膝の上に乗せてシートベ ルトを装着しないでください。
- シートベルトを着用するときは、ねじれのないように注意してください。
- 車両が事故にあった後は、シートベルトの交換が必要かどうかを 指定サービス工場で必ず確認して ください。また、明らかに損傷 がある場合はシートベルトを交換 してください。

シートベルト

- シートベルトのタングプレート は対応するバックルに差し込んで ください。
- シートベルトのロック部分に異物が挟まっていないか確認してください。ベルトの機能を妨げる可能性があります。
- 固定ブロックが適切な位置にあることを確認してください。(人や物によって隠れたり、つぶされたり、押さえられたりしてはいけません。)

フロントシートベルト補助拘束 装置

車両に応じて、次の部品で構成されて います:

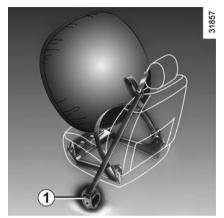
- フロントシートベルトリトラク タープリテンショナー:
- 胸部フォースリミッター、
- airbags 運転席および助手席フロント。

これらのシステムは正面から衝撃が あった際に、独立または連動して作動 します。

衝撃の強さに応じて、システムは次のように作動します。

- シートベルトをロックする。
- 慣性リールシートベルトプリテンショナーを作動させ、シートベルトのたるみをなくす。
- airbags。

シートベルトプリテンショナー



プリテンショナーには、シートベルト を体に密着させることで乗員をシート に固定し、シートベルトの効果を高め る 働きがあります。

イグニッションスイッチが ON の状態で前方から強い衝撃を受けると、衝撃の強さに応じて、システムは、慣性リールシートベルトプリテンショナー 1 を作動させ、即座にシートベルトを巻き込みます。



- 万一車両が事故にあった場合は、指定サービス工場で全拘束装置の

点検を受けて ください。

- システムの一切の部品(プリテンショナ、airbags、コントロールユニット、配線)に手を加えないでください。システムの構成部品は同じモデルであるとしても絶対に別の車両で再利用しないでください。
- システムが誤って作動してケガ をする恐れがありますので、プリ テンショナとairbagsの修理点検 は必ず資格のある作業員が行うよ うにしてください。
- プリテンショナーの起動装置の 電 気系統に関する点検修理は、 特別 にトレーニングを受け、専 用の機 器を用意している指定 サービスエ 場にお任せくださ い。
- 車両を廃車にする場合は、プリ テンショナのガス発生器および airbagsの廃棄について指定 ディーラーにご連絡ください。

補助の安全装置

ベルトフォースリミッター

ベルトフォースリミッターは、衝撃が 一定以上加わると、限度内においてベ ルトを伸ばし、体に加わる衝撃を緩和 します。

運転席および助手席フロント Airbags

運転席と助手席の正面に設置されています。

この装備が搭載されていることは、ステアリングホイールとダッシュボード (airbagのゾーンA) の「Airbag」マークによって表示されます。また、車両に応じて、フロントウインドウ下部のラベルによって示されます。

airbag システムは次のコンポーネントで構成されています:

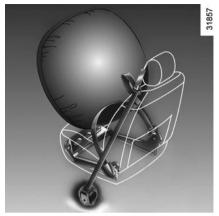
- airbagおよびガス発生器は、運転席 のステアリングホイール、助手席の ダッシュボードに取り付けられていま す。
- ガスジェネレーターの電動イグナイター制御システムを制御する電子制御 ユニット
- 制御表示灯 が、インストルメントパネルにひとつだけあります。





airbagシステムは着火の 原理で作動します。この ため、エアバッグが膨ら むと加熱して発煙し(火

災が起こるわけではありません)、起爆のような音が鳴ります。airbagの展開が必要な状況下では、瞬時に膨張するため、これにより肌の軽い擦りむきなどが生じることがあります。



作動

このシステムは、イグニッションス イッチ が ON のときのみ作動しま す。

正面から激しい衝撃を受けると airbagsは素早く膨張し、ステアリングホイールに対するドライバーの頭部と胸部の衝撃、およびダッシュボードに対する助手席の乗員の衝撃を緩和します。また、膨張したエアバッグは衝撃後にすぐに収縮するため、車両から脱出する際の妨げになりません。

作動異常



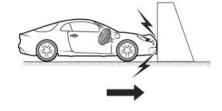
イグニッションスイッチをオンにする と、インストルメントパネルに警告灯

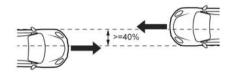
2 が点灯し、数秒後に消えます。

イグニッションスイッチをオンにして も警告灯が点灯しない、あるいはエン ジンが始動しても点灯したままである 場合、これはシステムに不具合がある ことを示しています。

できるだけ早くルノー正規サービス工場で点検をお受けください。

点検整備が遅れると、万一の事故の際 に十分な乗員保護効果が得られない恐 れがあります。

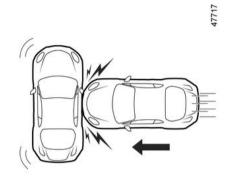




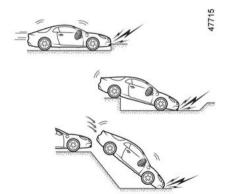
次のようなケースでは、プリテンショ ナまたはairbagsがトリガーされます

25 km/h 以上の衝撃速度での硬質表面 (変形していない)に対する正面衝 突。 自車両の同等以上のカテゴリーに属する他車両と正面衝突した場合に、衝突面積が 40% 以上で、両車両の速度が 40 km/h を超えている場合。

補助の安全装置



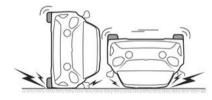
同等またはそれ以上のカテゴリーの他 の車両との側面衝突時に、衝突速度が 50 km/h を超える。



プリテンショナまたはairbagsは、以 下のような場合にトリガーされること があります。

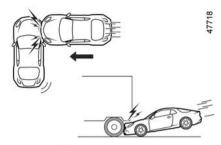
- (舗装縁石に乗り上げたなどにより)車両底部に衝撃が及んだ場合。
- 穴
- 落下または衝撃を伴う落下
- 仁
- . . .





以下のような場合には、プリテンショ ナまたはairbagsがトリガーされない ことがあります。

- 車両後方からの激しい衝突の場合。
- 車両の転倒





- 車両の前方または後方で側面から衝 突された場合。
- ローリーのテール下で前方から衝撃 を受けた場合。
- 鋭い角度の障害物に対する前部衝突 - ...

下記のすべての警告は、airbagが膨張するときにこれを妨げるものが一切ないようにすることを意図しています。また、膨張時に何かが飛び出ることによって重大な負傷が起こる危険を防止する目的もあります。



ドライバーのairbag

- ステアリングホイール やボスを絶対に改造しな

いでください。

- どんな状況においてもステアリングホイールボスに物を被せないでください。
- ステアリングホイールボスには 異物(ステッカー、ロゴマーク、 時計、スマホホルダーなど)を着 けないでください。
- ステアリングホイールを絶対に 取り外さないでください(指定 サービス工場の技術者以外は絶対 に行わないでください)。
- 運転時にステアリングに近づき 過ぎないでください。腕を少し曲 げた状態になるように運転席を調 節します(1 章の「運転席および シートの調整」の項を参照)。こ うすることで、エアバッグが展開 するのに十分な空間 が確保さ れ、エアバッグの効果が正しく発 揮されます。

助手席の乗員に関連する警告 airbag

- ダッシュボード上またはairbag 付近に一切のもの(ステッカー、 ロゴ、時計、携帯電話ホルダーな ど)を取り付けたり、貼り付けた りしないでください。
- ダッシュボードと乗員の間には 何も(ペット、傘、杖、缶、箱な ど)置かないでください。
- ダッシュボードの上またはシートの上に足を置かないでください。不安定な姿勢をとっていると、万一の事故の際、大ケガをするおそれがあります。また、乗車中はダッシュボードから頭や膝、腕などをできるだけ離してください。
- 衝突時の乗員保護のため、チャイルドシートを取り外したら、すぐに助手席エアバッグシステムを作動させてください。

チャイルドシートを助手席に後ろ 向きに設置するときは、必ずフロ ントシートベルト補助拘束装置を 解除してください

(1章の「お子様の安全:助手席 airbagの解除、作動」の項を参照 してください)。

乗員補助拘束システム

下記のすべての警告は、airbagが膨張するときにこれを妨げるものが一切ないようにすることを意図しています。また、膨張時に何かが飛び出ることによって重大な負傷が起こる危険を防止する目的もあります。

補助の安全装置



airbagはシートベルトの 機能を補完するためのも のです。airbagとシート ベルトはどちらも同じ乗

転倒や後面衝突の際は、激しくても必ずプリテンショナーやairbags が作動するわけではありません。歩道への乗りあげ、車道の穴、石などによる車両の下からの衝撃によってエアバッグが展開してしまうことがあります。

- airbagのすべての部位 (airbags、プリテンショナ、コ ントロールユニット、配線ハーネ スなど)の修理や変更は固く禁じ られています(ネットワークの有 資格者を除き)。

- システムを正常な状態に保ち誤作動を避けるためにも、ネットワークからの有資格者以外はairbagシステムでの修理を行わないでください。
- 安全のため、事故や盗難にあった場合には、airbagシステムの点検を受けてください。
- 車両を販売または貸出する際には、この車両ユーザーマニュアルを引き渡す際に、これらの条件を新しい購入者に知らせてください。
- 車両を廃棄処分にする場合、エアバッグやプリテンショナーの起動装置に内蔵されたガス発生器を処理する必要があります。指定サービス工場にご相談ください。

「概要」の項を参照してくださ い

お子様を乗車させるとき

各国の法規を確実に遵守してください。

走行中は(たとえ短距離走行でも)、 子供も、大人と同様に正しく着座し、 身体を固定する必要があります。お子 様を乗車させるときは、お子様の安全 が確保されるように気をつけてくださ い。

子供は大人の小型版ではありません。 子供の筋肉や骨は成長期にあるため、 特殊なケガをする危険にさらされてい ます。お子様を乗車させるときは、シートベルトだけでは十分ではありませ ん。適切なチャイルドシートを正しく ご使用ください。



通常車速 50 km/h で衝突した場合、乗員は 10 m の高さから落ちたときと同じくらいの衝撃を受

けます。したがって、子供をチャイルドシートに着座させないで 走行することは、地上 4 階の手 摺のないベラン ダでお子様を遊ばせているようなものなのです。

絶対にお子様を抱いて乗車しないでください。事故の場合、たとえお客様がシートベルトを締めていてもお子様を保護することはできません。

走行中に車両が事故に巻き込まれた場合は、チャイルドシートを交換しシートベルトを交換します。



駐車または停車時のドラ イバーの責任

お子様、ひとりで動けない成人、ペットを車内に

残して、たとえ短い時間でも絶対 にお車から離れないでください。 彼らがエンジンを始動したり、パ ワーウインドウやドアロックなど の装置を作動させると大変危険で す。

その上、暑く晴れた日には、車内の温度は急に上昇します。

死亡または重傷のおそれがありま す。

チャイルドシートの使い方

チャイルドシートが提供する保護レベルはチャイルドシートがお子様を支える容量と取付け方によって異なります。取付け方が悪いと、急ブレーキをかけたときや衝突時にお子様を保護することができません。

チャイルドシートを購入する前に、国の法規に適合していること、またお車に取付けられることを確認してください。お車に合ったチャイルドシートをお探しの場合は、ルノー指定サービス工場にお問い合わせください。

お子様の移動に関する規則は、各国に固有です。移動中のチャイルドシート

子供を乗車させるとき

の使用は、お子様の年数および / またはサイズおよび / または体重によって異なります。チャイルドシートで移動する必要のないお子さまの場合、シートベルトが正しく調整され、締められていることを確認してください。あらゆるケースで、各国の安全規格に従ってベルトの着用義務を果たしてください。

チャイルドシートは、取扱説明書を読み、その内容に従って取り付けてください。取付け中に問題が発生した場合は、機器のメーカーまでお問い合わせください。取扱 説明書はチャイルドシートと一緒に保 管してください。



シートベルトを締めるところをお子様に見せて、お子様に次のことを教えて

ください:

- 正しく取り付けること。
- 必ず、車道とは反対の歩道側から乗降すること。

中古のチャイルドシートや取扱説 明書がない場合には使用しないで ください。

チャイルドシートの中や近くに取付けの邪魔になるものがないか気 をつけてください。



お子様を乗車させるとき は、絶対にお子様から目 を 離さないでくださ い。

お子様の身体が常にしっか り固定されていること、またハー ネスやベルトが正しく調整されていることを確認してください。 衣服が厚すぎるとベルトがたるんで しまいます。お子様を乗車させる ときはこのような衣服は避けてく ださい。詳細についの頃を参照してください。 お子様がなから頭や手を出さない

ように気をつけてください。 走行中は、お子さまがチャイルドシートに正しく着座していることを常にご確認ください(とくにお子さまが眠っているとき)。

チャイルドシートの選択

31235



後ろ向きに取り付けるチャイルド シート

乳児の頭は大人に比べ身体の割りに重く、首は衝撃に大変弱いので気をつけてください。お子様を乗車させるときは、できるだけ長い期間(少なくとも2歳まで)チャイルドシートを後ろ向きに取り付けてください。この向きだと頭部と首が保護されます。

側部の保護を確実にするため、包み込むタイプのチャイルドシートをお選びください。また、お子様の頭がチャイルドシートからはみ出さないうちに交換してください。



前向きに取り付けるチャイルドシート

体重18 kgまたは4歳までは、お子様を前向きに座らせて走行することができます。

お子様のサイズに合わせてシートを選択してください。頭と腹部を最も保護する必要があります。前向きに取りけるチャイルドシートを車両にしれかり固定すれば、頭に衝撃が加えられる危険性が減ります。お子様を乗車内ときは、身長が使用可能な範囲内で取るをはい、ハーネス付きの前向きに取ください。

側部の保護を確実にするため、包み込むタイプのチャイルドシートをお選び ください。



ブースタークッション

体重が 15 kg (または 4 歳) になった ら、シートベルトを身体に合わせることのできるブースタークッショが使 用できます。シートベルトる子様の 腹部ではなく腿の上にくるようにする ガイド付きのブースタークッションを 使用してください。シートベルトガイド付きの高さ調整可能な背もたれをお勧めします。シートベルトは絶対に首や腕 にかからないようにしてください。

側部の保護を確実にするため、包み込むタイプのチャイルドシートをお選び ください。

チャイルドシートの取付け

シートベルトによる取付け

シートベルトは、急ブレーキをかけた ときや衝突時に正常に作動するよう に、正しく調整してください。

チャイルドシートのメーカーによって 指示されたベルトの通し方を守ってく ださい。

チャイルドシートを押しながら、まず シートベルトの上部を引き、次にシー トベルトをできるだけぴんと張ってシ ートベルトがしっかり締まっているこ とを必ず確認してください。

チャイルドシートを前後左右に動かして正しく取付けられているか確認します:チャイルドシートはしっかり固定されていなければなりません。

チャイルドシートが斜めに 取り付けられていないか、またウインドウに当たっていないか確認してください。



チャイルドシート拘束用 シートベルトが緩む危険 がある場合はチャイルド シートを使用せず、設置

する場合には、シートクッション がシートベルトのバックル/スト ライカーの妨げとならない位置に 設置してください。

子供を乗車させるとき



シートベルトは絶対に緩め たりねじったりしないでく ださい。シートベルトは絶 対に腕の下

や背中の後ろを 通さないでください。

シートベルトが鋭角部によって損傷していないか確認してください。

シートベルトが正常に機能しないと、お子様を保護することができません。正規サービス工場にご連絡ください。シートベルトを修理するまでは、この座席は使用しないでください。



前向きに取り付けるチャイルドシートの背もたれが車両のシートの背もたれに当たっていることを

確認してください。この場合チャイルドシートは必ずしも車両の シートクッションの上に置かれているわけではありません。



初めから車両に取り付けられている拘束システム部品(シートベルト、座席、固定具)は改造しな

いでください。

チャイルドシートの取り付け、 一般情報

一部の座席にはチャイルドシートを取り付けることができません。次のページの図をご覧になると、どの座席にチャイルドシートを取付けられるかが分かります。

言及されたタイプのチャイルドシートはお求めになれません。他のチャイルドシートを使用する場合は、お車に取り付けられるかどうか事前にメーカーに問い合わせてください。



チャイルドシートやお子様の足元がフロントシートのロックを妨げていないことを確認してくださ

い。1章の「フロントシート」の 項を参照してください。

チャイルドシートがしっかり車両に取り付けられており、外れるおそれがないことを確認してください。

チャイルドシートは、使用しないときでも必ず車両に取り付けてください。固定されていないと、急ブレーキをかけたときや衝突時に飛び出すおそれがあり危険です。

フロント

子供を助手席に座らせる場合の規定 は、国によって異なります。現行の法 律を調べて、次のページの図の表示に 従ってください。

チャイルドシートを 助手席に取付ける前に(認可されてい る場合):

- シートベルトを一番下まで下げま す。
- シートを一番後ろまで引きます。
- 背もたれを垂直位置から少し(約 25°)傾けます。

子供を乗車させるとき

- シートクッションの高さを一番高くします(高さ調整機能装備車の場合)。

チャイルドシートを取り付けた後に、必要に応じて車両のシートを移動できます。後ろ向きのチャイルドシートについては、ダッシュボードに接触したりシートを最も前に出した位置にしないで下さい。

チャイルドシートを取り付けた後で、上記の調整を変更しないでください。



死亡または重傷のおそ

れ:後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付ける前には、airbagが非

作動になっていることを確認して ください(1章の「お子様の安全: 助手席airbagの作動 / 非作動」 の項を参照してください)。

シートベルトによる取付け

下表は次ページの図表と同じ内容です。現行の規則を守ってください。

チャイルドシートのタイ プ	子供の体重	フロントシート助手席			
		airbag 非作動		airbag作動状態	
		シート調整 (3) あり	シート調整 (3) なし	シート調整 (3) あり	シート調整 (3) なし
横置き の乳児用シート グループ 0	< 10 kg 未満	Х	Х	Х	Х
後ろ向きの乳児用シート グループ 0 または0 +	< 10 kg まで、およ び < 13 kgまで	U (1) (2)	Х	Х	Х
ベビーシート/後ろ向き チャイルドシート グループ 0 + および 1	13 kg 未満および 9 ~ 18 kg	U (1) (2)	Х	Х	Х
前向き取付けチャイルド シ ート グループ 1	9 ∼ 18 kg	Х	Х	U (2)	Х
シートリフター グループ 2 および 3	15 ~ 25 kg および 22 ~ 36 kg	Х	Х	U (2)	Х



(1) 死亡または重傷のおそれ:後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付ける前にはairbagが非作動になっていることを確認してください(1章の「お子様の安全:助手席airbagの非作動、作動」の項を参照してください)

X= この種類のチャイルドシートの取付けに適さないシート。

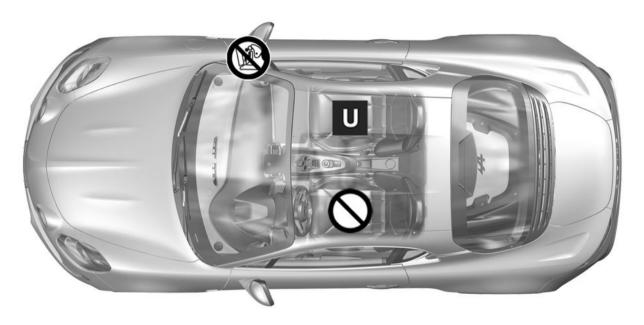
34 - あなたのお車について知っておきましょう

チャイルドシート

U= 「ユニバーサル型」の認可チャイルドシートはシートベルトで取り付けることができます。正しく取り付けることができるかを確認してください。

- (2) 車両のシートを後ろいっぱいに上げて座面を最高位置にし、背もたれを若干倒します(25° 程度)。
- (3) 助手席では、チャイルドシートを取り付けるには、シートを前後に移動するスイッチとシートクッションを上下に移動するスイッチが装備されている必要があります。

シート調整装備車両での取付け図





死亡または重傷のおそれ:後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付ける前には、airbagが非作動になっていることを確認してください(1章の「お子様の安全:助手席airbagの作動 / 非作動」の項を参照してください)。



お車に適合しない子供用セーフティーシステムを使用した場合には、 お子様(または赤ちゃん)を正しく保護することができません。このような場合には、死傷や重傷を負う危険があります。

- 乗員が着座する前またはチャイルドシートを取り付ける前に airbag の状態を確認してください。
- チャイルドシートの取り付けが禁止されている座席。
- ──「汎用」認可チャイルドシートをシートベルトで取り付けることができます。

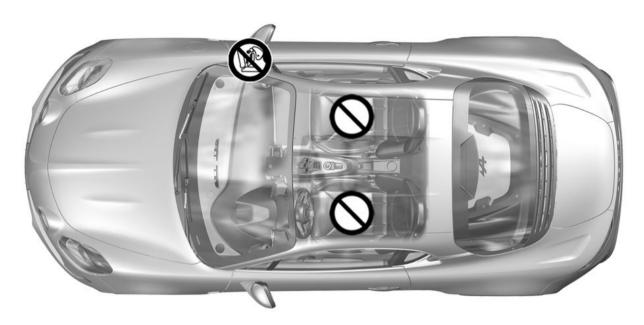


お子様の身体が常にしっか り固定されていること、またハー ネスやベルトが正しく調整されて いることを確認してください。 衣 服が厚すぎるとベルトがたるんで しまいます。詳細については、1章の「シートベルト」の項を参照してください。

必要に応じて、シートの位置を調整します。

42620

シート調整非装備車両での取付け図





死亡または重傷のおそれ:後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付ける前には、airbagが非作動になっていることを確認してください(1章の「お子様の安全:助手席airbagの作動 / 非作動」の項を参照してください)。



お車に適合しない子供用セーフティーシステムを使用した場合には、 お子様(または赤ちゃん)を正しく保護 することができません。このような場合には、死傷や重傷を負う危険があります。



チャイルドシートを取り付ける前あるいは乗員がそのシートを使用する前に、airbagの状態を確認します。



チャイルドシートの取り付けが禁止されている座席。



お子様が常に拘束された状態であり、ハーネスまたはシートベルトが正しく調整されていることを確認してくだ さい(1章の「シートベルト」の項を参照)。 必要に応じて、シートの位置を調整します。

助手席エアバッグ作動解除

(装着車の場合)

チャイルドシートを助手席に取り付け るときは、以下のことに注意してくだ さい。

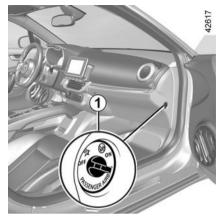
- 該当するシートにチャイルドシート を取り付け可能であることを確認しま
- 後ろ向きのチャイルドシートを使用 する場合は、必ずairbagを無効にする 必要があります。



危険

フロント助手席のairbag の動作は後ろ向きに配置 するチャイルドシートと

の適応性がないため、フロントの AIRBAGを作動した状態のシートに は後ろ向きのチャイルドシートを 絶対に取り付けないでください。 お子様の死亡や重傷につながるお それがあります。



airbagを非作動にするには: 車両を停 止してイグニッションスイッチをオフ にします。ロック1を押してOFF位置ま で回します。

イグニッションスイッチをオンにして

から、ディスプレイ*2*に 警告灯 が点灯することを必ず確認します。

この警告灯は点灯したままとなり、 助手席へのチャイルドシートの装着が 可能であることをドライバに知らせま す。





助手席airbagの作動また は非作動は、車両が停止 してイグニッションオフ の状態で行う必要があり

ます。

車両が運転されているときに干渉

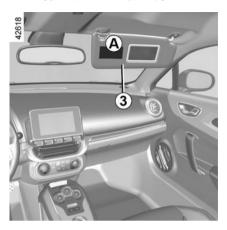
すると、表示灯 が点灯します。





airbag を作動/作動解除した 後、イグニッションスイッチを OFF にして再度 ON にすると有効 になります。

お子様の安全: 助手席エアバッグの作動解除/作動





危険

フロント助手席のairbag の動作は後ろ向きに配置 するチャイルドシートと

の適応性がないため、フロントの AIRBAGを作動した状態のシートに は後ろ向きのチャイルドシートを 絶対に取り付けないでください。 お子様の死亡や重傷につながるお それがあります。

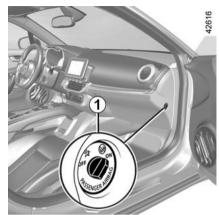
58035



(A)

ダッシュボード上にある各マークや、助手席サンバイザー 3 の各サイドにあるラベル A (詳しくは上記ラベルをご覧ください) は、これらの指示についてお知らせするためのものです。

助手席エアバッグを作動させる



チャイルドシートを助手席から取り外したら、衝撃を受けた際に助手席乗員の安全を確保するため、必ずすぐに助手席airbagを再び作動させてください。

お子様の安全: 助手席エアバッグの作動解除/作動



airbagを再度作動するには: 車両を停 止し、イグニッションオフにした状態 で、ロック1をON位置まで押し回しま す。

イグニッションスイッチをオンにして

から、ディスプレイ2に 警告灯 が消灯していることを必ず確認します 助手席airbagが作動するようになりま した。

作動異常

助手席airbagの作動 / 非作動システ ムに不具合がある場合は、絶対に助手 席に後ろ向きにチャイルドシートを取 り付けないでください。

また助手席に乗員を座らせることはお

42 - あなたのお車について知っておきましょう

できるだけ早くルノー正規サービスエ 場で点検をお受けください。



助手席airbagの作動また は非作動は、車両が停止 してイグニッションオフ の状態で行う必要があり

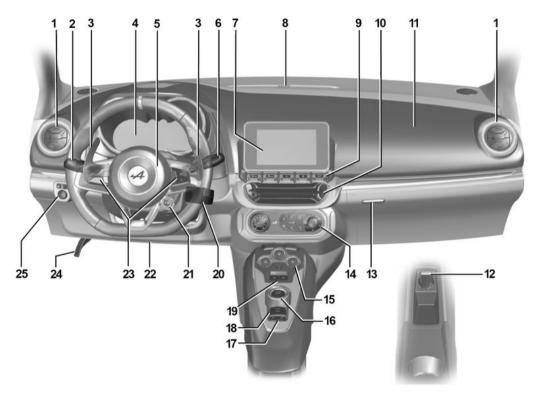
ます。

車両が運転されているときに干渉

すると、表示灯 🛠 🗻 が点灯します。 airbag を作動/作動解除した 後、イグニッションスイッチを OFF にして再度 ON にすると有効 になります。

勧めできません。

左ハンドル車運転席レイアウト



2652

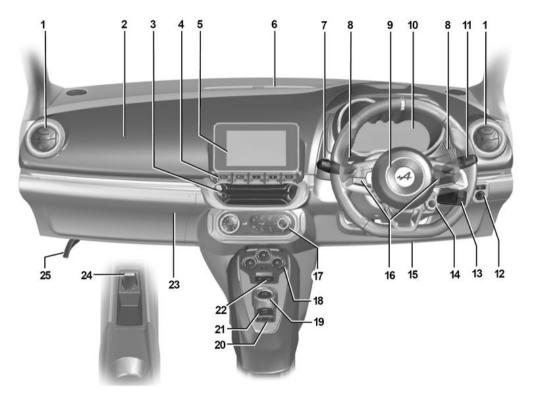
ドライビングポジション

次に記載した装備は 車両バージョン および国によって異なります

- 1. サイドベンチレーター。
- 2. レバー:
- 方向指示灯;
- ヘッドランプ:
- リアフォグランプ。
- 3. パドルシフト。
- 4. インストルメントパネル。
- 5. 運転席エアバッグ収納部airbag、ホーン。
- 6. レバー:
- フロントウインドウおよびリアウイ ンドウウォッシャ / ワイパー。
- トリップコンピューターおよび警告 システム情報表示。
- 7. マルチメディア画面。
- 8. フロントウインドーデフォッガー
- 9. スイッチ:
- Stop and Start機能の作動 / 非作動。
- ESC機能とトラクションコントロール機能の停止。
- ハザードランプ;
- 集中ドアロック。
- マルチメディアシステムを起動 / 停止する。
- 10. センターベンチレーター

- 11. 助手席エアバッグ収納部 airbag。
- *12.* シガーライター/アクセ サリー ソケット
- 13. カードリーダー ALPINE。車両によっては、カバーの下にあります(2章の「エンジンの始動と停止」の項を参照してください)。
- 14. ヒータ/エアコンコントロール
- *15.* 選択スイッチR、N、D。
- 16. エンジン始動/停止ボタン。
- *17.* クルーズコントロール/スピードリミッタースイッチ。
- *18.* アシストパーキングブレーキスイッチ。
- 19. パワーウインドウスイッチ。
- *20.* マルチメディア装備ステアリング コラムコントロール。
- 21. 走行モードの選択スイッチ。
- 22. ステアリングホイール調整レバー
- *23.* クルーズコントロール/スピード リミッタースイッチ
- 24. ボンネットアンロックスイッチ
- 25. ドアミラー調節スイッチ

右ハンドル車運転席レイアウト



7594

ドライビングポジション

次に記載した装備は 車両バージョン および国によって異なります

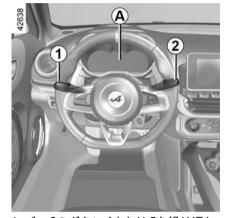
- 1. サイドベンチレーター。
- 2. 助手席エアバッグ収納部 airbag。
- 3. ヤンターベンチレーター
- *4*. スイッチ:
- Stop and Start機能の作動 / 非作動。
- ESC機能とトラクションコントロール機能の停止。
- ハザードランプ;
- 集中ドアロック。
- マルチメディアシステムを起動 / 停止する。
- 5. マルチメディア画面。
- *6.* フロントウインドーデフォッガー
- 7. レバー:
- 方向指示灯:
- ヘッドランプ:
- リアフォグランプ。
- 8. パドルシフト。
- 9. 運転席エアバッグ収納部airbag、ホーン。
- 10. インストルメントパネル。
- 11. レバー:
- フロントウインドウおよびリアウイ ンドウウォッシャ / ワイパー。

- トリップコンピューターおよび警告 システム情報表示。

- 12. ドアミラー調節スイッチ
- *13.* マルチメディア装備ステアリング コラムコントロール。
- 14. 走行モードの選択スイッチ。
- 15. ステアリングホイール調整レバー
- *16.* クルーズコントロール/スピード リミッタースイッチ
- *17.* ヒータ/エアコンコントロール
- 18. 選択スイッチR、N、D。
- 19. エンジン始動/停止ボタン。
- *20.* クルーズコントロール/スピードリミッタースイッチ。
- *21.* アシストパーキングブレーキスイッチ。
- 22. パワーウインドウスイッチ。
- 23. カードリーダー ALPINE。車両によっては、カバーの下にあります(2章の「エンジンの始動と停止」の項を参照してください)。
- *24.* シガーライター/アクセ サリーソケット
- 25. ボンネットアンロックスイッチ

「概要」の項を参照してくださ い

トリップメーターと警告システム A



レバー2のボタン4または5を繰り返し短く押して、以下の情報を上下にスクロールします(ディスプレイは車両の装備および国によって異なります)。

- 多機能画面: レバー1のボタン3を繰り返し短く押して、この機能の情報を 水平方向にスクロールします(1章の 「多機能画面」を参照)。





- トリップ設定: レバー1のボタン3を繰り返し短く押して、以下の情報を水平方向にスクロールします。
- a)走行距離
- b) 平均LPG燃料消費
- c)平均速度
- d) 総走行距離とトリップメーター
- e) 現在の燃費消費
- f)航続距離
- g) オイル交換までの航続可能距離
- h)タイヤ空気圧をリセット

- ログブック、情報メッセージの表示、動作不良と警告。
- インストルメントパネルの明るさ調整。
- 車両設定のカスタマイズメニューから (1章の「車両設定のカスタマイズ メニュー」を参照)。

調整可能な機能については次のページ をご覧ください。

走行パラメーターのリセット(トップスタート)

42710



トリップ設定の1つを選択した状態で、ディスプレイがゼロにリセットされるまでボタン*3、4、*または5を長押しします。

走行パラメーターの自動リセッ ト



各種走行パラメーターのいずれかが容量を超えた場合は、自動的にリセットされます。

リセット後の表示値について

区間平均燃費、予想航続距離、区間平均時速の数値は、リセット後の走行距離が伸びるほど正確に算出されます。 リセットボタンを押してから最初の数キロメートルの間は、表示数値が走行につれて増加することがあります。これは最後のトップスタート後に実行された平均燃料消費がインプットされたためです。平均燃料消費は次の時に低下します:

- 車両が加速を終えたとき

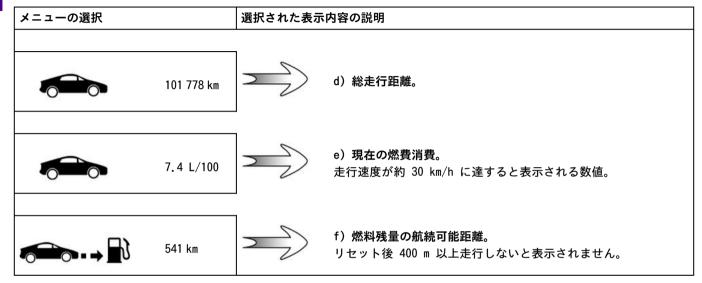
- エンジンが作動温度に達した時 (エンジン冷間時にリセット); - 市街地から郊外の幹線道路へ移っ たとき

行程に関する設定

上述の情報のディスプレイは、車両の装備と国によって異なります。

メニューの選択		選択された表示内容の説明	
γ	522 km		a)前回のリセットからの走行距離。
γ	5.8 L/100		b) 平均燃費消費(前回のリセット後)。 値はリセット後少なくとも 400 m 走行した後で表示されます。
γ	123.4 km/h		c) 平均速度 (前回のリセット後)。 リセット後 400 m 以上走行しないと表示されません。

上述の情報のディスプレイは、車両の装備と国によって異なります。



上述の情報のディスプレイは、車両の装備と国によって異なります。

メニューの選択 オイル交換までの航続可能距離のメッセー 選択された表示内容の説明 ジがあるオンボードコンピューター(続 g) 点検またはオイル交換までの航続距離。 オイル交換までの航続可能距離 点検 / オイル交換 イグニッションオン、エンジン非作動、ディスプレイを「点検 間隔」に設定し 15 000 までの航続 た状態でボタン2または3を5秒間押すと、オイル交換までの航続可能距離を表 km / 12か 可能距離 示します(次のオイル交換までの距離または時間)。オイル交換距離または時 月 期が近づくと、次のようなシナリオが発生することがあります。 - 残りの航続可能距離が1.500 kmまたは1か月未満の場合: 「交換してくださ い」メッセージが最短の値(距離または時間)とともに表示されます。 点検時期 - 航続距離が0 kmまたは点検日に到達した場合: 「Lメッセージ「点検が 必要 が近づい ています です」が 警告灯とともに表示されます。 300 km / 車両のオイル交換を出来るだけ早く実行しなければなりません。 24 H 点検が 必

リセット: 点検前の航続距離をリセットするには、点検前の航続距離が表示されてオンの状態が保持されるまでボタン3、4、または5を10秒間ほど押します。

注: エンジンオイルを交換しないで点検を行った場合、次の点検までの航続可能距離のみをリセットします。エンジン点検の表示の場合には、同時にオイル交換までの航続距離と点検時期の両方をリセットする必要があります。

上述の情報のディスプレイは、車両の装備と国によって異なります。

メニューの選択 選択された表示内容の説明 タイヤ空気圧: 設定(長押し) h) タイヤ空気圧をリセット。 2 章の「タイヤ空気圧モニターシステム」の項を参照してください。

一般情報

車両始動をサポートし、選択や走行状態に関する情報を提供します。 一般情報メッセージの例は以下の通りです。

メッセージの例	選択された表示内容の説明
« パーキングブレーキ ON »	パーキングブレーキがかかっていることを示しています。
«コントロ機能 点検中»	イグニッションスイッチを ON にした時の車両自動点検時に表示されます。
「トラクションコントロール非 作動」	トラクションコントロール機能を解除したことを示します。
«ハンドルを回して STARTを押 します»	車両のエンジン始動ボタンを押しながらステアリングホイールを少し回転させてステアリ ングコラムのロックを解除します。
「ステアリングがロックされて いない」	ステアリングコラムがロックされていないことを知らせます。

メッセージの例	選択された表示内容の説明
« パーキング ブレーキ ON »	パーキングブレーキがかかっていることを示しています。
«コントロ機能 点検中»	イグニッションスイッチを ON にした時の車両自動点検時に表示されます。
「トラクションコントロール非 作動」	トラクションコントロール機能を解除したことを示します。
«ハンドルを回して STARTを押 します»	車両のエンジン始動ボタンを押しながらステアリングホイールを少し回転させてステアリ ングコラムのロックを解除します。
「ステアリングがロックされて いない」	ステアリングコラムがロックされていないことを知らせます。

故障メッセージ

メッセージの例	メッセージの内容の説明		
《ライトを 点検》	ヘッドランプの故障を知らせます。		
《車両 点検》	ペダルセンサー、バッテリー管理システムのセンサー、オイルレベルセン サーなどのうちどれか 1 つが故障していることを示しています。		
《エアバッグ 点 検》	シートベルト補助システムに故障があることを示しています。事故の場合に正しく作動しない恐れがあります。		
汚染防止システム 点検	エミッションコントロールシステムの不具合を知らせます。		

これらのメッセージが警告灯 とともに表示されたら慎重に運転し、出来るだけ速やかに指定サービス工場で点検をお受け下さい。このような推奨事項を遵守されない 場合は、車両が損傷する恐れあります。

この種のメッセージは、ディスプレイ の選択ボタンを押すか、または数秒間 すると消え、ログブックにメモリーさ れます。

警告灯 は点灯したままになります。システムの故障メッセージの例を以下に示します。

警告のメッセージ

メッセージの例	選択された表示内容の説明
«エンジン不具合 危険»	インジェクションの故障、エンジン過熱、エンジンに重大な問題があることを示しています。
« パワーステアリンク゛不具合 »	ステアリング装置の故障を知らせます。
「ブレーキシステム 不具合」または「車両を 停止」	ブレーキシステムの故障を知らせます。アシストパーキングブレー キを手動で締付けて、車止めブロックを使用して車両を固定します。
« 電気系統故障 危険 »	車両のバッテリー回路に問題があることを示します(オルタネーターなど)。
パンク	メーターパネルに表示されたホイールのタイヤがパンクしたことを示します。

これらのメッセージが警告灯 **5TOP** と共に表示されたら急ブレーキは避けて周囲の交通状況に注意しながら、なるべく早く車両を停止してください。エンジンを停止し再始動させないでください。正規サービス工場にご連絡ください。

警告メッセージには以下のものがあります。注意:メッセージはディスプレイ上に単独で現われるか、または交互に現われます (複数のメッセージがある場合)。警告灯 や警報音を伴う場合もあります。

ディスプレイとメーター類



インストルメントパネル 車両を解錠すると点灯します。

タコメータ1

(目盛り x 1,000)

エンジンオイルレベル下限警告 表 示

エンジン始動後、エンジンオイルが下限レベルに達するとディスプレイ2に警告が表示されます。4章の「エンジンオイルレベル」の項を参照してください。

オンボードコンピューター2



1章の「オンボードコンピュータ」の 項を参照してください。

水温警告灯

イグニッションスイッチをオンにする かエンジンを始動すると、表示灯5 (「Normal」モード)または表示灯6 (「Sport」モードまたは「Track」 モード)が赤色で点灯し、数秒後に消 灯します。

選択した走行モードに応じて、表示灯3 (「Normal」モード)または表示灯6 (「Sport」モードまたは「Track」モード)が青色で点灯し、水温が低いことを示します。エンジン性能が制限されています(出力、トルク、エンジン回転数)。

表示灯3が消灯するか、蛍光灯6が白 色で点灯する場合、エンジン性能が最 適であることを示します。

警告灯5または6が赤色で表示される場合は、過熱を示しています。車両を停止してください。エンジンを冷ましてから冷却水レベルを点検してください(4章の「冷却水レベル」の項を参照してください)。レベルが正常な場合は、表示灯は別の原因で点灯しています。正規サービス工場にご連絡ください。

注: レッドゾーン4は最大エンジン回 転数制限(rpm)を示します。冷却水 温度に応じて変化します。

外気温度計7



時計8

フューエルゲージ9

スピードメーター10と11



(単位:km/h またはマイル/h)

メーター10は情報を提供するために設けられています。

承認されたスピードメーターのみ*11* に 従って速度を調整してください。

速度超過警告音

車両によっては、車両が 120 km/h を 超えて走行するとビープ音が鳴りま す。

「Sport」モードまたは「Track」 モードのインジケータ

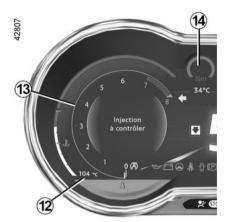


選択した走行モードによって(2 章の「走行モードの選択」の項を参照してください)、次の情報が表示される場合があります。

- エンジン冷却水温度 12。クーラント温度(摂氏または華氏)を示します。 注: クラッチの作動温度はおよそ115 ℃以下である必要があります。温度が高すぎると、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。



- エンジン回転数*13*。エンジン回転数 を表示します(rpm)。
- エンジントルク14。利用できるトルクのレベルを示します(ニュートンメートル単位)。
- ステアリングホイール角度*15* (度単位)。
- エンジン出力*16*。リアルタイムのエンジン出力を表示します(単位: PS DIN)。
- 燃料残量に対する予想走行可能距離 *17*。









マイル表示のインストルメントパネル

(車両によっては km/h に切り替える オプションあり)

- 車両を停止し、設定メニューが表示されるまでボタン19または20を数回押します。ボタン18、19、または20を長押しして、メニューに入ります。 - ボタン19または20を使用して、「単位」を選択します。

- ボタン18を短く押して単位を変更します。新しい単位が即座に適用されます。

前のモードに戻りたいときは,同じ作業を行ってください。

注: いずれの場合も、一旦電源を切ると、トリップメーターの測定単位は自動的に工場出荷時の単位に戻ります。



インストルメントパネルサポート*21*の上に物を置かないでください。

インストルメントパネルのディス プレイが損傷する危険がありま す。

車両調整のパーソナリゼーショ ンメニュー



装備車ではこの機能はトリップコンピュータ1に内蔵されており、これによって車両の一部の機能を作動 / 作動解除したり、調整することができます。

車両調整のパーソナリゼーショ ン メニューへのアクセス

車両を停止し、設定メニューが表示されるまでボタン3または4を数回押します。ボタン2を長押ししてメニューに入ります。

調整の選択

42710



ボタン2を使用して、変更する機能を表示して選択します。

車両により、次の機能があります。

- 走行中のドアオートロック
- リアパーキングアシスト機能の作動。
- フロントパーキングアシスト機能の 作動。
- 夜間モードの自動作動
- 時刻



- 言語の選択

- 単位の選択: km/h または mph

調整のカスタマイズメニューは走行時には使用できません。時速4 km/hを超えると、オンボードディスプレイが自動的にトリップコンピューターモードに戻り、「設定メニュー:静止状態」というメッセージが表示されて警告します。

42710

42635



₩ 機能作動

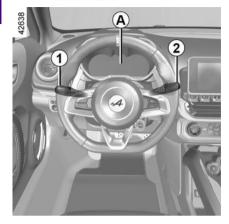
機能作動解除

ラインを選択したら、ボタン2または3を押し続けて機能を変更します:

「単位」または「言語」については、 さらに選択する必要があります。この 場合、ボタン3または4を使用して選 択を行い、ボタン2を長押しして確定 します。

メニューを終了するには、ボタン3を 使用して「終了」を選択し、ボタン2 を短く押して確定します。

マルチ機能画面





この機能は補助的機能です。したがって運転されるときは、お客さまの責任において慎重に運転し

なければならないことを忘れない でください。

また運転者は常に運転に関する規 則に準拠してください。

ディスプレイA





このシステムは連続的にリアルタイム のテクニカルパラメーターを表示しま す。

車両のイグニッションスイッチをオンにしてから、画面Aにマルチ機能画面メニューが表示されるまで上下にスクロールします(レバー2のボタン4または5を使用します)。

車両によっては、レバー1のボタン3 を押して以下を表示することができま す。

- スロットルボディー開度
- ブレーキ回路油圧
- リアルタイムのターボ過給圧
- 横加速度と縦加速度の計測。

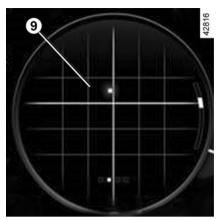


スロットルバルブの開度6

スロットルバルブの開度を知ることができます(単位:%)。

ブレーキ回路圧7

ブレーキ回路の圧力を表示します(単位: bar)。圧力が高くなると、制動力が増します。



リアルタイムのターボチャージャ圧8 リアルタイムにターボチャージャーの ロードと利用可能な過給量を知ること ができます(単位:mbar)。

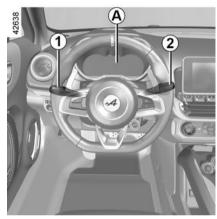
横加速度と縦加速度の測定9

加速時、アイドリング時、旋回時に車 は横加速度と縦加速度を受けます。

この画面にその加速度を表示してリア ルタイムに計測することができます。

時計/外気温度計

時計



ディスプレイAの時間設定を操作するには、車両を静止した状態で、設定メニューが表示されるまでボタン4または5を数回押します。3、4、または5のボタンを長押しします。





外気温度計

凍結の条件は気候や湿 度、 温度により異なり ます。外 気温の表示だ

けで凍結の有 無を判断すること はできません。

時計が表示されるまで、レバー2のボ タン5を押します。

- レバー1のボタン3を短く押して、時 間設定を操作できる状態にします。
- ボタン4または5を繰り返し短く押し て時間を設定します。
- ボタン3を短く押して、分設定を操 作できる状態にします。
- ボタン4または5を短く押して分を設 定します。
- ボタン3を短く押して確定します。

時計メニューを終了するには、ボタン 3をもう一度短く押します。



電気の供給が途絶えた場合 (バッ テリー不足、ケー ブル切断など) は、時計 を合わせる必要があります。 ただし、走行中に時計の操作は危 険ですのでおやめください。

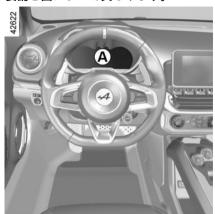
外気温度計

専用装備:

外気温が-3°C~+3°Cの範囲になる と、°Cの文字が点滅します(路面凍 結の危険をお知らせ)。

警告灯

上述の情報のディスプレイは、車両の 装備と国によって異なります。



インストルメントパネルA: 車両が解 錠すると点灯します。車両調整のメ ニューで明るさを調整できます(1章 の「車両調整のカスタマイズメ ニュー」の項を参照してください)。 一部の警告灯の点灯と同時にメッセー ジが表示されることがあります。

スモールランプ表示 灯

ID ハイビーム表示灯

D ロービーム表示灯

(注) リアフォグランプ表示灯

- **夕** 左方向指示器表示灯
- → 右方向指示器表示灯



警告灯 STOP が点灯し た場合、周囲の交通に注 意しながら直ちに安全な 場所に停車しなくてはなりませ ん。エンジンを停止し再始動しな いでください。正規サービス工場 にご連絡ください。

警告灯 ・ が表示さ れたら慎 重に運転しなが らできるだけ速や かに ルノー正 規サービス工場で点 検を受けて ください。このような推奨事項を 遵守されない 場合は、車両が損 傷する恐れあります。



ビジュアルリターンまた は 音声がない場合に は、イン ストルメント パネルが故障 していま

す。周囲の交通に注意しながら、 直ちに停車してください。車両が 固定されていることを確認して、 指定工場に連絡してください。

上述の情報のディスプレイは、車両の 装備と国によって異なります。



STOP 緊急停車警告灯

イグニッションスイッチを ON にする と点灯し、エンジンが始動する と消 灯します。この表示灯は場合によって 他の表示灯やメッセージとともに点灯 し、同時にビープ音が鳴る場合もあり ます。

この警告灯が点灯したら周囲の交通に 注意しながら直ちに安全な場所に停車 してください。エンジンを停止し再始 動しないでください。

正規サービス工場にご連絡ください。

グレーキ回路の故障検出警告灯イグニッションスイッチを ON にすると点灯し、システムに異常が なければ数秒後に消灯します。

ブレーキを掛けたときに点灯し、同時

に警告灯 **STOP** が点灯して警告音が鳴る場合、ブレーキ回路のフルードレベルが低下しているか、またはブレーキシステムに異常があると思われます。

車を止めて、ルノー指定サービス工場 にご連絡ください。

□ ゴ バッテリー充電警告灯

イグニッションスイッチを ON にする と点灯し、システムに異常が なけれ ば数秒後に消灯します。

走行中に警告灯 **STOP** が点灯して 警告音が鳴る場合は、電気系統の過電 圧 または放電を示しています。 車を止めて、ルノー指定サービス工場 にご連絡ください。

エンジン油圧警告灯

イグニッションスイッチを ON にする と点灯し、システムに異常が なけれ ば数秒後に消灯します。

走行中にこの警告灯 **STOP** が点灯 して警告音が鳴る場合は、必ずただちに停車し、エンジンを切ってください。

走行中に点灯したときは、周囲 の交通に注意しながら安全な場所に直 ちに停車し、イグニッションスイッチを OFF にして、オイルレベルを点検してください。レベルが正常な場合は、表示灯は別の原因で点灯しています。

正規サービス工場にご連絡ください。

● 可変式パワーステアリング表示 灯

イグニッションスイッチまたはエンジンを ON にすると点灯し、システムに 異常がなければ数秒後に消灯します。

走行中に警告灯 **STOP** と共に点灯 した場合は、システムの故障です。 車を止めて、ルノー指定サービス工場 にご連絡ください。

上述の情報のディスプレイは、車両の 装備と国によって異なります。



警告灯

イグニッションスイッチを ON にすると点灯し、エンジンが始動する と消灯します。この警告灯の点灯と同 時に他の警告灯も点灯し、メーターパネルにメッセージが表示されることがあります。

この警告灯が点灯したら、慎重に運転しながらできるだけ速やかに指定サービス工場で点検を受けてください。このような推奨事項を遵守されない場合は、車両が損傷する恐れあります。

警告灯



エミッションコントロール警

装備車両の場合は、エンジンを始動し たときこのランプが点灯し、車種に よってはイグニッションをオフにした とき点灯し(エンジンがスタンバイ状 態にある場合)、その後消灯します。 (第2章の「Stop and Start機能」の 項を参照)。

- この警告灯が常時点灯している場合 は、できるだけ速やかに正規ディー ラーにご相談ください。
- 警告灯が点滅する場合は、消灯する ま でエンジン回転数を下げてくださ い。できるだけ早くルノー正規サービ ス工場で点検をお受けください。

第2章の「メンテナンスと排気ガス制 御のアドバイス」の項を参照してくだ さい。

(D) ハンドブレーキ/アシストパー キングブレーキ警告灯

2 章の「ハンドブレーキ」または 「オートマチックパーキングブレー キ」の項を参照してください。

エンジン冷却水温警告灯

インストルメントパネル上での表示灯 の位置は、選択した走行モードと冷却 水温度に従います(1章の「ディスプ レイとインジケータ類」を参照してく ださい)。

イグニッションスイッチまたはエンジ ンを ON にすると赤く点灯し、数秒後 に青色、白色になります。エンジン冷 却水温度レベルによっては消灯しま す。

赤く点灯した場合は、停車して 1、2 分エンジンをアイドル回転させてくだ さい。温度が下がり表示灯が白く点灯 するか消灯する必要があります。消 灯しない場合は、エンジンを停止しま す。冷ましてから冷却水レベルを点検 してください(4章の「冷却水レベ ル」の項を参照してください)。レベ ルが正常な場合は、表示灯は別の原因 で点灯しています。正規サービス工場 にご連絡ください。

上述の情報のディスプレイは、車両の 装備と国によって異なります。



MABS 警告灯

イグニッションスイッチを ON にする と点灯し、システムに異常が なけれ ば数秒後に消灯します。

走行中に点灯したときは ABS に何ら かの異常があることを意味します。

ブレーキシステムの機能は ABS 非装 着 車と同じになります。できるだけ 早く指定サービス工場で点検をお受け ください。

ギア表示灯

マニュアルモードでは、点灯してシフ トアップ(上向き矢印)またはシフト ダウン(下向き矢印)を知らせます。 第2章の「運転のアドバイス、エコド ライブ」の項を参照してください。

エレクトロニックスタビリティ コントロール (ESC) およびトラク ションコントロールシステムに関する 警告灯

イグニッションスイッチを ON にする と点灯し、システムに異常が なけれ ば数秒後に消灯します。

警告灯が点灯する原因はさまざまで す。第2章の「ドライビングアシスト と補正装置」の項の記載をお読みくだ さい。

エレクトロニックスタビリティ コントロール(ESC)とトラクション

コントロールシステムの作動解除警告

第2章の「ドライビングアシストと補 正装置」の項を参照してください。

2 章の「スピードリミッター」の項を お読みください。

クルーズコントロール警告灯 2 章の「スピードリミッター . ク ルーズコントロール」の項をお読みく ださい。

 エンジンがスタンバイ状態にな らない場合

第2章の「Stop and Start機能」の項 を参照してください。

アンジンがスタンバイ状態にな らない場合

第2章の「Stop and Start機能」の項 を参照してください。

タイヤアンダーインフレーショ ン警告灯

イグニッションスイッチをオンにする とこのランプが点灯し、エンジンが始 動すると数秒後に消灯します。

注: 第2章の「タイヤ空気圧モニター システム」の項を参照してください。 上述の情報のディスプレイは、車両の 装備と国によって異なります。

🔉 Airbagに関する警告灯

イグニッションスイッチを ON にする と点灯し、システムに異常が なけれ ば数秒後に消灯します。

イグニッションスイッチをオンにして も警告灯が点灯しない、あるいはエン ジンが始動しても点灯したままである 場合、これはシステムに不具合がある ことを示しています。

できるだけ早くルノー正規サービスエ 場で点検をお受けください。

燃料残量警告灯

イグニッションスイッチを ON にする と点灯し、システムに異常が なけれ ば数秒後に消灯します。

走行中に 点灯した場合は、できるだ け早く燃料 を補給してください。最 初に警告灯が点灯してから約 50 km 走行することができます。第2章の 「ガソリン車の特記事項」の項をご覧 ください。

ドア開警告灯

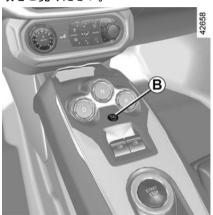
いずれかのドアが開いていると点灯 し、インストルメントパネルにメッ セージが表示される場合もあります。

| シートベルト締め忘れ警告灯

第1章の「シートベルト」の項をご覧 ください。

歌 パーティキュレートフィルタシ ステム警告灯(ガソリン車)

第2章の「ガソリン車の特記事項」の 項をご覧ください。



センターコンソールB上

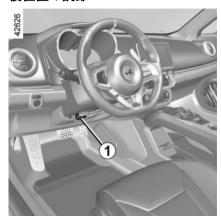
🏂 Airbag 助手席 OFF

第1章の「お子様の安全: 助手席 airbagの非作動、作動」の項をお読み ください。

ステアリング

ステアリング

ステアリングホイールの高さと 前 後位置の調節



レバー1を引いてステアリングホイー ルを必要な位置にセットし、抵抗点を 超えるまでレバーを押してステアリン グホイールをその位置にロックしま す。

ステアリングが確実にロックされたこ とを確認します。

パワーステアリング

可変式パワーステリング

車両には走行速度に応じてステアリン グの操作力を自動的に調整する、車速 感応式パワーステアリングが装備され ています。

このシステムは、駐停車時などの低速 走行中には、楽にステアリング操作が できるよう十分なパワーアシストを行 い、高速走行中は、速度の上昇にした がって安定した走行を行うためにパワ ーアシスト量を抑えます。

注:パワーステアリングは、選択した ドライブモードによって異なります。

(第2章の「走行モードの選択」を参 照)



安全のために、この調整 は必ず停止時に行ってく ださい。



ステアリングを左右どちら かいっ ぱいに切った状態 を長く保たない でくださ

い。

エンジン停止時またはシス テムが 故障した場合で も、ステアリング を回す ことができます。ただし、 より 大きな力が必要です。



下り坂の走行中、および 一般に走行中には絶対に エンジンを停止しないで ください(パワーステア

リングやエマージェンシーブレー キアシストが使用できなくなって しまいます)。

ドア/ルームミラー

ドアミラー



調整

スイッチ2でドアミラーを選択し、制御3を使用して希望する位置に調整します。

ドアミラーデフロスター

第 3 章の「マニュアルエアコン」と 「オートエアコン」の項を参照してく ださい。

ドアミラーの格納

スイッチ1を押してドアミラーを格納 します。スイッチ1をもう一度押す と、ドアミラーが展開します。

ウェルカム機能とグッドバイ機能 (車種によります)

スイッチ1を押してもドアミラーが格納されない場合:

- 車両をロックするとドアミラーは自動的に格納されます。
- 車両をアンロックするとドアミラー は自動的に展開されます。



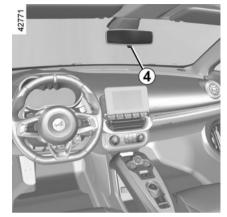
ルームミラーに映るもの は見た目よりも近くにい ます。

安全のために、操作する 前に距離を正しく認識することを 考慮してください。



安全のために、この操作 は必ず停止時に行ってく ださい。

ルームミラー



角度は調節できます。

レバー付きバックミラー 4

夜間走行中は、後続車両の灯火類による眩惑を防止するため、ルームミラーの裏側にある小さなレバー 4 を手前に引きます。

レバーなしのバックミラー 4

後続車がヘッドランプを点灯している とルームミラーの色が自動的に濃くな ります。

ランプ類

灯火類



スモールランプ

- 次 記号がマーク3の反対側になる までレバー1のリング2を回します。 メーターパネルの警告灯 が点灯しま す。

ランニングデイライトの点灯



AUTO記号がマーク3に合うまでレバー 1のリング2を回します。

注: AUTO位置では、エンジンが始動 するとデイタイムランニングランプが 自動的に点灯し、エンジンが停止する と消灯します。



夜間走行の際は、電子機 器が正常に作動すること を確認し、ヘッドランプ の光軸調整を行ってくだ

さい(積載量が普段と異なる場 合)。常に、汚れ、泥、雪、積載 荷物などによってランプが遮られ ることのないように注意してくだ さい。



ロービーム



■D _{手動での作動}

リング 2 を回してマーク 3 に合わせます。メーターパネルの警告灯 が 点灯します。

オートマチック機能

リング 2 を、AUTO 記号 がマーク 3 に合うまで回します。この状態でエンジンスイッチを ON にすると、ロービームは、レバー 1 を操作しなくても、灯火類の輝度に応じて自動点灯または消灯します。

ハイビーム:

ロービームに切り替えるときは、もう 一度レバー1を手前に引きます。

ランプの消灯

AUTOのシンボルがマーク3に合うまでリング2を回します。ハイビームが点灯していない場合、エンジンを停止したり、運転席ドアを開いたり、車両をロックしたりするとランプが消灯します。

ライト消し忘れ警告アラーム音

運転席側ドアを開けると警告ブザーが 鳴り、ランプが点灯していることを知 らせます。

ウェルカム機能とグッドバイ機能

(車種によります)

機能が作動すると、Renault カードが 検知されるか車両のロックが解除され たときに、スモールランプが自動的に 点灯します。

照明は以下の場合に自動的に消灯します:

- 点灯してから約 1 分後に。
- エンジンが始動したとき(照明制御 レバーの位置に応じて)。

または

- 車両の施錠時。



リアフォグランプ

①美 レバーの中央リング*4*がマーク *3*に向くまで回してから、放しま す。

ランプはスイッチリング上で選択されたとおりに点灯します。選択されたランプが点灯すると同時にメーターパネル上のマークも点灯します。

リアフォグランプは点灯の必要がなく なったら直ちに消灯してください。後 続車の迷惑になります。

ランプの消灯

リング4をもう一度回してマーク3を リアフォグランプに対応する記号に合わせます。インストルメントパネルの 警告灯が消灯します。

ヘッドランプを消灯すると、リアフォ グランプも連動して消灯します。

j

霧の深いとき、降雪時また はルー フを超える荷物を 積載している場 合には、

ランプは自動点灯しません。 フォグランプはドライバーによって制御されます:点灯/消灯の状態はインストルメントパネルの表示灯(点灯/消灯)によってわかります。

ホーン/パッシングランプ/ハザードランプ/方向指示灯

ホーン



ホーンを鳴らすにはステアリングホ イールのボス A を押します。

パッシングランプ

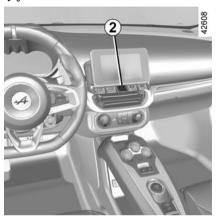
ヘッドランプを点滅させるには、レ バー1を手前に引きます。

方向指示灯

レバー*1*をステアリングホイールと平 行して曲がりたい方向に動かします。 ワンタッチモード

レバー 1 を、抵抗がなくならない位 置まで短く上下に動かしてから離しま す。するとレバーは元の位置に戻り、

該当する方向指示灯が 3 回点滅しま



ハザードフラッシャ

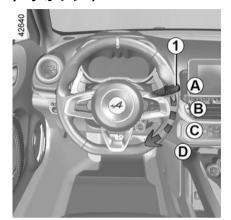


A スイッチ 2 を押します。

このスイッチを押すと、前後左右の方 向指示灯とサイドマーカーが同時に点 滅します。ハザードランプは、危 険 な場合、つまり特殊な運転状況や交 通状況のために、普段は停車しない場 所や駐車禁止区域にやむをえず停車し なくてはならないことを他の運転者に 知らせるときにしか使用しないでくだ さい。

仕様によっては、急激な減速をしたと きにハザードランプが自動的に点灯す ることがあります。スイッチ2を1回押 すとオフにできます。

フロントウインドーワイ パー /ウォッシャー



イグニッションスイッチオンにして、 レバー1を操作します。

A. 停止

B 間欠ワイパー

2. 間欠作動では、ワイパーブレード が一往復するごとに数秒間停止し ま す。リング を回してワイパ 一の作動 間隔を変更することがで きます。

- C. 低速ワイパー
- D. 高速ワイパー



B、C、Dの位置は、イグ ニッションがオンの状態で 操作することができます。



特徴

走行中に、車両が停止するとワイパ-の作動速度が遅くなります。高速モー ドを 選択すると、停車時は遅速モー ドへ切 り替わります。

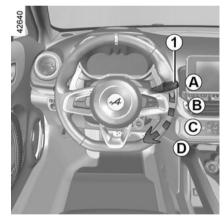
車両が再び走行を開始すると走行中に 選択されていたもとの速度に戻りま す。レバー1に対するすべての操作が 優先され、自動動作をキャンセルしま す。



エンジンルームで作業を する場合は、フロントウ インドウワイパーのレ バーがA位置(オフ)に あることを確認してください。 場合によってはケガを負うことも

オートマチックワイパー機能装 備 車両

ありますのでご注意ください。



エンジンが作動している状態で、レ バー1を操作します。

A オフ

ワイパー

C位置は、イグニッション がオンの状態で操作するこ とができます。BとDの位置 は、エンジンが作動している場合 にのみ操作できます。



B オートワイパー機能

この位置を選択すると、システム がフロントウインドーの水滴を探知し、ワイパーを適切な速度で作動させます。リング2を回すと、作動基準値や間欠ワイパーの間隔を変更できます。

- E: 最少感度 - F: 最高感度 注:霧や降雪の天候下では、ワイパー は自動的に作動せず、ドライバーの操 作によって機能します。

C. 低速ワイパー

D 高速連続作動

注:

- レインセンサーは運転時の操作を補助するものにすぎません。視界が悪くなった場合、運転者は手動でワイパーを作動してください。霧や降雪がある場合には、自動ワイパー機能は停止し、運転者の意志によって制御されます。

- 温度が 0 度を下回ると、車両が発進しても自動ワイパーは作動しません。車両が一定の速度(約 8 km/h)を超えると、自動的に作動します。
- 乾燥した天気の場合は自動ワイパーを作動させないでください。

- 自動ワイパーを作動させる前に、ウインドウの氷を完全に除去してください。
- ローラータイプの洗車機で洗車する場合は、レバー1をオフ位置Aに戻して自動ワイパーを無効にしてください。

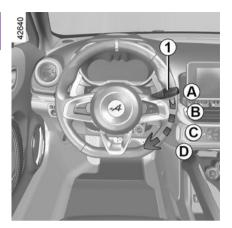
ウインドウウオッシャー



イグニッションをオンにした状態で、 レバー*1*を手前に引きます。

短めに押すとウインドーウォッシャー に加えてワイパーが一往復作動しま す。

長めに押すとウィンドーウォッシャー に加えてワイパーが 3 回作動し、数 秒 後に 4 回目の作動が実行されま す。





フロントウィンドウで何 らかの作業をする場合 (洗車、デフロスタ、フ ロントウィンドウの清掃

など)、作業前にレバー1をA位 置(オフ)に戻してください。 **負傷および/または損傷の恐れが** あります。



ワイパブレードの効率 ワイパーブレードの状態を こまめ に点検してくださ い。これにより 耐用年数が大き く変わります:

- きれいに保ってください:ワイ パブレード、リアウインドウを セッケン水で定期的に洗浄してく ださい。
- ウインドウが乾燥している状態 で使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、ワイ パをウインドウから離してくださ い。

いずれにしても、機能の低下が見 られた場合にはすぐに交換してく ださい(およそ1年ごと)(5章の 「ワイパーブレード: 交換」の項 を参照)。

ワイパをご使用になるとき の注 意事項

- 凍結時または降雪時には、ワイ パを始動する前に、ウインドウを きれいにしてください (モータの 加熱の危険性があります)。

- ワイパをご使用になる前に、 輸送荷物がブレードのストローク を妨げないこと を確認してくだ さい。

燃料の品質について



各国で定められた規格に準拠する高品 質の燃料を使用してください。カバー 1のラベルに記載されている仕様に必 ず準拠することが必要です。6章の 「エンジンの仕様」の項を参照してく ださい。



給油後フラップを確実に閉 じます。



指を使ってバルブ 2 を 押さないでください。 高圧洗浄をするときに、 給油口を開いたまま給油 ゾーンを洗浄しないでください。



どんなに微量であっても 絶対に軽油にガソリン (無鉛または E85) を混 ぜないでください。

車両がエタノールベースの燃料に 対応していない場合は、エタノー ル燃料を使用しないでください。 燃料に添加剤を(添加剤、試薬な ど) 加えないでください。エンジ ンが損傷する可能性があります。 燃料に添加剤を加える場合は、技 術部の承認を得た製品をご利用く ださい。

正規サービス工場にご連絡くださ い。

必ず 無鉛ガソリンを使用してくださ い。オクタン価(RON)は、カバー1の ラベルに記載される情報に準拠するこ とが必要です。6章の「エンジンの仕 様」の項を参照してください。



欧州で販売された車両のエ ンジンで適用される欧州規 格に適合する燃料タイプは 互換性があります。第6章の「エ ンジン仕様 | 表を参照してくださ W



コントロールユニット、 配線、ホース/パイプ 類、インジェクター、プ ロテクターを含め燃料供

給システムは絶対にご自分で脱着 したり分解したりしないでくださ い。大変危険です。点検修理は指 定サービス工場におまかせくださ い。

給油

イグニッションをオフにした状態で、 ノズルを挿入してバルブ 2 を開き、 完全に挿入してからトリガーを押して タンクを満たします(飛散のリスクを 防ぐため)。

給油中はノズルをこの位置に保ち、給 油が完了するまで離さないでくださ い。

最初の給油が自動的に完了した後、予 備の給油を行うことができます。一定 量を足すと再びカチッと止まります。 これを最高 2 度まで繰り返すことが できます。

注入の際は、水が侵入しないように注意します。バルブ2およびその周囲は清潔に保つようにしてください。

有鉛ガソリンの使用は触媒装置に損傷を与える恐れがあります。このような場合は保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

有鉛ガソリンの使用を避けるために、ガソリンエンジン車両の給油導管には、無鉛ガソリンの給油ポンプのノズルしか通さない安全装置が取り付けられています。



燃料の臭いがするとき 燃料の臭いがする場合は 以下のとおり 処置して ください:

- 周囲の交通に注意しながら停車 して、イグニッションスイッチを OFF にします:
- ハザードランプを点滅させ、同 乗者を車両から降ろし、安全な場 所に避難するよう促します。
- ルノー指定サービス工場にご連絡くださ い。



燃料の補充を行うとき は、必ずエンジンをオフ にしてください(Stop and Start機能装備車両

ではスタンバイ状態のままではなく): エンジンを完全にオフにする必要があります(第2章の「エンジンの始動と停止」の項を参照してください)。

火災の恐れがあります。

80 - あなたのお車について知っておきましょう

慣らし運転

エンジンを始動させます

走行距離が1,000 kmになるまでは、 トップギアで130 km/hまたはその他の ギアで3,500 rpmを上回る走行はしな いでください。またアクセルペダルを いっぱいまで踏み込んで加速しないで ください。

車両走行距離が約 3000 km に達する まで、「スポーティ」走行を避けま す。

車両が本来の性能を発揮できるように なるのは、この期間を過ぎてからで す。

注:新車を運転している場合:クーラントレベルがタンクの「MAXI」マークより高くなることがあります。続いて、「MINI」マークと「MAXI」マーク間に下がります。この作業には危険は伴いません。

点検時期:整備手帳の記載をご覧ください。

 車両の走行中にスタンディ ングスタート手順を開始す ることは禁止されています

(エンジン劣化のリスク)。 始動手順の詳細については、第2 章の「スタンディングスタートの 手順」の記載をお読みください。 車両に新しいパッドが装備されている場合、ブレーキは慣らしが必要です。したがって、車両の走行距離が約 200km に達するまで、ブレーキペダルをあまり強く押さないことをお勧めします。

慣らしに必要な作業の詳細について は、指定サービス工場にお問い合わせ ください。

「ハンズフリー」による始動



カードを検出ゾーン *1* 内に置いてください。

トランスミッションをPまたはN位置に入れ(第2章の「オートマチックトランスミッション」の項を参照)、ブレーキペダルに足を置き、ボタン2を押してエンジンを始動します。



トランク開放状態での「ハンズフ リー」始動

この場合、カードを紛失しないよう、 ラゲッジルームに置いたりしないでく ださい。



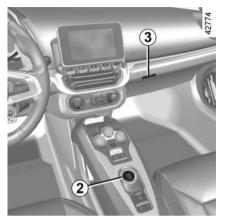
駐車または停車時のドラ イバーの責任

お子様、ひとりで動けない成人、ペットを車内に

残して、たとえ短い時間でも絶対 にお車から離れないでください。 実際、彼らがエンジンを始動した り、パワーウインドウやドアロッ クなどの装置を作動させると大変 危険であり、他人にまで危害が及 ぶ恐れがあります。

その上、暑く晴れた日には、車内 の温度は急に上昇します。 死亡または重傷のおそれ。

リモコン式カードを使用した車 両の始動



乗車したら、カード内蔵キーをカード リーダー3の奥まで差し込みます。

トランスミッションをPまたはN位置に 入れ(第2章の「オートマチックトラ ンスミッション」の項を参照)、ブ レーキペダルに足を置き、ボタン2を 押してエンジンを始動します。

注意事項

- エンジン始動の条件がひとつでも満 たされない場合、「ブレーキを踏み+ スタート」、または「Pを選択」とい うメッセージがインストルメントパネ ルに表示されます。

- 場合によっては、ステアリングコラ ムのロックを解除するために、スター トボタン2を押しながらハンドルを動 かす必要があります。その場合、「ハ ンドルを回して STARTを押します」と いう警告メッセージが表示されます。

アクセサリー機能

(イグニッションスイッチを ON にし ます)

一部の電装品(ラジオ、ナビゲーショ ンシステム、ワイパーなど) は乗車す るとすぐに使用することができます。



他の機能を活用するには:

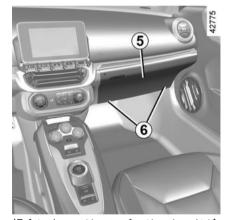
「ハンズフリー」カード装備車両: 室内にカードを置き、ペダルを踏まず にボタン2を押します。

- リモコン式カード装備車両:カー ドをリーダー3に差し込みます。



エンジンを始動する前に、 ベンチレーター4の妨げに なるものがないことを確認 します。

作動異常



場合によってはハンズフリーカードが 作動しないことがあります。

- カードキーの電池が消耗している、 または切れている場合
- カードと同一周波数の機器(ディス プレイ、携帯電話、ゲーム機など)の 祈くにある場合。

- 強い電磁波の影響内に車両がある 時。



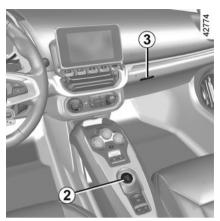
「キーカードを挿入」というメッセー ジがインストルメントパネルに表示さ れます。

フラップ6近くのカバー5を引いて、 クリップを外します。

カードをカードリーダー*7*に奥まで差し込みます。

エンジン停止の条件

車両を停車して、トランスミッション を位置PまたはNにします(第2章の 「オートマチックトランスミッショ ン」の項を参照してください)。



特徴

車両に応じては、エンジンがオフの場合、運転席のドアが開いている場合、ドアがロックされている場合に、電装品(ラジオなど)の機能が停止します。



車両が完全に停止するま では絶対 にイグニッ ションキーを OFF にし ないでください。エンジ

ンを停止すると、ブレーキサー ボ、パワーステアリングなどや パッシブセーフティ装置

(airbagsやプリテンショナなど)が無効になります。

「ハンズフリー」カード

カードを車両に入れたまま、ボタン 2 を押します: エンジンがオフになります。運転席ドアを開けるか車両をロックすると、ステアリングコラムがロックされます。



車両を離れる場合、とり わけカードを携帯してい る際には、エンジンが完 全に停止していることを

確認してください。



駐車または停車時のドラ イバーの責任

お子様、ひとりで動けない成人、ペットを車内に

残して、たとえ短い時間でも絶対 にお車から離れないでください。 実際、彼らがエンジンを始動した り、パワーウインドウやドアロッ クなどの装置を作動させると大変 危険であり、他人にまで危害が及 ぶ恐れがあります。

その上、暑く晴れた日には、車内 の温度は急に上昇します。 死亡または重傷のおそれ。

リモコン式カード

カードリーダー3にカードを差し込 み、ボタン2を押します。エンジンが 停止します。この場合、カードをリー ダーから 取出すとステアリングコラ ムがロック されます。

特徴

カードが室内にないか、またはカード のバッテリが消耗している場合、車両 停止中にエンジンをオフにしようとす ると、「キーカード検出できません STARTボタンを押す」のメッセージが インストルメントパネルに表示されま す: ボタン2を3秒間以上押してくださ い。

Stop and Start 機能

このシステムによって、燃料の消費と 温室効果ガスの排出を減少させること ができます。

車両が発進するとシステムは自動的に 作動します。走行中に車両が停止する と(渋滞や信号待ちで…)、このシス テムはエンジンを停止させます(スタ ンバイ状態にします)。

スタンバイ状態の環境

- 車両が、前回の停止以後走行してい たとき。

ح

- トランスミッションがD、MまたはN にある(第2章の「オートマチックト ランスミッション」の項を参照)。

- 部歴ペダルが踏み込まれた状態(十 分な力で)。

- アクセルペダルが押されていませ ん。

ح

- その他に車速が約1秒間ゼロです。

P位置(第2章の「オートマチックトラ ンスミッション」の記載を参照)に締 結している場合、またはN位置に締結 していてパーキングブレーキが適用さ れて、ブレーキペダルから足を放して いる場合、エンジンはスタンバイ状態 のままになります。

インストルメントパネルに 🙆 の 警告灯が点灯しエンジンをスタンバイ 状態が起動することを知らせます。

エンジンが停止している間でも、車両 の装備は機能します。



エンジンがスタンバイ状 態にあるとき、アシスト パーキングブレーキは自 動的に作動しません。



エンジンがスタンバイ状 態の時に、車両を走行さ せないでください(イン ストルメントパネルの表



示灯 (A) が点灯します)。



降車する前には必ずエン ジンを停止してくださ い。スタンバイ状態のま まにはしないでください

(第2章の「エンジンの始動と停 止」の項をお読みください)。

エンジンがスタンバイ状態になら ないためには

交差点を走行するなど特定の状況下で は、エンジンをオンにしたままで素早 く始動するようにすることができます (システム作動状態)。

ブレーキペダルを軽く踏んで車両が動 かないようにしてください。

エンジンのスタンバイ状態を解除 するためには

- ブレーキペダルを離して、DまたはM 位置に締結します。

または

- ブレーキペダルを離して、N位置に 締結し、パーキングブレーキを離しま す。

または

- ブレーキペダルをもう一度踏み、P 位置またはN位置に締結して、パーキ ングブレーキをかけます。

または

- R位置に締結します。

または

- アクセルペダルが踏まれていない。

注意:車種によって、エンジンがスタ ンバイ状態であるときにイグニッショ ンスイッチをオフにすると、インスト

ルメントパネルに 警告灯が数秒 間点灯します。





燃料の補充を行うとき は、必ずエンジンをオフ にしてください (Stop and Start機能装備車両

ではスタンバイ状態のままではな く): エンジンを完全にオフにす る必要があります(第2章の「エ ンジンの始動と停止」の項を参照 してください)。

火災の恐れがあります。

エンジンがスタンバイ状態になら ない場合

一部の条件下ではエンジンをスタンバ イ状態にする機能が作動しなくなりま す。特に、

- リバースギアが入れられた時:
- 運転席ドアが閉まっていない:
- 運転席のシートベルトが着用されて いない場合。
- 外気温が低すぎるか高すぎる。
- バッテリーが十分に充電されていな いとき:
- 車内の温度とオートエアコンディ ショニングの設定温度との差が大きす ぎる場合。
- SportまたはTrackの走行モードが作 動(第2章の「走行モードの選択」の 項をお読みください)。
- 高度が高すぎる。
- 勾配が急すぎる。
- 「クリアビュー」機能が作動(第3 章の「オートエアコン制御」の項を参 照してください)。
- エンジンの温度が低くすぎます。

インストルメントパネルの警告灯

🏈 が点灯します。これは、エンジ ンのスタンバイが利用できないことを 知らせます。



エンジンルーム内で作業 を始める前には必ずイグ ニッションをオフにして ください。(第2章の

「エンジンの始動と停止」の項を 参照してください)

注意:

す。

ります。

エンジンがスタンバイ状態のとき(渋 滞、信号待ち等)、運転手がシートベ ルトを外して運転席ドアを開ける、ま たは席から立ちあがると、イグニッ ションスイッチが OFF になります。 ハンドブレーキが自動的に作動しま

エンジンを再始動し、Stop and Start システムを再起動するには、エンジン を始動します(第2章の「エンジンの 始動と停止」の項を参照してくださ い)。

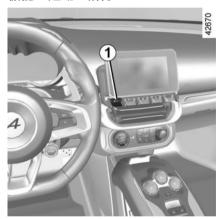
エンジン自動再始動の特徴

何らかの状況で、あなたの安全と快適 さを保証するために、エンジンは操作 なしに再始動することがあります。 これは、次の場合に発生することがあ

- 外気温が低すぎるか高すぎる。
- 「クリアビュー」機能が作動(第3 章の「オートエアコン制御」の項を参 照してください)。

- バッテリーが十分に充電されていな いとき:
- 車両の時速が 5km/h 以上(下り坂 など):
- ブレーキペダルを繰り返し踏むか、 ブレーキシステムが必要である場合。

機能の起動と解除



機能を解除するには、スイッチ 1 を 押します。インストルメントパネルに 「ストップ&スタート無効」メッセー ジが表示され、スイッチ 1 のインジ ケーターライトが点灯します。

もう一度スイッチを押すと、システム が再び作動します。インストルメント パネルに「ストップ&スタート作動」 メッセージが表示され、スイッチ 1

のインジケーターライトが消灯しま す、



特記事項: エンジンがスタ ンバイ状態の時にスイッチ 1を押すと、エンジンが自 動的に再始動します。

スタートボタンを押して車両が始動す るたびに、システムは自動的に再起動 します(第2章の「エンジンの始動と 停止」の項を参考してください)。

作動異常

インストルメントパネルに「ストップ &スタートシステムを点検」メッセー ジが表示され、警告灯 1 が点灯する 場合、システムが解除されたことを示 しています。

正規サービス工場にご連絡ください。



降車する前には必ずエン ジンを停止してくださ い。スタンバイ状態のま まにはしないでください

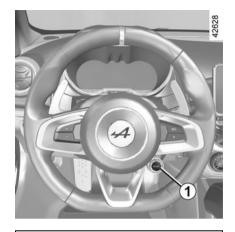
(第2章の「エンジンの始動と停 止」の項をお読みください)。

走行モードの起動コマンド

車両に応じて、次のモードを使用できます。

- Normalモード。
- Sportモード。
- 「」モード Track.
 - Sport モードおよび Track モードでは、Stop and Start 機能は解除されま す。

ESC システムやトラクショ ンコントロールシステムの 詳細については、2 章の 「補正装置とドライビングアシスト」の項を参照してください。



選択したモードに応じて、 ESC やトラクションコント ロールシステムのパラメー ター、パワーステアリングのアシ スト法則、アクセルペダル、オー トマチックトランスミッションの 設定を変更することができます。

Normal モード

エンジン、トランスミッション、ESC システム、トラクションコントロール に対して、これはデフォルトの作動 モードになります。

他のモードが選択されている場合は、 スイッチ1を必要な回数だけ押して Normalモードに戻します。インストルメントパネルの表示が変更されます。

Sport モード

Sportモードを選択するには、スイッチ1を必要な回数押します。インストルメントパネルの表示が変更され、「Sport」のメッセージが表示されます。

次の作動設定を変更できます。

- エンジンタイプ。
- エグゾースト
- アクセルペダル
- パワーステアリング法則
- トランスミッション

これらの変更は、補正装置を有効化するしきい値を下げます。



Track モード

走行モードの選択

(車種によります)

Track ₹ − ド:

- ESC システムとトラクションコント ロールシステムの作動を遅らせます。
- 変速時間を短縮します。
- 強制的なシフトアップは無効になり ます。

トランスミッションをDまたはM位置に入れた状態で(第2章の「オートマチックトランスミッション」の記載を参照)、スイッチ1を長押ししてTrackモードを選択します。インストルメントパネルの表示が変更され、「Track」のメッセージが表示されます。

「ESCトラック」のメッセージがイン ストルメントパネルに表示され、

警告灯が点灯して、すべてのESC システムおよびトラクションコント ロール機能が変更されたことを知らせ ます。

エンジン、エグゾースト、ペダル、ステアリングアシスト法則は Sport モードと同じ設定になります。

トランスミッションが自動的にM位置 に切り替わります。

ESCシステムとトラクションコント ロールは安全性を高めるため、無効に することは推奨されません。

ハザードの点灯

車両に応じては、急激な減速をすると ハザードが点灯します。 注: SportモードおよびTrackモードでは、急な減速時にハザードランプが非作動になります。



負荷が高くなった場合 (「スポーティ」走行な ど)、エンジンは一時的に (速度やトルク)に制限をか

性能(速度やトルク)に制限をか けエンジンを保護することがあり ます。

スタンディングスタートの手順



車両に装備されている場合、車両を停車させた状態からのスタンディングスタートの手順(Launch Control)は、停止状態から最大加速するための機能です。

注: この機能は、機械部品が動作温度 に達したときのみに使用してくださ い。

(j)

システムの集中的な使用 は、機械部品(クラッチ、 トランスミッションなど)

の寿命を短くさせます。

システムの作動 システムの作動開始は

- エンジンがオン、車両が停止状態。
- SportまたはTrackモードを作動します (第2章の「走行モードの選択」の 項を参照)。
- 左足でブレーキペダルを踏みます。
- ブレーキペダルを踏んだまま、インストルメントパネルに「Launch Control ON」メッセージが表示されるまで2つのステアリングホイールのパドル1を引きます。
- パドル1を離します。
- 60秒以内に、左足でブレーキペダルを踏んだまま、右足を使用して抵抗点を超えてアクセルペダルを完全に踏み込みます(エンジン速度は最大4秒間車両に応じて、約2,500 rpm、または約3,000 rpmで自動的に安定します)。
- 車両がパワーのある発車するために 4 秒以内にブレーキペダルをはなします。



最適なスタンディングス タートの場合は、Sport モードを使用します。



滑る、または濡れた道の 上でこの機能を使用しな いでください。

車両制御の喪失の危険性 があります。

システムの無効化条件

特定の条件下では、システムの作動が 無効になります。

- 5つの手順が連続して実行された場合、または車両によっては、15秒以内前に手順がすでに実行された場合、機能は約10分間中断されます。
- エンジン冷却温度が低くすぎます。
- クラッチ温度が過剰に高くなっています。
- トランスミッションオイル温度が高 すぎる。
- 道路傾斜の利率が大きすぎます。
- 車両によって 1,000 以上または 1,500 以上が始動します (その後、機能は無効になります)。
- 車両のシステム障害 (ESC…)。

注: これらの条件のいずれかによって 機能が抑制されている場合、「Launch Control ON」メッセージはインストル メントパネルに表示されません。

スタンディングスタートの手順



i 車両の走行中にスタンディ ングスタート手順を開始す ることは禁止されています (エンジン劣化のリスク)。

慣らし運転の詳細については、第 2章の「慣らし運転」の記載をお 読みください。



この機能は、車両に応じて 最大 1.000 または 1.500 回の使用で設定されます。 この制限を超えた場合、この機能 は完全に無効になります。

残りの使用回数を確認するには、 ブランドの取扱者に送ってくださ い。

注: この機能を使用すると、タイ ヤの摩耗が大幅に加速します。5 章の「タイヤ」の項を参照してく ださい。



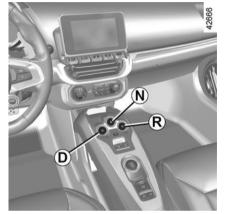
この機能が提供する加速 は、交通条件が許すおよ び地域の規制を遵守して いる場合のみ使用されま

す。

毎回使用前に確認してください。 事故や大ケガを負う危険がありま す。

オートマチックトランスミッ ション

選択スイッチ



スイッチR、N、Dを使用してさまざまなトランスミッション位置に締結できます。

(R)位置:リバースギア。

- (N)位置: ニュートラル。- (P)位置: パーキング。

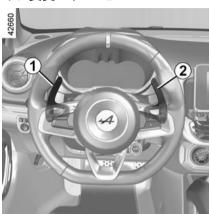
- (D)位置:オートマチックモー ドで走行。

- (M) 位置: マニュアルモードで 走行。

インストルメントパネルには、どの位置が締結しているかを示す5シンボル

と**どのギアが締結しているか**を示すインジケータ*4*が表示されます。

ギア変更パドル1と2



パドル1と2は、トランスミッションが「マニュアルモード」(M)または「オートマチックモード」(D)にある場合のギア変更に使用できます。 1. シフトダウンスイッチ(-)。

2. シフトアップスイッチ(+)。

(P)、(N)、(R)の位置はパドル を使用して締結できません。

作動



車両が静止している状態で、イグニッションをオンにして電子パーキングブレーキをかけると、R、N、Dスイッチに組み込まれた表示灯が消灯します。トランスミッションを位置(P)または(N)に入れた状態で、ブレーキペダルを踏み込んだままで(インストルメントパネルの表示灯3が消えます)エンジンを始動します。

「パーキング」位置(P)を解除す るには

車両を停止した状態でエンジンを回転 させ、ブレーキペダルを踏み、希望す る位置 (R) 、 (N) 、 (M) 、または (D) を選択します。

(R)、(N)、(D)、または(M)の位置は、車両を停止し、ブレーキペダルに足を置き、アクセルペダルを放し、エンジンが回転している状態でのみ締結できます。

ブレーキペダルが完全に踏み込まれていないと、インストルメントパネルに警告灯3が表示されます。

注:

- (P) 位置が締結していない状態で ドライバーがドアを開けて車両から離 れようとすると、ビープ音が鳴り、「 Pに締結していない」メッセージがイ ンストルメントパネルに表示されま す。
- 警告灯3は、ブレーキペダルを踏んでオートマチックトランスミッション位置を変更する必要がある場合に毎回に点灯します。

「パーキング」位置 (P) を締結す るには



車両を停止し、エンジンを回転させるかイグニッションスイッチをオンにして、Nスイッチに内蔵された表示灯が赤く表示されるまでスイッチNを長押しします。インストルメントパネルにPが表示されます。トランスミッションがパーキング位置(P)にシフトします。

注: エンジン停止ボタンを押してエンジンをオフにすると、(P)位置が自動的に締結し、装備車両の場合は電動パーキングブレーキが作動します。Nスイッチの表示灯が赤く点灯し、インストルメントパネルにPが表示されます。

位置 (D) 、 (M) または (R) を選択すると、ブレーキペダルから足を放すと同時に (アクセルペダルを踏まなくても) 車両が前進します。



P表示灯がインストルメントパネルに点灯し、Nスイッチに内蔵されている赤い表示灯が表示され

たことを確認してから降車します。

車両のブレーキングの喪失の危険 性



「ギヤボックス 点検」 または「電気系統故障 危険」のメッセージが表 示された場合、または

バッテリーに不具合が生じた場合は、電動パーキングブレーキを使用して車両を停車します。 できるだけ早くルノー正規サービ

ス工場で点検をお受けください。

ニュートラル (N) を締結するには

車両を停車し、エンジンを稼働した状態で、ブレーキペダルを踏み、Nスイッチを短く押します(Nスイッチ内蔵の表示灯が白く点灯し、インストルメントパネルにNが表示されます)。

注: 位置 (R) 、 (M) または (D) が 締結している場合、 (N) 位置を締結 するためにブレーキペダルを踏む必要 はありません。



操作時にサブフレームに 衝撃があった場合(縁 石、歩道またはその他の 市街地設備との接触な

ど)車両を損傷した恐れがあります(リアアクスルの変形など)。 放置すると事故が起こるおそれが あるので、正規サービス工場で点 検を受けてください。

オートマチックモードで走行: (D) 位置

車両を停車し、エンジンを稼働した状態で位置 (P)、 (N)、または (R) に締結し、ブレーキペダルを踏み、D スイッチを**短く押します** (Dスイッチ内蔵の表示灯が白く点灯し、インストルメントパネルにDが表示されます)。

これらの条件がひとつでも欠けていると、D表示灯が約5秒間点滅し、インストルメントパネルに表示灯3が表示されたままになります。

注: エンジンを回転させ、車両を運転し、(D) 位置に締結した状態でDスイッチを1回押すだけで、マニュアル走行モード(M) に切り替えることができます(Dスイッチに内蔵された表示灯が青く点灯し、インストルメントパネルにMが表示されます)。

通常の走行条件ではスイッチを押す必要はありません。アクセルペダルの踏み込み度合いや選択した走行スタイル、道路の種類に応じて、自動的に最適なギアに切り替わります。

注: エンジンが回転し、車両を0~10 km/hほどで走行し、(N)または(R)位置に締結している場合、(D)位置に締結するためにブレーキペダルを踏む必要はありません。パーキング操作で前進と後進を交互に何度も繰り返す必要がある場合に便利です。



位置(D)、(M) または (R) を選択すると、ブレーキペダルから足を放す

と同時に(アクセルペダルを踏まなくても)車両が前進します。

経済的に走行するには

運転時には常にトランスミッションを (D) 位置にして、エンジン回転数が 低いときに自動的なギアチェンジが確実に行われるようにアクセルペダルを 少しだけ踏みます。

一気に加速する

アクセルペダルを素早くいっぱいに踏み込んでください (アクセルペダルが重くなる位置よりさらに踏み込みます)。

こうすることによりエンジンの性能の 範囲内で最適のギアにシフトダウンし ます。

一時マニュアルモードで走行する

一時マニュアルモードは、オートマチックモード(D)がすでに締結されているときに使用できます。

パドルを操作してギアシフトを強制する(一時マニュアルモード)ことができます。

- ギアのシフトダウンを行うには、左 パドルを押します。
- シフトアップを行うには、右パドル を操作します。

選択されたギアは、メーターパネルの ディスプレイに表示されます。

注: トランスミッションは次の場合に オートマチック走行モードに戻りま す。

- 5秒間以上どちらのパドルも操作していない場合。
- Dスイッチをもう一度押した場合。

- 右パドルを押し続けた場合。

注意:

特定の運転状況によっては(エンジン 保護モード、エレクトロニックスタビ リティコントロールの作動: ESCな ど)、オートマチック機能が自動的に ギアチェンジを行います。

要求されたギアは、道路勾配と走行ス タイルに基づいてシステムにより設定 された期間だけ維持されます。

この期間が経過するとオートマチック システムが操作を引き継ぎ、場合に よっては自動的にギアチェンジが行わ れます。

また、誤作動を防止するために、自動 制御システムによってギアチェンジが 無効になることがあります。この場 合、締結したギアがインストルメント パネルに数秒間点滅して警告します。



) 上り坂で、停止の状態でいるためには、アクセルペダルの 踏み続けないで下さ

い。

トランスミッションが過熱する恐れがあります。

マニュアルモードで走行: (M) 位置

車両を停車し、エンジンを稼働した状態で位置(P)、(N)、または(R)に締結し、ブレーキペダルを踏み、Dスイッチを短く押します(Dスイッチ内蔵の表示灯が白く点灯し、インストルメントパネルにDが表示されます)。(M)の位置に切り替えるには、Dスイッチをもう一度短く押します(Dスイッチに組み込まれている表示灯が青色に点灯し、Mがインストルメントパネルに表示されます)。

パドルを何度か連続でシフトさせる と、手動でギアシフトができます。

- ギアのシフトダウンを行うには、左 パドルを押します。
- シフトアップを行うには、右パドル を操作します。



選択されたギアは、メーターパネルのディスプレイに表示されます。

注: エンジンを稼働した状態で車両を運転し、(M)位置に締結した状態では、Dスイッチを1回押すだけでオートマチックモード(D)に切り替えることができます(Dスイッチに内蔵された表示灯が白く点灯し、インストルメントパネルにDが表示されます)。

ギアシフトしきい値インジケータ

表示灯6がインストルメントパネルに表示されている場合:

- 長線とともに白く表示される場合、 エンジン回転数に応じたギアが締結し ていることを示します。

- で赤く表示され、ビープ音が が鳴る場合、ギアをシフトアップする 必要があることを示します。

- とともに表示されている場合、シフトダウンする必要があります。

「Track」モードでは、ト ランスミッションは恒久的 なマニュアルモード(M)

に変更します。

オートマチック走行モード(D) に変更するには、「Normal」また は「Sport」モードを選択します (第2章の「走行モードの選択」 を参照してください)。

注意:

走行条件によっては(エンジン保護など)、オーバーレブの場合やアンダーレブに近づいているときに、自動でギアチェンジが行われることがあります。マニュアルモードは ON のままです。

同様に、不正確な動作を防止するために、トランスミッションによってギアチェンジが無効になることがあります。この場合、締結しているギアの表示が数秒間点滅してドライバーに警告します。

マルチシフト

車両によって、「Sport」「Track」走 行モードが ON の場合 (2 章の「走行 モードの選択」を参照してくださ い)、いくつかのシフトダウンを素早 く行うことが可能です。

トランスミッションを(M)位置に締結してブレーキをかけた状態で、左パドルを必要なだけ何回も長押しすると、自動的に最適なギアまでシフトダウンできます。

停止する

ボタンを押してエンジンをオフに切り替えると、(P)が自動的に締結し、装備車両の場合はアシストパーキングブレーキ(装備車両の場合)も締結します。Nスイッチの表示灯が赤く点灯し、インストルメントパネルにPが表示されます。

車両が停車し、エンジンが回転している状態で、Nスイッチに内蔵する表示灯が赤く点灯するまでNスイッチを長押しします。トランスミッションがパーキング(P)位置にシフトします。

注意:

エンジンを停止すると自動的に (P) 位置に締結するため、一部の洗車や車両の運搬時などではトランスミッションを (N) 位置にすることが必要な場合もあります。



降車する場合は必ずトラ ンスミッションをP位置 にしてエンジンをオフに してください。

車両が停止していても、ギアの 入っている状態でエンジンがか かっていると、車両が動き出す場 合があります。

事故の恐れがあります。

エンジンをオフ、イグニッションをオン、ドアを閉じ、トランスミッションが (P) 位置のとき、Nスイッチを短く押すと同時にブレーキペダルを踏むことで (N) 位置に切り換えることができます (Nスイッチに内蔵された表示灯が白く点灯し、Nがインストルメントパネルに表示されます)。

(N) 位置は、運転席ドアが開く前と エンジン停止後45秒以内に締結できま す。この時間が経過したか、運転席ド アが開いた後で(P) 位置を解除する には、もう一度イグニッションをオン にすることが必要です。

注: エンジン停止後に締結すると、車両のイグニッションが再びオンになるまで(N)の位置が維持されます。



「Stop and Start」機能 に関する特記事項:

「Stop and Start」機能 によりエンジンがスタン

バイ状態になる前に運転席のシートベルトを外す場合、(P)位置に締結していることを確認してください。確認としてP表示灯がインストルメントパネルに表示されます。ブレーキング喪失のリスクがあります。



インストルメントパネル から情報が消えた場合、 アシストパーキングブ

レーキを使用するか、N スイッチを長押しで(エンジンが オンの場合はスイッチ内蔵のN表 示灯が赤く点灯) (P) 位置に締 結して車を停止し、駐車します。

リバースにするには

車両が停止し、エンジンをオンにした 状態で、位置 (P) 、 (N) 、 (M) 、 または (D) に締結し、ブレーキペダ ルを踏み、Rスイッチを**短く押します** (Rスイッチ内蔵の表示灯が白く点灯 し、インストルメントパネルにRが表示されます)。

リバースギアを選択する(イグニッションオン)と同時にリバースランプが点灯し、車両によって後方カメラが作動します(第2章の「リバースカメラ」の項を参照してください)。

ブレーキペダルが踏み込まれていない場合、R表示灯が5秒間ほど点滅し、3警告灯がインストルメントパネルに表示されたままになります。

注: エンジンが回転し、車両を0~10 km/hほどで走行し、(N)または(D)位置に締結している場合、(R)位置に締結するためにブレーキペダルを踏む必要はありません。パーキング操作で前進と後進を交互に何度も繰り返す必要がある場合に便利です。

例外的な状況

路面やカーブによってオートマチック モードを持続できない場合は(山道で の走行など)、マニュアルモードに変 更することをおすすめします。

そうすることにより、登りで「オートマチック機能」が頻繁に変速することを避けると共に、長い下りでエンジンブレーキを効かせることができます。

メンテナンス期間

オートマチックトランスミッションで スケジュールに従ったメンテナンスが 必要であるかどうかを確認するため に、車両のメンテナンス資料を参照するか、指定サービス工場にご相談ください。

メンテナンスの必要がない場合は、オイルを補充する必要はありません。

作動異常

- 走行中にインストルメントパネルに「ギヤボックス 点検」というメッセージが表示される場合、これは不具合の発生を示しています。

アシストパーキングブレーキを使用して車両を移動しないようにします。

できるだけ早く正規代理店にご相談ください。

- 走行中に「ギヤボックス オーバーヒート」というメッセージがインストルメントパネルに表示された場合は、速やかに停車し、トランスミッションを冷やして、このメッセージが消えるまでお待ちください。
- オートマチックトランスミッション車が故障した場合は、第5章の「けん引」の項をお読みください。



安全上の理由から、車両が 完全に停止するまで は絶対 にイグニッショ ンスイッチ を OFF にし

ないでくださ い。

ガソリン車についての注意事項

次のような場合、触媒装置が過熱する ことがあります:

- 燃料残量警告灯が点灯したまま長時間走行したとき。
- 燃料残量警告灯が点灯した状態で、「スポーティ」な走行や過酷な条件下 (カーブの急速なコーナリングなど) で走行するとき。
- 燃料に有鉛ガソリンを使用したと き。
- 指定外の潤滑剤や燃料を使用すると き。

または次のような場合でも、触媒装置 が過熱することがります:

- イグニッションシステムの故障、燃料切れ、スパークプラグの外れなど、 走行時に失火や振動などの症状が表れ たとき。
- エンジン出力が低下。

触媒装置が過熱すると、排気ガス浄化性能が低下するだけでなく触媒装置本体の損傷や熱により重大な車両の損傷を引き起こすことがあります。

上記のような異常が発生したら、無理 に走行を続けず、ただちに指定サービ ス工場で点検修理を受けてください。

メインテナンスブックに記載されている点検整備を指定サービス工場で定期的に受けることにより、異常の発生を未然に防ぐことができます。

エンジン始動時の注意事項

キャタライザーまたはスタータの損傷を防ぎ、またバッテリの早期の消耗を避けるために、始動時のエンジンエラーの原因を特定して修正せずに、何度も始動操作を繰り返さないでください(スターターボタンを使用したり、車両を押したり、けん引したりしないこと)。

原因がわからない場合はそれ以上無理 に始動操作を続けず、指定サービス工 場にご連絡ください。



枯れ葉や草、紙屑など燃え やすいものの近くで 停車し たままエンジン を作動し続 けないでく

ださい。高温と なっている排気 系統のコンポーネ ントに、これ らのものが接触して 火災になる 恐れがあります。

パーティキュレートフィルタ

パーティキュレートフィルタは、ガソ リンエンジンからの排ガスの処理に用 いられます。

インストルメントパネルの警告灯

が点灯した場合は、パティキュレートフィルターが飽和状態になって

いて、清掃が必要であることを示しま

す。この場合、 警告灯が表示されてからは80 km ~ 110 km/h の範囲内で交通状況に注意しながら制限速度を遵守し、警告灯が消灯するまで走行します。

警告灯は約 20 分後に消灯します。

注意: フィルター清掃に必要な走行条件が完全に満たされていない場合、警告灯が20分後に消灯することがあります。

警告灯が消える前に運転を止めると、 作業をやり直すことになります。 フィルタが飽和状態になると、

警告灯が点灯し、車両に応じ

ては 警告灯と「インジェクション 点検」メッセージがインストルメントパネルに表示されます。この場合は、正規代理店に連絡してください。

STOP 警告灯が点灯し、車両に応じ

ては 警告灯と「エンジン不具合 危険」のメッセージがインストルメントパネルに表示されたら、車両を停止して、正規販売店にお問い合わせください。

ガソリン車についての注意事項



警告灯 STOP が点灯した場合、周囲の交通に注意しながら直ちに安全な

場所に停車しなくてはなりません。エンジンを停止し再始動しないでください。正規サービス工場にご連絡ください。

電動パーキングブレ ーキ

アシスト操作



アシストパーキングブレーキの 作動 車両が停車している状態では、エンジンのスタート / ストップボタンを押 すとアシストパーキングブレーキが車 両を駐車します1。



エンジンストールまたはStop and Start機能によりエンジンがスタンバイ状態にあるとき(第2章の「エンジン始動と停止」および「Stop and Start機能」を参照)など、その他のすべての状況下では、アシストパーキングブレーキは自動的に作動しません。

このような場合は手動機能を使用してください。

アシストパーキングブレーキ機能は、 一部の国では作動しません。詳しくは 「手動操作」をご覧ください。

アシストパーキングブレーキがかかっていることを確認するため、インストルメントに「パーキングブレーキ ON」メッ

セージと「^(P)」警告灯が表示さ

れ、スイッチ2に表示灯3が点灯します。

エンジンをオフにすると、アシストパーキングブレーキをかけた数分後に表示灯3が消え、車両の施錠時に

(P) 警告灯が消えます。

注: アシストパーキングブレーキの作動をドライバーに知らせるために、警告音が鳴り、「パーキングブレーキ を入れてください」メッセージがインストルメントパネルに表示されます:

- エンジンが ON の状態で運転席側の ドアが開いた場合。
- イグニッションオフの状態(エンジンストール時など): ドアを開けたとき。

この場合に電動パーキングブレーキをかけるには、スイッチ 2 を引いて離します。

アシストパーキングブレーキを解除す る場合

アクセルペダルを踏込みながら車両を 発進させると、パーキングブレーキは 自動的に解除されます。

パーキングブレーキ故障



Stop and Start機能に関連する特別な機能: Stop and Start機能によりエンジンがスタンバイ状態

になる前に運転席のシートベルトが着用されていない場合は、パーキングブレーキが作動していることを確認してください。インスト

ルメントパネルに (P) 警告灯が 点灯してこれを確認します。 ブレーキング喪失のリスクがあり ます。



アシストパーキングブレーキを使用して車両が 移動しないようにします。車両から離れる前

に、アシストパーキングブレーキが作動していることを確認してください。パーキングブレーキの適用は、ドアが施錠されるまでスイッチ2の表示灯3の点灯および

インストルメントパネルの 警告灯点灯によって確認できます。車両によっては、フロントウインドウの上部にラベルがある場合があります。

一時停止

(赤信号で停車した際、エンジンの回転が止まった際などに)電動パーキングブレーキを手動でかけるには、スイッチ 2 を引いて離します。

車両を再発進させ るとすぐに、パーキングブレーキは自 動的に解除されます。

手動での作動



手動でアシストパーキングブレーキを 作動させることができます。

手動でアシストパーキングブレーキを 作動させる

スイッチ 2 を引きます。警告灯3と

警告灯 (P) がインストルメントパネルに点灯します。

手動でアシストパーキングブレーキを 解除する

イグニッションをオンにした状態でブレーキペダルを踏んでからスイッチ2

を押します。警告灯3と (P) 警告灯 が消えます。

パーキングブレーキ故障

注意:



(凍結の恐れなどにより) 電動パーキングブレーキを解除して駐車する場合:

エンジン始動/停止ボタン 1 を押してエンジンを停止します。

- Nスイッチの表示灯が赤く点灯し、 パーキング位置Pの警告灯がインスト ルメントパネルに表示されていること を確認します。

- ブレーキペダルを踏んで、アシスト パーキングブレーキを手動で解除す る。

Stop and Start 機能装備車では、エンジンがスタンバイ状態にある時(渋滞、信号待ち…)、ドライバーがシートベルトをはずすかドアを開けた場合、またはシートを離れると、自動的

にアシストパーキングブレーキが作動 します。



「電気系統故障 危険」 または「バッテリーを確 認してください」または 「ブレーキシステム 不

具合」というメッセージが表示された場合は、1速に締結(マニュアルトランスミッションの場合)、またはP位置(オートマチックトランスミッションの場合)を締結して車両を停車することが必要です。

条件と傾斜によって必要である場合は、車両に車輪止めを使用して ください。

車両のブレーキングの喪失の危険 性があります。

正規サービス工場にご連絡ください。



降車する場合は必ずトランスミッションをP位置にしてエンジンをオフにしてください。車両が停

止していても、ギアの入っている 状態でエンジンがかかっている と、車両が動き出す場合がありま す。

事故の恐れがあります。

安全上の理由により、運転席ドアが開いているか正しく閉まっていない状態、またはシートベルトが着用されていない状態でエンジンが稼働してる場合、自動解除は非作動になります(運転者なしで車両が動き出さないようにするため)。

ドライバーがアクセルペダルを踏むと、「パーキング ブレーキ要解除」というメッセージがインストルメントパネル上に表示されます。

パーキングブレーキ故障



ビジュアルリターンまた は 音声がない場合に は、イン ストルメント パネルが故障 していま

す。周囲の交通に注意しながら、 直ちに停車してください。車両が 固定されていることを確認して、 指定工場に連絡してください。



そのため、トランスミッションをP位置にして車 両を停車することが重要 です。傾斜した路面で

は、タイヤに 木片等を当て固定してください。

作動異常

- 不具合が生じた場合、インストルメ

ントパネルに ● 警告灯が点灯して「パーキングブレーキ を点検してください」メッセージが表示され、場合に

よっては (P) 警告灯が点灯します。 できるだけ早く指定サービス工場で点 検をお受けください。

- パワーアシストパーキングブレーキ

に不具合が生じた場合は、 **STOP** 警告灯と「ブレーキシステム 不具合」 のメッセージが表示され、警告音が鳴

ります。また、場合によっては [®] 警告灯が表示されます。

その場合、周囲の交通に注意しながら直ちに停車します。

地球にやさしい車づくり

お使いの車両は、その生産から走行を 経て廃車へと至るライフサイクルを全 うできるよう、環境に配慮して設計さ れています。

製造

本車両は(水やエネルギーの消費を節約し、視覚的、聴覚的侵害を抑え、大気や水への汚染物質の排出を抑え、廃棄物の選別と再生を実施し)自然環境への影響を除去する過程を経た製造場所で製作されました。

排気ガス

使用段階において、本車両は温室効果 ガス (CO2) の放出が少ない省燃費車 両として開発されました。

さらに(燃料タンクからの燃料蒸発ガスの大気中への放出を防ぐ)触媒コンバータ、02センサー、活性炭フィルターなどの排気ガス浄化装置を装備しています。

お客様ご自身も、環境保護に参加しているという意識を持って お取り扱いください。

- 通常の整備における消耗部品や交換部品(バッテリー、オイルフィルター、エアフィルター、電池など)、および廃油(オイルの交換、補充)は専門業者を通して処理してください。

- 廃車する場合は、リサイクルできるように認可業者に引き渡すようにしてください。
- 国 や地方自治体の規則に従って処理して ください。

リサイクル

特に研究されました。

お使いの車両は、少なくとも 85% は リサイクル可能で、少なくとも 95% は回収可能な素材で作られています。 そのため多数の部品がリサイクルでき るように設計されています。コンポー ネントの取り外しと専用ラインでの再 処理が容易になるように構造と素材が

最初の素材の段階から資源を維持する ために、お車には多数のリサイクルさ れたプラスチック素材と再使用可能な 素材(木綿や羊毛のような植物または 動物素材)が使用されています。

メンテナンスと環境に優しい運転のアドバイス

あなたのお車は 2015 年に施行される リサイクル基準および使用済み車両の 価格設定基準を満たしています。

あなたのお車のいくつかの部品は将来 のリサイクルを考慮して設計されてい ます。

これらの部品は容易に分解でき、リサイクルの過程においても処理し易くなっています。

点検整備

環境保護に関する法規に違反した場合、車両の所有者が処罰の対象となる可能性があります。

エンジンや吸排気 システムの部品を メーカー指定品以外 の部品に交換し たり改造した場合、お 車が排出ガス 規制やその他の環境保護 に関する法 規に適合しなくなる恐れが あります。

メーカーが指定するサービス工場にて、整備手帳の指示に従ってお車の調整と点検を受けてください: ルノー指定サービス工場では、お車を新車時の調整にするために必要なすべての設備が整っています。

エンジンの調整

- スパークプラグ:消費、作動効率、性能の最適条件は、メーカー社の研究所が定めた仕様に厳格に従わなくてはなりません。

点火プラグを交換するときは、必ず 同一メーカーの製品で、お車のエン ジンに指定されているものをセット でご使用ください。メーカーにお問 い合わせください。

- エアクリーナー、燃料フィルタ: 目詰まりしたフィルタを使用するとエンジンの作動効率が低下します。定期 的に交換してく ださい。

- イグニッションとアイドリング速度: 調整の必要はありません。

排気ガス浄化装置のチェックシ ステム

このシステムはお車の排気ガス浄化装 置の異常を検出します。

排気ガス浄化装置に異常が発生した場合、有害物質の排出が多くなるだけで

なく車両の損傷を引き起こすことがあ ります。

インストルメントパネル上にあるこの表示灯は、システムに不具合がある可能性を示しています。

イグニッションスイッチを ON にする と点灯し、エンジンが始動すると消灯 します。

- この警告灯が常時点灯している場合は、できるだけ速やかに正規ディーラーにご相談ください。
- 警告灯が点滅する場合は、消灯する ま でエンジン回転数を下げてくださ い。できるだけ早くルノー正規サービ ス工場で点検をお受けください。

ドライビングアドバイス、ECO-ドライブ

燃料消費量は標準的な規制方法に基づ いて認証されています。すべてのメー カーで同一され、車両間が比較できま す。

実際の使用での消費量は車両、機器、 ライディングスタイルの条件によって 異なります。消費を最適化するため以 下をご参照ください。

車両に応じて、燃料消費量を減らすた めに利用できるさまざまな機能が用意 されていることがあります。

- タコメータ:
- ギア表示灯:
- Stop and Start機能 (第2章の 「Stop and Start機能」の項をご覧く ださい)。

ナビゲーションシステムが車両に装備 されている場合は、これらの情報を補 います。

ギアチェンジ表示1



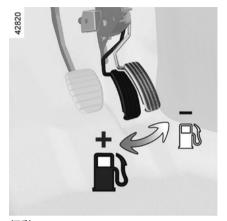
燃料消費を最適化するため、マニュア ルモードではインストルメントパネル の表示灯がシフトアップ/シフトダウ ンの最適なタイミングを知らせます:

◆ シフトアップしてください。



シフトダウンしてください。

ドライビングアドバイスとECO ドライブ



行動

- 停車した状態で暖機運転をするよ り、エンジンを始動したらすぐに発進 するようにしてください。ただし、エ ンジン温度が通常温度になるまでは、 ゆっくりと走行するようにしてくださ い。
- 高速走行は車両の燃料消費量に大き く影響します。

例(定速走行時):

- およそ時速 130 km/h から時速 110 km/h に減速すると、約 20% の燃料を 節約することができます。

ドライビングアドバイス、ECO-ドライブ

- およそ時速 90 km/h から時速 80 km/h に減速すると、約 10% の燃料を 節約することができます。
- 「スポーティ」な運転は大量の燃料を使用します。スロットルは穏やかに操作してください。「通常」走行モードを推奨します(1章の「走行モードの選択」の項を参照してください)。 中間ギアでエンジン回転数を上げ過ぎないようにしましょう。

常に出来る限り高めのレンジを使用して走行してく ださい。

- 急加速はやめましょう。
- ブレーキ操作は可能な限り少なめに します。障害物やカーブを早め に察 知することにより、アクセルペ ダル から足を放すだけですみます。
- エンジン停止前の加速は現代の車では無用です。
- 悪天候、浸水した道路:



道路上の水溜りの深さ が ホイールリムにまで 達す るようでしたら走 行を見 合わせてくださ い。

暖房レベル

通常、暖房(特に外気温が 0℃ 未満の状況での暖房使用)またはエアコンを使用すると、車両の燃料消費量が増加します。

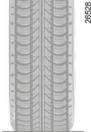


運転の妨げになるもの 運転席側は、車両に適合 したフロアマットのみを 必ず使用し、あらかじめ

装備されたパーツにしっかりと固定されているか定期的に確認してください。複数のマットを余分においてはいけません。

ペダルの動きを妨げる危険があり ます。







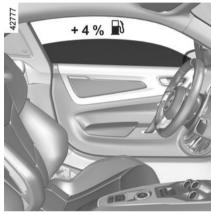


タイヤ

- タイヤ空気圧が低すぎると燃費を悪くします。
- 運転席ドアの下部に示されている最高タイヤ空気圧または推奨空気圧を選

択して、燃料消費量を最適化することができます(4章の「タイヤ空気圧」 の項を参照してください)。

- 非推奨タイヤを使うと燃料消費量が 増加します。



エアコンの上手な使い方

- 電気はエンジン(燃料)によって発電されます。不要な電装品の電源はOFF にするよう心がけましょう。ただし安全のため、視界不良のときにはヘッドランプを点灯するようにしてください。
- なるべくベンチレーション機能を使いましょう。窓を開けたまま 100 km/h で走行した場合、窓を閉じているときに比べて約 4% 燃費が悪くなります。

ドライビングアドバイス、ECO-ドライブ

- タンクから燃料が溢れる恐れがある ため、満杯まで給油しないでくださ い。
- 2 マニュアルエアコン装備車両で は、不要時にはエアコンをお切りくだ さい。

燃料の消費を最小限に抑え、環境を守 るためのアドバイス:

炎天下に駐車していたときは、走 り 出す前にドアやウインドウを開 けて 熱気を車内から逃すようにし てくだ さい。

- 走行距離が短い割に信号などによる 停車時間の多いような「近場」のドラ イブは、できるだけ避けてください。 このような短距離の走行では、エンジ ンが最適な作動温度に達しません。

タイヤ空気圧モニターシステム



このシステムが装備されている車両 は、タイヤ空気圧が低下するとこのシ ステムによって警告されます。



このシステムは運転時の 安全性を補助するもの で.

この機能は、ドライバー の代わりをするものではありません。したがって運転されるときは、お客さまの責任において慎重 に運転しなければならないことを 忘れないでください。

毎月 1 回、スペアタイヤも含めて タイヤの空気圧を点検してください。

作動原理

各タイヤ(装着の場合、スペアタイヤ は除く)のバルブにセンサーが取り付 けられていて、このセンサーが空気圧 を走行中に定期的に測定します。

空気圧が不十分である場合(タイヤの 空気圧減少、パンクなど)には、警告

灯 1が点灯したままになり、ドライバーに警告します。

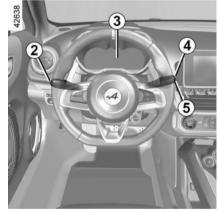
タイや空気圧の基準値をリセッ トする

次の場合には、リセットが必要です; - 使用条件に適応するために(空荷 時、積載時、高速走行)、タイヤ空気 圧の基準値を変更しなければいけない とき:

- 左 / 右ホイールの位置交換後(この方法は推奨されません)。
- タイヤ交換の後:

空気圧のリセットは、冷間時に4本のタイヤの空気圧を確認してから行って下さい。

タイヤの空気圧は車両の現在の使用に 対応していなければいけません(空車 時、積載時、高速走行など)。



初期化の手順

リセットの起動条件:

- イグニッションスイッチ ON、
- 車両を停車させます。
- タイヤ空気圧が1.6バールを超える 場合 (第4章の「タイヤ空気圧」の項 を参照してください)。

タイヤ空気圧モニターシステム

タイヤ空気圧のリセット条件が満たされない場合は、
「タイヤ空気圧SETを使用できません」のメッセージがイン

できません」のメッセーシがイン ストルメントパネルに表示されま す。

リセットするには:

- ボタン4または5を押してトリップパラメータを選択し、ボタン2を使用してディスプレイ3の「タイヤ空気圧: SET(長押し)」機能を表示します。 - ボタン2、4、または5を長押しして(3秒間ほど)、リセットを開始します。「タイヤ空気圧学習 開始」メッセージが5秒間ほど表示されます。タイヤ空気圧の基準値のリセット要求が考慮されています。

走行中には、数分後にリセットが行われます。

注: タイヤ空気圧値を運転席ドアの端、または車両によっては運転席ドアの下部に記載されている推奨値を下回る値にすることはできません。

ディスプレイ

インストルメントパネルに3の記号が表示されるのは、タイヤの空気圧不良(タイヤのパンク、穴あきなど)が発生した場合です。

«タイヤ空気圧を調整してください»

(!) 警告灯が点灯したままになり、

「タイヤ空気圧を 調整してください」メッセージが表示されます。少なくとも1本のタイヤの空気が抜けていることを示しています。

必要な場合には、冷却時に4本のタイヤ圧を点検し再調整して下さい。警告

灯(!) は走行数分後に消えます。

«パンク»

(!) 警告灯が点灯したままになり、「パンク」メッセージが表示され、 ビープ音が鳴ります。

このメッセージが表示されると警告灯

STOP が点灯します。

少なくとも1本のタイヤがパンクしているか空気圧が著しく不足していることを示します。タイヤがパンクしている場合は、タイヤを交換するか指定サービス工場に連絡してください。タイヤの空気圧が不足している場合には、空気を入れてください。

突然タイヤの空気圧が不足した場合には(タイヤのパンクなど)、システムによって検出することはできません。



警告灯 STOP が点灯した場合、周囲の交通に注意しながら直ちに安全な

場所に停車しなくてはなりません。

«タイヤ空気圧 センサの点検»

(上) 警告灯が数秒間点滅し、続いて 点灯したままになり、「タイヤ空気圧 センサの点検」のメッセージが表示さ れます。

このメッセージが表示されると警告灯

か点灯します。

このメッセージは、少なくとも1本のタイヤのセンサーがないことを示しています(例えばスペアタイヤが取付けられている場合など)。このような場合は、ルノー指定サービス工場で点検を受けてください。

タイヤ空気圧の調整

圧力は冷間時に調整する必要があります(運転席ドアの端のラベル、または 車両によっては運転席ドアの下部に記載されています)。

タイヤが冷えている状態で空気圧を点 検できない場合は、推奨空気圧より

タイヤ空気圧モニターシステム

0.2 ~ 0.3バール (3 PSI) 高めに調整 してください。

温間時にタイヤの空気は絶対に抜かないでください。

ホイール/タイヤの交換

タイヤ空気圧モニターシステムは、専用装備(ホイール、タイヤなど)を必要とします。5章「タイヤ」の項を参照してください。

タイヤの交換や、このシステムと互換性があり、正規販売網から入手できる純正アクセサリーについては、正規ディーラにご相談ください。非正規品のアクセサリーを使用すると、システムが正常に作動しない恐れがあります。

スペアタイヤ

タイヤ空気圧モニターシステム装備車 の場合、スペアタイヤにはセンサが付 いていません。

タイヤパンク修理剤と空気入れ キット

バルブの仕様が特殊なため、正規サービス工場が認可している道具以外は使用しないでください。5 章の「タイヤ空気注入キット」の項を参照してください。

- ABS (アンチロックブレーキシス テム)。
- ESC (エレクトロニックスタビリ ティープログラム、アンダーステアコ ントロールおよびトラクションコント ロール付き。
- エマージェンシーブレーキアシス **ト**:
- 坂道発進アシスト

その他の走行アシストシステムについ ては、以下のページに詳細が記載され ています。



これらの機能は車の挙動 を 運転者の意志に適合 させる ための、限界運 転時の補助 サポートで

す。

ただし、この機能は、ドライバー の代わりをするものではありませ ん。車両の限界を超えるもので も、より速い走行を促すものでも ありません。運転されるときは、 お客さまの責任において慎重に運 転しなければならないことを忘れ ないでください(常に細心の注意 を払って運転してください)。

ABS(アンチロックブレーキシ ステム)

急制動時、ABS はホイールのロックを 防止し、制動距離を制御して、車両の コントロールを可能のまま保持しま す。

これらの条件により、ブレーキをかけ ながらの障害物回避操作が可能となり ます。さらに、このシステムにより接 地性の悪い路面(濡れた路面など)で の制動距離が最適化されます。

ABS 作動中は、制動中のブレーキペダ ルに小刻みに振動を感じます。ABS は、タイヤの、路面や路面保持に関す る「物理的な」性能を向上させるもの ではありません。走行速度に応じた適 切な車間距離を保つなど、必ず 基本 的な注意や気配りを怠らないでくださ い。



緊急制動が必要なときに は、ブレーキペダルを強く 踏み続けてください。ブ レーキを断続的に操作するポンピ ングブレーキの必要はありませ ん。ABS がブレーキシステ ムに 掛けられた力を加減します。

- および (18) がインストル メントパネルに点灯し、「ABSを 点 検」、「ブレーキシステム を点 検」、「ESC 点検」のメッセージが表 示: ABS、ESC、および緊急ブレーキア シストが無効になりました。制動力は 保たれます。





STOP がインストルメントパネルに 点灯し、「ブレーキシステム 不具 合」メッセージがインストルメントパ ネルに表示: これはブレーキシステム の故障を示しています。

いずれにしても、指定の販売店にご相 談ください。



この場合でも、ブレーキ システムは部分的に作動 します。ただし、急ブ レーキは避け て、周囲

の交通状況に注意しなが ら、な るべく早く車両を停止して くだ さい。正規サービス工場にご連絡 ください。

作動不良:

アンダーステアコントロールと トラクションコントロールシス テム付き横滑り防止装置ESC

横滑り防止装置 ESC

このシステムによって、緊急時に(障害物の回避、カーブでのグリップの欠如など)車両コントロールを保持することができます。

作動原理

ステアリングホイールセンサーは、ドライバーの望んでいる運転経路を感知します。

その他のセンサーは車両の各部に配置され、実際の運転経路を測定します。システムはドライバーの操作と車両の実際の経路と比較し、必要に応じ出力に作用して経路を修正します。システムが作動すると、インストルメントパネ

ルの表示灯 が点滅します。

アンダステア制御

このシステムは、アンダーステア(フロントアクスルの路面保持性能の欠如)が生じた際に ESC の作動を最適化します。

トラクションコントロール

このシステムは発進まは減加速時のホイールスピン(空転)を抑え、車をコントロールする働きをサポートします。

作動原理

ホイールセンサーにより、システムは常に駆動輪の速度を測定比較し、オーバーレブを検知します。1輪が空転し始めると、空転しなくなるまでそのホイールにブレーキをかけます。

同時にエンジン回転数もアクセルペダルの踏み込み量とは関係なく制御され、ホイールスピンを抑えます。

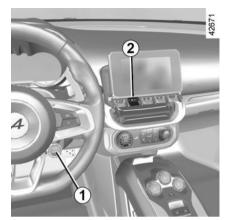
作動異常

システムによって動作障害が検出されると、「ESC 点検」メッセージと

および
の警告灯がイン
ストルメントパネルに表示されます。
この場合ESC とトラクションコント
ロールが作動解除されます。

正規サービス工場にご連絡ください。 ESCとトラクションコントロールが Trackモード

スイッチ1を長押ししてTrackモードを選択すると、ESC機能を変更し、ドライブアシストを遅延できるようになります(第2章の「走行モードの選択」の項をご覧ください)。



ESC機能とトラクションコントロール 機能の停止

濡れた地面、雪道、ぬかるみを走行する場合や、Sport、Trackモードで走行する場合などでは、スイッチ2を長押ししてこれらの機能を無効にすることができます。

警告灯と「ESC OFF」のメッセージがインストルメントパネルに表示されて警告します。

スイッチ2を短く押すことでいつでも これらの機能を再作動できます。



(i) スイッチ1を押して走行 モードを変更すると、ESC 機能とトラクションコント ロール機能が再作動します(第2 章の「走行モードの選択」の項を 参照してください)。

緊急時ブレーキアシスト

ABS を補助して、車両の制動距離を短 くするシステムです。

作動原理

このシステムは急ブレーキを検知する ことができます。急ブレーキをかける と、ブレーキアシストが瞬時に最大性 能を発揮し、ABS 制御を作動します。 ブレーキペダルから足を放さない限り ブレーキ ABS は維持されます。

ハザードの点灯

車両によっては、急激な減速を検知す るとハザードランプを点灯させます。

ブレーキアンティシペーション

車両によっては、アクセルペダルから 急に足を放すと、システムがブレーキ 操作を先取りし、制動距離を短くしま す。

注意:

クルーズコントロール使用時:

- アクセルペダルを使用する場合、ペ ダルから足を離すとシステムが起動す ることがあります。

- アクセラレータを使用しない場合、 システムは起動されません。

作動異常

システムが機能に異常を検出すると、 「ブレーキシステム を点検」がイン ストルメントパネルに表示され、



警告灯が点灯します。

正規サービス工場にご連絡ください。



これらの機能は車の挙動 を 運転者の意志に適合 させる ための、限界運 転時の補助 サポートで

す。

この機能は、ドライバーの代わり をするものではありません。車両 の限界を超えるものでも、より速 い走行を促すものでもありませ ん。運転されるときは、お客さま の責任において慎重に運転しなけ ればならないことを忘れないでく ださい(常に細心の注意を払って 運転してください)。

ヒルスタートアシスト

勾配の角度によっては、このシステム は坂道発准の際にアシストします。ド ライバーがアクセルを踏 むためにブ レーキペダルから足を上げ たとき に、ブレーキが自動的にかかっ て、 車両が後退するのを防ぎます。

エアサスペンションの作動

この機能はトランスミッションがD位 置にあり、車両が完全に停止している とき(ブレーキペダルを踏み込んだ状 態)のみ作動します。

このシステムは約 2 秒間車両を保持 します。その後ブレーキは徐々に解除 されます(勾配に応じて車両は走行し ます)



坂道発進アシストシステムは、急な勾配などでは 車の後退を完全に防ぐこ とができるわけではあり

ません。

ドライバーはどんな場合でもブレーキペダルを踏んで、車両の後退 を防ぐことができます。

長時間の停車には坂道発進アシスト機能を使用せず、代わりにブレーキペダルを使用してください。

この機能は常時車両を停止させる ために使用するものではありませ ん。

必要に応じてブレーキペダルを踏んで車両を停止させてください。 運転者は滑りやすい路面やグリップの弱い路面では特に慎重に運転 してください。

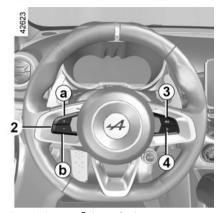
大ケガを負う危険があります。

スピードリミッター



スピードリミッターは選択した走行速度(設定速度と呼びます)を超えないようにする機能です。

制御



- *1.* メインの「オン / オフ」スイッチ。
- 2. スイッチ:
- *a.* 制限速度 を作動、保存、上昇します(+)。
- b. 設定速度を減少します(-)。
- 3. 保存された制限速度を作動、呼び出しします(RES)。
- **4.** 機能をスタンバイ状態にし、制限速度を記憶できます(0)。

作動

(で) 側のスイッチ1を押します。イン

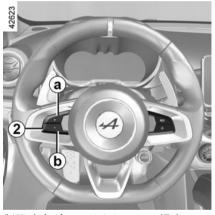
ストルメントパネルに (る) 表示灯が

橙色に点灯し、点線が表示され、スピードリミッターが作動していること、そして設定速度の入力を待っていることを知らせます。

現在の車速を保存する場合は、a側のスイッチ2を押します(+): 長線の代わりに設定速度が表示されます。

保存できる最低速度は30 km/hです。

発進する



制限速度がメモリされている場合に は、その速度に達していない限り、走 行はスピードリミッタの装備されてい ない車両と同様に行なわれます。

記憶速度に達すると、緊急時以外は、 アクセルペダルを踏んでもプログラミ ングされた速度を超えない状態になり

スピードリミッター

ます(詳しくは、「制限速度の超過」 にある情報をご覧ください)。

設定速度の変更

制限速度設定値を変更するには、ス イッチ2を繰り返し押します:

- 速度を上げるにはa側(+)。
- 速度を下げるにはb側(-)。



スピードリミッター機能 はブレーキシステムには いかなる影響も与えませ h.

設定速度を超えて加速させる

次の操作を行うといつでも設定速度を 超えることができます:これを行うに は、アクセルペダルを抵抗点を超えて 完全に底まで踏み込みます。

設定速度を超えている間は、メーター パネルの設定速度が赤く点滅します。

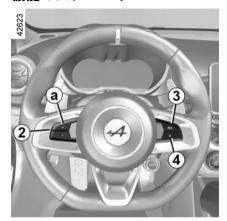
次に、アクセルペダルを放します。走 行速度がメモリーされている制限速度 以下の速度になると、スピードリミッ ターの機能と表示は元の状態に戻りま す。

設定速度を維持できない場合

急激にスピードを落とすと、システム が制限速度を維持できないことがあり ます: 保存された速度がインストルメ

ントパネルに赤く点滅し、ビープ音が **涌常の間隔で鳴ってドライバーに知ら** せます。

機能のスタンバイ



スイッチ4を押すと、スピードリミッ ター機能が一時停止します(0)。こ の場合、設定速度はメモリーされ、メ モリーされた速度がインストルメント パネルに表示されます。

設定速度の呼び出し

設定速度が保存されている場合、ス イッチ3を押すと設定速度を呼び出す ことができます(RES)。



スピードリミッターがスタ ンバイ状態のときに、ス イッチ2のa(+)側を押す と、保存されている速度を考慮せ ずに機能が再作動し、現在の車速 が登録されます。

クルーズコントロールの停止



スイッチ1を押すとスピードリミッ ター機能が中断します。この場合、速 度は保存されなくなります。インスト ルメン トパネルの表示灯(橙色)

が消灯 し、機能が停止したこと を示します。

クルーズコントロール

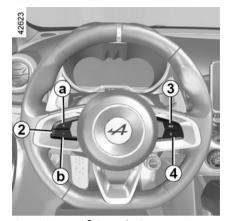


クルーズコントロールは、制御速度と呼ばれる選択した一定値に走行中の速度を保つのをアシストする機能です。 常用速度は任意に設定することができます(30 km/h以上)。



クルーズコントロールは ブレーキシステムには いかな る影響も与えま せん。

制御



- *1.* メインの「オン / オフ」スイッチ。
- 2. スイッチ:
- a. 常用速度を作動、保存、上昇します (+)。
- b. 常用速度を下げます (-)。
- 3. メモリーされた制御速度による作動 (RES) 。
- (巡航速度が記憶された状態で)機能がスタンバイ状態にできます(0)。



このシステムは運転時の 安全性を補助するもの で、いかなる場合でも、 ドライバーには、制限速

度を守り、速度内で走行する責任 があります。運転者は常に車両を 制御する必要があります。

したがって、どのような場合でも 速度制限に注意し、細心の注意を 払う(突然の事態にもブレーキを 踏めるように常に備える)必要が あり、操作中の責任はドライバー にあります。

交通 渋滞時、曲がりくねった道や滑り やすい路面(凍結、ハイドロプレ ーニング、砂利)、天候不良時 (霧、雨、横なぐりの雨など)に はクルーズコントロールを使用し ないでください。

事故の恐れがあります。

クルーズコントロール

作動



表示灯が点線付きで緑色に点灯 した場合は、クルーズコントロール機 能が作動し、設定速度の入力を待機しています。

設定速度の設定

約30 km/h以上の安定した速度で、*a* (+) 側のスイッチ2を押します:機能が作動し、現在の速度が保存されます。

ダッシュの代わりに設定速度が表示されます。制御速度が緑で表示され、警

告灯 (S) が点灯することでクルーズ コントロールを確認できます。

車速 30 km/h 以下で機能を有効にすると機能は作動しません。

発進する

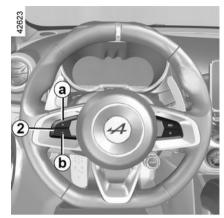


設定速度がメモリーされ、システムが 作動しているとき、足をアクセルペダ ルから放すことができます。



緊急事態に備え足をペダ ルの側に置く必要があり ます。

設定速度を変更する



スイッチ2を連続して押すと常用速度 を変更することができます:

- 速度を上げるにはa側(+)。
- 速度を下げるにはb側(-)。



クルーズコントロールは ブ レーキシステムには いかな る影響も与えま せん。

設定速度を超えて加速させる

アクセルペダルを踏めば、いつでも加速することができます。設定速度を超えている間、メーターパネルのクルー

クルーズコントロール

ズコントロールの表示灯が赤く点滅し ます。

またアクセルペダルを放すと数秒後に 自動的に最初の設定速度に戻ります。

設定速度を維持できない場合

急激にスピードを落とすと、システム が追いつけないことがあります:メー ターパネル上のメモリーされている設 定速度は赤く点滅して、このことをド ライバーに知らせます。

機能のスタンバイ



以下を行うと機能が一時停止します:

- スイッチ*4* (0)。
- ブレーキペダルを踏む
- ギアをN位置にシフトします。

3 つすべての場合に、設定速度がメモ リーされ、インストルメントパネルに 速度が表示されます。

スタンバイは、設定速度がグレーで表 示されることで確認されます。

設定速度の呼び出し

設定速度がメモリーされている場合 は、交通条件(交通量、車道の状態、 気象条件など)が適切であることを確 認してから設定速度を呼び出すことが できます。車速が30 km/hになったら スイッチ3(RES)を押します。

メモリーされた速度の呼び出し中には 設定速度が緑で点灯し、クルーズコン トロールの作動を確認することができ ます。

注意:メモリーされている設定速度が 現在の走行速度よりもはるかに高い場 合は、車両はその設定速度に達するま で急な加速を続けます。

常用速度が一時停止してい るときに、スイッチ2のa側

(+)を押すと、保存され た速度を考慮せずに常用速度機能 が再起動します: 車両の現在の速 度が考慮されます。

クルーズコントロールの停止



スイッチ1を押すと、常用速度機能が 非作動になります: この場合、速度は

保存されなくなります。緑の (の) 表 示灯が消灯し、機能が停止したことを 示します。



クルーズコントロール機 能をスタンバイ状態また は OFF にしても急減速 はしないため、原則する

にはブレーキペダルを踏んでくだ さい。

パーキングアシスト

パーキングアシスト

作動原理

リアバンパー(車両によってはフロントバンパーにも)に内蔵された超音波センサが、車両と障害物との間の距離を測定します。

この音声アラームの周波数は障害物との距離が近づくにつれて高くなり、車両と障害物の距離が 30 cm まで接近すると連続音に変わります。

システムは、車両の後方(車両によっては前方も)の障害物を検知します。

パーキングアシストシステムは、車速 約 10 km/h 未満での走行中以外は作動しません。



操作時にサブフレームに 衝撃があった場合(縁 石、歩道またはその他の 市街地設備との接触な

ど) 車両を損傷した恐れがあります(リアアクスルの変形など)。 放置すると事故が起こるおそれがあるので、正規サービス工場で点検を受けてください。

超音波センサの位置



矢印1で示す超音波センサに障害物がないこと(汚れ、泥、雪、取付け不良のナンバープレートなど)、傷がないこと、変形がないこと(塗装を含め)、後部または車両に応じて車両の前部に取り付けられたアクセサリで妨げられていないことを確認します。



このシステムは運転時の 安全性を補助するもの で

したがってドライバーは 後退時、責任をもって慎重に後退 させなけれ ばならないことを忘 れないでください。

ドライバーは常に集中して細心の 注意を払って運転してください: 車両の付近に子供、動物、ベビー カー、自転車、石、柱などがいな いことを確認します。



注: ディスプレイAは、車両の周囲を示し、警告音を鳴らします。

作動





車両の後方付近(車両によっては前方 も)にあるほとんどの物体を検知しま す。

障害物までの距離に応じて、接近するにつれてビープ音の頻度が高くなり、前方または後方の障害物まで約 30 cmの距離になると、連続したビープ音になります。インストルメントパネルのディスプレイBは緑、オレンジ、赤のゾーンを示します。

注:操作中に進行方向が変わる場合、 障害物との衝突リスクを示すシグナル が遅れて鳴ることがあります。

作動異常

車両によっては、システムが機能に異常を検出すると、「パーキングアシストを点検」のメッセージがインストル

メントパネルに表示され、 警告灯が点灯します。正規サービス工場にご連絡ください。

システムの解除

パーキングアシストは、設定メニューから無効にすることができます(第1章の「車両設定のカスタマイズメニュー」を参照)。

リアビューカメラ

作動

i



装備によっては、リバースギアへのシフトチェンジ時に、車両に応じて移動ガイド線と固定ガイド線とともにカメラ1が車両後方の映像をインストルメントパネルまたはマルチメディア画面に映し出します。

注:車両調整のカスタマイズメニューでいくつかの設定を変更することができます(第1章の「車両調節のカスタマイズメニュー」の項をお読みください)。

特徴

カメラのレンズが汚れや泥、雪、結露などでふさがれていないか確認してください。



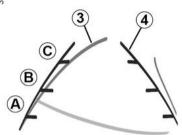
この機能は補助的機能です。したがって運転されるときは、お客さまの責任において慎重に運転し

なければならないことを忘れない でください。

ドライバーは常に集中して細心の 注意を払って運転してください: 車両の付近に子供、動物、ベビー カー、自転車、石、柱などがいな いことを確認します。

パーキングアシスト





可動ガイド線 3

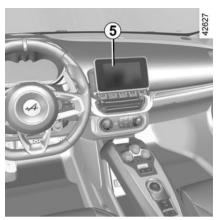
(車種によります)

これはマルチメディア画面5にオレン ジ色で表示されます。ハンドルの切れ 角に応じて、車両の軌道を示します。

固定ガイド線 4

固定ガイド線には、次のような、車両の後方における距離を示す色付きのマーカー A、B、C が含まれています。

- 車両からの距離が約 30 cm である ことを示す *A* (赤色)。
- B(白色)車両から約 60 cm。
- C(青色)車両から約120cm。



このガバリは固定したままで、車輪が 車両と平行していれば車両の軌道を示 します。

このシステムはひとつ、または複数の ゲージ(軌道は可動式、距離は固定 ゲージ)をもとにしています。赤の部 分に達したら、バンパーのイメージを 参照して、正確に停車してください。 (i)

_、スクリーン上には、反転し た映像が映ります。

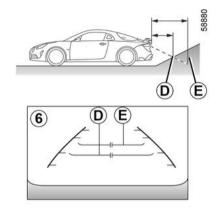
ガイドは平坦な地面の上に 投影された映像であり、地上にあ る物体を無視し、ガイドがその上 に重なった状態で映し出されま す。

スクリーン上に、物体がゆがめられた状態で映ることがあります。 光度が強すぎる場合(雪、車両に直射日光が当たっているなど)、 カメラの視覚が妨害されることがあります。

トランクルームが開いているか、または正しく閉まっていない場合、「トランクルームが開いています」というメッセージが表示され、車両によってはカメラの表示が消えます。

パーキングアシスト

推定される距離と実際の距離の相 違

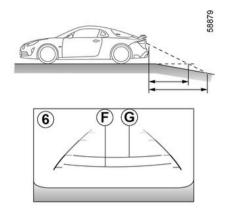


きつい上り勾配での後退

固定ガイド線 *6* の示す距離が実際よりも近くなります。

画面に表示される対象物は、斜面では 実際にはより遠くにあります。

具体例を挙げると、画面の D 位置に対象物が表示されている場合、対象物が実際にある場所は E であり、そこまでの距離が実際の距離となります。

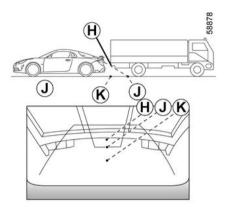


きつい下り勾配での後退

固定ガイドライン 6 の示す距離が実際よりも遠くなります。

したがって、画面に表示される対象物は、斜面では実際にはより近くにあります。

具体例を挙げると、画面の G 位置に対象物が表示されている場合、対象物が実際にある場所は F であり、そこまでの距離が実際の距離となります。



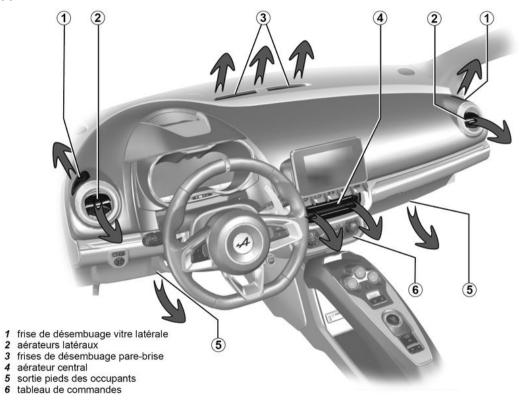
突き出た対象物に向かう後退

画面上では、位置 H が位置 J より遠くに見えますが、実際には、位置 H と位置 K と同じ距離にあります。

固定ガイドラインおよび移動ガイドラインによって示される行跡では、対象物の高さは考慮されていません。そのため、位置 K に向かって後進すると、車両が対象物に衝突するリスクがあります。

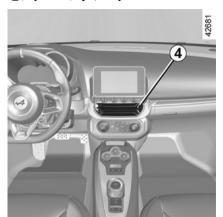
ベンチレーター: エアアウトレット

吹き出し口



42679

センターベンチレーター



センターエアベンチレータ*4*は調整できません。

サイドベンチレーター



風量の調節

エアベンチレータ2を開くには、必要なだけエアベンチレータ(7の部分)を押します。

風向きの調節

送風を調整するには、サイドベンチレータ*2*を回転させます。

車内の悪臭には専用のシステムのみを ご利用ください。正規サービス工場に ご連絡ください。

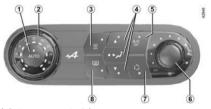


悪臭が入ってくる場合など に車両のブロアに物 を挿入 しないでください。

故障や火災の恐れがありま す。

オートエアコン

スイッチ類



(車種によります)

- 1. オートモードスイッチ
- 2. 温度調節。
- 3. 「シークリアー」機能。
- 4. 吹き出し口切り替え。
- 5. エアコン作動スイッチ
- 6. 風量調節
- 7. 内気循環。
- 8. バックミラーと、車両によっては リアウインドウのデフロスター

- オートモードスイッチ

オートマチックエアコンディショナーは、車内の快適性と良好な視界を確保するシステムで、燃費にも最大限配慮しています(最低温度または最高温度使用時を除きます)。システムはファンの回転速度、吹出し切替え、内気循環、エアコンの作動または停止およびエア温度を制御します。

AUTO:外部条件に応じて選択された快適さレベルへの最適化。ボタン 1 を押します。

風量の変更

オートモードでは、システムは快適な 温度を維持するため最適な風量を制御 します。

ただし、スイッチ6を回して送風速度 を調整し、送風速度を上昇 / 下降す ることもできます。

温度調節

スイッチ2を希望する温度に合わせて回します。

ボタンを右にずらすと温度が上昇します。

「クリアビュー」機能

ボタン3を押すと、ボタン3と8の表示 灯が点灯します。

この機能により、フロントウインドウ、フロントサイドウインドウ、ドアミラー、リアウインドウ(車両にボって)の急速なデフロスターおよびデミスター機能が作動します。これにより、エアコンが自動的に作動します。この機能を終了させるには、ボタン 3 または 1 を押します。



いくつかのボタンには、作動状態表示灯が内蔵されています。

吹出し口の切替え



ボタン4のいずれかを押します。選択 されたスイッチに内蔵された表示灯が 点灯します)。

一度に2つのポジションを組み合わせることができます。2つのボタン4を押します。

主にすべてのベンチレーターに 分散され、 前席左右のサイドウイン ドウ デフロスター、フロントデフロ スターから送風されます。

えん 主にダッシュボードのベンチレーターに送風されます。

▼ 全に足元吹き出し口からエアが出ます。

デフロスター機能



ボタン 8 を押すと、内蔵警告灯が点 灯します。この機能により、バックミ ラーと、車両によってはリアウインド ウの急速なデフロスター機能が作動し ます。

この機能を終了するには、もう一度ボタン 8 を押します。デフォルトでは、デフロスターは自動的に停止します。

エアコンディショナーの始動また は 停止

オートモードでは、システムは外気の 気候条件に応じてエアコンの作動また は停止を制御します。

エアコンを停止するには、ボタン5を押します。内蔵表示灯が点灯します。

内気循環の作動(車内を外気か ら 遮断)



この機能は自動制御されますが、手動でも起動できます。この場合、ボタン7の表示灯の点灯により操作が確認されます。

システムは、外気の質に応じて内気循環を使用するかどうかを決定します。



デフロスター/デミスター は常に 内気循環に優先し て作動します。

手動でのご使用

ボタン 7 を押すと、内蔵警告灯が点 灯します。

長い時間、内気循環モードのまま作動 すると、車内の空気が汚れたりウイン ドーが曇ることがあります。 このため外気遮断が不要になったら、ボタン 7 を押して自動モードに戻すことをおすすめします。

この機能を終了するには、もう一度ボタン7を押します。

強制内気循環機能の停止

スイッチ6を「OFF」に回すと、システムが停止します。システムを作動させるには、もう一度スイッチ6を回し、 風量を調節するには、スイッチ1を押します。

エアコン: 情報と使用に際して のアドバイス

エアコンの上手な使い方

場合によっては(エアコンの停止、内 気循環モードの作動、風量調節スイッ チが 0 または弱になっているな ど)、ウインドーガラスが水蒸気で曇 ることがあります。

そのような場合には、「クリア ビュー」機能を使用して水蒸気を除去 してから、エアコンをオートモードで ご使用になると水蒸気が発生しませ ん。



悪臭が入ってくる場合など に車両のブロアに物を挿入 しないでください。

故障や火災の恐れがありま す。

点検整備

点検時期については整備手帳を参照してください。



寒冷時にも少なくとも月に 一度、約5分間、エアコンを定期的に使用してくだ

さい。

燃費

エアコンを使用すると燃費が悪くなります(特に市街地)。

マニュアルエアコンディショナー装備車の場合、必要ないときにはエアコンディショナーを停止するようにしてください。

燃料の消費を最小限に抑え、環境 を 守るためのアドバイス:

換気口は開け、ウインドーは閉めて走 行してください。

炎天下に駐車していたときは、走 り 出す前にドアやウインドウを開 けて

熱気を重内から逃すようにし、てくだ さい。

作動異常

作動不良の場合は、指定サービス工場 で点検をお受けください。

- デフロスター、デフォッガー、また はエアコンの効きの低下。

室内フィルタのカートリッジの 詰ま りが原因かもしれません。

- 冷気が出てこない。

各スイッチ が適切な位置にあるか、 ヒュー ズが切れていないか点検して く ださい。これらに問題がない場 合 には作動を停止します。

車両の下に水が溜まる場合

エアコンディショナーを長時間使用す ると車両の下に水が溜ま ることがあ りますが、これは室内の湿気が凝縮 し、排出されたものです。これは結露 が原因です。

冷媒



冷媒流体回路(一部の成分は密閉され ています)には、フッ素化された温室 効果ガスが含まれている可能性があり ます。

車種によっては、エンジンルーム内に 貼付されたラベルAに次の情報が記載 されています。

ラベルAの情報の有無と設置場所は、 車種によって異なります。

深 冷媒の種類

エアコンディショナ回路のオイ ルの種類

車両の取扱説明書を参照してく ださい

△ 点検整備

- (1) 0.535 kg 車両内の冷媒量
- (2) GWP 4 地球温暖化への寄与度。
- (3) C02換算0.002t C02 換算重量。

追加情報

ラベルや冷媒の種類に応じて次のよう になります。

冷媒R-1234vf

- (1) 0.535 kg
- (2) GWP 4
- (3) 0.002t



絶対に自分でエアコン ディショナーシステムの 配管類を外さないでくだ さい。目や皮膚に思わぬ

怪我を負うことあがあり非常に危 険です。

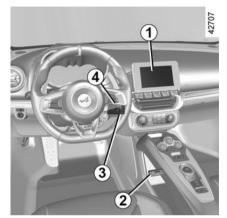


エンジンルーム内の作業を始める前に、電源を必ず切ってください。(2章の「エンジンの始動と

停止」の項を参照してください)。

マルチメディア装備

マルチメディア差し込み口2



USBポートを使用して、アクセサリー のマルチメディアコンテンツにアクセ スし、システムをアップデートするこ とができます。

さまざまなソースは、マルチメディア 画面またはラジオとステアリングコラ ムコントロールを使用して選択できま す。



USB ポートは、技術部門によって承認されたアクセサリの充電にも使用でき、ソケットあたりの最大電力定格は12 ワット (5 ボルト) です。

Jack 差し込み口は、補助ケーブルで ラジオを使用できます。



電力が 12 W を超えるアクセサリーは接続しないでください。 火災の恐れがあります。

室内装備

パワーウインドウ パワーウインドウ



スイッチ1または2をいっぱいまで押 したり、引いたりすることで、ウイン ドウを完全に開けたり、閉めたりでき ます。作動中にパワーウインドウス イッチに触れると作動が停止します。 運転席からスイッチを操作します。

- 1. 運転席側
- 2. 助手席側。



ドライバーの青務

たとえ短い時間でも絶対 に、お子様、支援が必要 な大人、またはペットを

車内に残して、カードを車内に置 いたまま、お車から離れないでく ださい。

お子様(やペット)がエンジンを 始動したり、パワーウインドウや ドアロックなどの装置を作動させ ると大変危険です。

体の一部をはさみ込まれた場合 は、該当スイッチを押してすぐに ウインドウを下ろしてください。 大ケガを負う危険があります。

ワンタッチパワーウインドウを作動で きない

ワンタッチパワーウインドウには、熱 保護が装備されています。ウインドウ のスイッチを1回連続して押すと、保 護モードに入ります(ウインドウが ロックします)。

次のようなことができます:

- パワーウインドウスイッチを短く、 約 30 秒間隔で使用します。
- エンジンが作動している状態で、パ ワーウインドウスイッチの約 20 分後 にウインドウがロック解除されます。

作動異常

ウインドウが閉まらない場合、システ ムは通常モードに戻ります: 該当のス イッチを必要な回数押してウインドウ を完全に閉め(ウインドウは徐々に締 まる)、スイッチを1秒間押し続けて (まだ閉側にある) から、ウインドウ を完全に下げて再び上げ、システムを 初期化します。

必要に応じて、指定サービス工場にお 問い合わせください。

あります。

少し開いたウインドウに物 を挟まないように注意して ください: ウ インドウレ ギュレーターが損傷す る恐れが

室内装備

ルームランプ

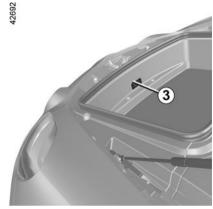
カーテシーランプ



ドアが1つでも開いていると、ランプ*1* または2が点灯します。ランプは、開 いたドアを正しく閉めた後、しばらく してから消灯します。

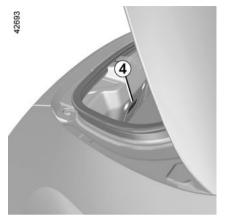
ドアを閉め、運転席のランプ1または 助手席のランプ2を点灯させるスイッ チを押すと、常時点灯させたり、すぐ に消灯したりできます。

ボンネットグローブボックスライ ****3



ボンネットを開けるとランプ3が点灯 します。

ラゲッジルームランプ 4



ランプ4はトランクを開けると点灯し ます。

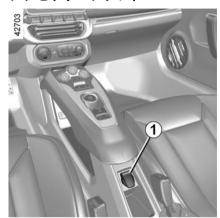


ドア、リアラゲッジルー ム、またはボンネットの ロックを解除して開ける と、ルームランプとドアランプが 一時的に点灯します。

室内装備

アクセサリーソケット、灰皿、 ライター

アクセサリーソケット 1



ソケット1を使用できます。ルノーテクニカルサービス認可アクセサリー接続用です。



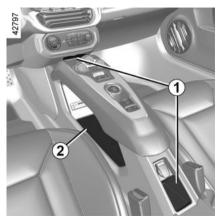
電力が 120 W (12 V) を 超えるア クセサリーは 接続しないで くださ い。

複数のアクセサリーソケットを同時に使用する場合、接続されたアクセサリーの合計電力が 180 W を超えないようにする必要があります。

火災の恐れがあります。

各部の収納スペース

グローブボックス1



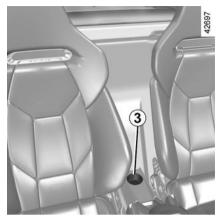
携帯電話入れ2



堅くて重いものや先のとがったものは絶対に蓋のない収納部に入れないでください。このようなも

のが入っていると、急角度で曲がったり、急ブレーキをかけたりした時や、事故の時に、飛び出して乗員がケガをするおそれがあります。

カップホルダー3



ここには、取外し式灰皿、小瓶などを 収納できます。

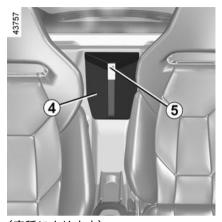


ペットボトルやコップは カップホルダーに入れ、 カーブを切ったり、加速 したり、ブレーキをかけ 中身がこぼれないように

たときに中身がこぼれないように気をつけてください。

熱いものがこぼれると、火傷をするおそれがあります。

グローブボックス4



(車種によります)

開くには、カバー5を持ち上げて、グローブボックス4にアクセスします。 そこには水のボトルなどを収容することができます。



グローブボックス**4**の最大 許容積載荷重: 2 kg、均一 に分散。

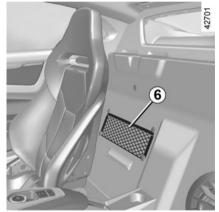
各部の収納スペース



走行中は、グローブボックスのカバー*4*を閉じてください。

場合によってはケガを負うこともありますのでご注意ください。

収納ネット6



(車種によります)

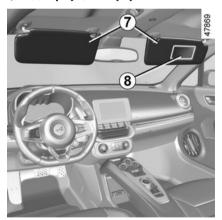


床の上(運転席の前)には物を置かないようにしてください。急ブレーキが必要なときに、ペダ

ルの下に物が滑り込んで急ブレー キを踏む妨げになる危険があります。

ペダルの動作を妨げる危険があり ます。

フロントサンバイザー



サンバイザー7を下げます。

カーテシミラー8

(車種によります)

助手席サンブラインドには、ルームミラーが装備されています。



ラゲッジルームや収納スペース以外の場所に重いものや固いものを置かないでください。

急ブレーキや事故の際 に、車両 の乗員がけがをする恐れがあり大 変危険です。

場合によってはケガを負うことも ありますのでご注意ください。

荷物を積み込む

トランクルーム

ボンネット下の収納ボックスA



収納ボックスAにアクセスするには、 ボンネットを開けます。

ボンネットを開閉するには、4 章の 「ボンネット」を参照してください



収納ボックスの許容積載荷 重: 40 kg、均一に分散。

収納ボックスA非装備車両



収納ボックスA非装備車 両

機械部品が存在するため、

- ボンネットの下に物をしまうことは禁止されています。
- エンジンルームの作業を行う場合は、エンジンルーム内に物を置き忘れないように注意してください。布や工具などを置き忘れると、機械部品が損傷したり、火災が発生することがあります。

損傷や火災の危険があります。

- エンジンルームで作業を行う場合、機械部品が熱くなっていることがあります。さらに、クーリングファンが突然作動することがあります。

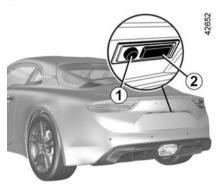
場合によってはケガを負うこともありますのでご注意ください。



ボンネットにもたれない ようにしてください。ボ ンネットが意図せずに閉 まってしまう恐れがあり

ます。

トランク



開け方

ボタン2を押して、テールゲートを開きます。テールゲートを最大の高さまで上げてラゲッジルームを使用します。

注: 車両がロックされている場合は、ボタン1または2を押してロックを解除し、テールゲートを開きます。

荷物を積み込む

閉めるには

トランクリッドを下げます。テール ゲートを押し下げてしっかりと閉めま す。



エンジンルームと近いため、エンジン停止後はラゲッジルームの温度が50°Cに達する場合があ

ります。

- エンジンルームに近い熱い部分 には触れないように注意してくだ さい。**やけどをするおそれがあり** ます。
- エアゾールなどの高温に敏感な可燃物をラゲッジコンパートメントに置かないでください。火災や爆発の危険があります。
- 高温に弱い物を置くときは注意 してください。損傷のおそれがあ ります。



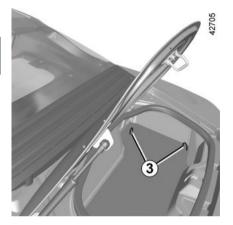
テールゲート上へのルー フキャリア(バイクラッ ク、ラゲッジボックスな ど)は禁じられていま

す。お車にルーフキャリアを取り付けたいときは、指定サービス工場にご相談ください。

トランクルーム内の収納

荷物を積み込む

ラゲッジルームへの荷物の積み込 み





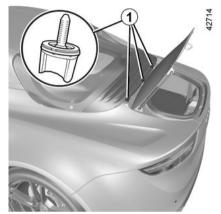
ラゲッジルームの許容積載 荷重: 40 kg、均等に分 散。



必ず重い荷物が一番下に な るように積み込んで くださ い。ラゲッジ ルームフロアにフック3 が装着されている車両では、これ を使用します。

エンジンへのアクセス、レベル

リアエンジンルーム エンジンルームへのアクセス



- ラゲッジルームを開けます(3 章の 「ラゲッジルームに荷物を積み込むと き」の項を参照してください)。
- リアウインドウ2の固定ボルト1を緩 めます。
- リアウインドウ2を上げ、ステー3を 外して、安全のためにハウジング5に 置きます(動作A)。
- ボルト6をエンジンカバー4から取り 外します。
- エンジンカバー4をきれいな乾燥し た面の上にそっと置きます。





エンジンの近くで作業を 行なう場合、エンジンが 熱くなっていることがあ ります。さらに、クーリ ングファンが突然作動することが あります。これは、エンジンルー

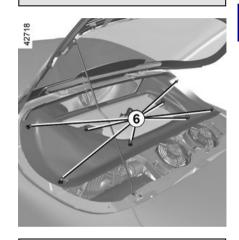
ム内の 警告灯により、通 知されます。

場合によってはケガを負うことも ありますのでご注意ください。



エンジンルームは高温に なるため、エンジンカ バー4の上に物を置くこ とは禁止されています。

エンジンの損傷や火災の危険があ ります。





エンジンルーム内の作業 を始める前に、電源を必 ず切ってください。(2 章の「エンジンの始動と

停止」の項を参照してくださ (N)

エンジンへのアクセス、レベル



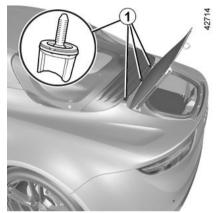
エンジンルームへアクセ スするには、Stop and Start機能を解除してく ださい。

エンジンへのアクセスハッチの閉 鎖/ロック



- エンジンルーム内に物を置き忘れていないか確認してください。
- 部品8をハウジング9に挿入して、エンジンカバー4を配置します(動作B)。
- エンジンカバーのボルト6を締めます。
- ステー3を取り外してハウジングに 収納します。

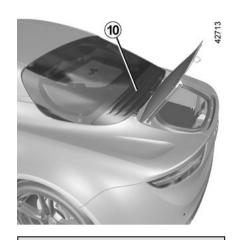
- 閉じるときは、リアウインドウを端部7で保持してガイドします。



リアウインドウを完全に閉めやすくするため、ラゲッジルームを開けたままにしておくことをお勧めします。

最大の注意として、リアウインドウから手を離さないで下さい。完全に閉まるまでリアウインドウを支えてください。リアウインドウが損傷するおそれがあります。

- リアウインドウのボルト*1*を閉めます。
- リアウインドウが確実に固定された ことを確認します。





エンジンルームの点検後は、中に布や工具等を置き忘れないようご注意ください。

さもないと、エンジンを傷めたり、火災が発生する恐れがあります。



ベンチレーター10の近くで作業を行う場合、熱くなる場合があることにご注意ください。

やけどをするおそれがあり ま す。

ボンネット



開けるには、ダッシュボード左手にあるハンドル *1* を引きます。

ボンネット安全ロックの解除

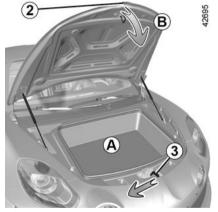
タブ3を左に押すと、ボンネットが開きます。



ボンネットが確実にロッ クされていることを確認 します。

小石や布などが挟まって ロックの妨げになっていないか確 認してください。

ボンネットの開き方



ボンネットを持ち上げて、上げます。 ボンネットはストラットによって定位 置に保持されます。

ボンネットの閉じ方

ボンネットを閉じるには、ボンネットの中央部を手で持って、閉じる位置までボンネットを下ろします(動作 B)。ロックするまで、ボンネットの2の部分を押します。



ボンネットにもたれない ようにしてください。ボ ンネットが意図せずに閉 まってしまう恐れがあり

ます。



収納ボックスA非装備車

機械部品が存在するため、

- ボンネットの下に物をしまうことは禁止されています。
- エンジンルームの作業を行う場合は、エンジンルーム内に物を置き忘れないように注意してください。布や工具などを置き忘れると、機械部品が損傷したり、火災が発生することがあります。

損傷や火災の危険があります。

- エンジンルームで作業を行う場合、機械部品が熱くなっていることがあります。さらに、クーリングファンが突然作動することがあります。

場合によってはケガを負うこともありますのでご注意ください。



ボンネットの下側での作業を行う前に、必ず、イグニッションをオフにしてください(2章の「エス)が動と停止した会際」で

ンジンの始動と停止」を参照して ください)。

エンジンオイル

エンジンオイルレベル:

「概要」の項を参照してください

通常エンジンは、エンジン内部の可動部品を潤滑したり冷却する目的のため、少しずつオイルを消費します。したがって定期的なオイル交換時期の中間であってもこまめにオイルを点検し、必要に応じて補充する必要があります。

ただし、慣らし運転後にオイル消費量が1,000 km走行あたり0.5リットルを越える場合は、指定サービス工場にご相談ください。

オイルの点検:定期的にオイルレベル を点検してください。また、エンジン の劣化を防ぐために長距離ドライブの 前には必ずオイルレベルを点検してく ださい。



エンジンルーム内の作業 を始める前に、電源を必 ず切ってください。(2 章の「エンジンの始動と

停止」の項を参照してください)。

オイルレベルの読み取り

読取りは水平な場所で、エンジンを停めてから十分な時間が経ってから行う 必要があります。

必ずゲージを使用してオイルレベルを 正確に測定し、上限を超えていないこ とを確認してください(上限を超える とエンジンが破損する恐れがありま す)。以下のページを参照してくだ さい。



エンジンオイルの追加 エンジンルームの高温部 分や敏感な部品(電装部 品など)にエンジンオイ

ルが逃げないように、漏斗を使用 するか、充填ネック部分を保護し てください。

火災の恐れがあります。

インストルメントパネルのオイ ルレベル警告表示

車両によっては、メーターパネルの警告は、オイルレベルが下限になったときだけしか表示されません。

メッセージ「オイルを 補給してください」がインストルメントパネルに表示される場合、インストルメントパネルかオイルレベルゲージでオイルレベルを点検します。以下のページを参照してください。



ディスプレーでは、オイル レベルの最低時にしか警告 を行いません。 オイルレベ ルゲージで

しかオイル量オ ーバーは検知で きないため、レベ ルオーバーの 表示はありません。

インストルメントパネルでの最低オイルレベル点検

車両を平坦な場所に停止し、イグニッションスイッチを約5分間OFFにして、ブレーキをかけずにエンジンスタート / ストップボタンを押します。 メッセージ「コントロ機能 点検中」が表示されます。

数秒間待ちます。

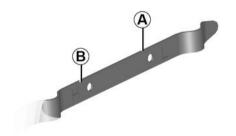
- **オイルレベルが正常な場合:**インストルメントパネルにメッセージ「OK」が表示されます。
- **オイルレベルが最低の場合:**インストルメントパネルにメッセージ「オイルを 補給してください」が表示されます。

なるべく早くエンジンオイルを補充し てください。

オイルレベルゲージで読み取る場合

- エンジンルームの後方からゲージを取り出して、毛羽立っていない清潔な布で拭きます。
- 突き当たるまでゲージを差し込みます。
- ゲージを再度取り外します。
- オイルレベルを読み取ります: オイルレベルは「MINI」レベルAを下回っていてはなりません。また、「MAXI」レベルBを超えていてはなりません。レベル確認ができたら、ゲージを突き当たるまで差込んでください。

42833





オイルレベル上限オー バー

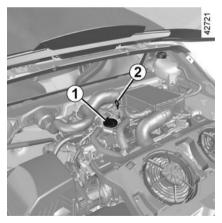
いかなる場合にも最大充填レベルBを超えないよ

うにします。エンジンと排ガスシステムを破損する恐れがあります。

オイルレベルが「MAXI」レベルを 超えているときは、エンジンをか けず、正規サービス工場にご連絡 ください。

補充、注入、オイル交換

オイル補充/注入



水平な場所に停車し、エンジンが止っていてエンジンが冷えた状態(例えばその日最初にエンジンを始動する前)で実施します。



エンジンルーム内の作業 を始める前に、電源を必 ず切ってください。(2 章の「エンジンの始動と

停止」の項を参照してください)。

- キャップ1を緩めます。
- オイルを規定量になるまで注入します (エンジンによって差がありますが、オイルレベルゲージ2の「MINI」 および「MAXI」マークの間のオイル容量は約1リットルです)。
- オイルを行き渡らせるために10分程 待ちます。
- オイルレベルゲージ2でオイル残量を確認します(前述のように)。

作業が終わったら必ずゲージを奥まで 差し込んでキャップを完全に締め付け てください。



「MAXI」レベルを超えない ようにしてください。ま た、キャップ1とレベル ゲージ2を忘れずに元に位置に戻 してください。



エンジンオイルの追加 エンジンルームの高温部 分や敏感な部品(電装部 品など) にエンジンオイ

ルが逃げないように、漏斗を使用 するか、充填ネック部分を保護し てください。

火災の恐れがあります。

エンジンオイルの交換

エンジンオイルの交換時期:整備手帳 を参照してください。

オイル交換容量

整備手帳を参照するか、ルノー指定 サービス工場にお問合せください。 先に説明したように、ゲージを使用し てエンジンオイルレベルを常に確認し てください(オイルレベルはゲージの 「MINI」マーク以上、「MAXI」マーク 以下である必要があります)。



オイルレベル上限オー バー

いかなる場合にも最大充

填レベルを超えないよう にします。エンジンと排ガスシス テムを破損する恐れがあります。 オイルレベルが MAXI マークを超 え ているときはエンジンをかけ ず、 指定サービス工場にご連絡 ください。

エンジンオイルグレード

整備手帳を参照してください。



オイル補充および/また はオイルレベルの点検: オイル補充またはオイル レベルの点検時には、オ

イルがエンジン部品に漏れ落ちな いようにしてください。

高温のエンジン部品へのオイルの 飛散を防ぐために、必ずキャップ
 をしっかりと締め、ゲージを忘れ ずに戻してください。

火災の恐れがあります。

i オイル消費量が異常に低下 したり、頻繁に低下する場 合は、指定サービス工場に ご相談ください。



エンジンの近くで作業を 行なう場合、エンジンが 熱くなっていることがあ ります。さらに、クーリ

ングファンが突然作動することが あります。これは、エンジンルー

ム内の 警告灯により、通 知されます。

場合によってはケガを負うことも ありますのでご注意ください。



閉めきった場所でエンジ ンを作動させないでくだ さい。身体に有害な排気 ガスがこもって非常に危

険です。

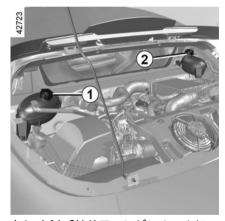


エンジンオイル交換:エ ンジンが暖まった状態で エンジンオイルを交換す る場合は、排出されるエ

ンジンオイルでやけどをしないよ うに注意してください。

エンジン冷却水

エンジン冷却水



トレイ1と2はリアエンジンルームに あります。トレイにアクセスするに は、第4章の「リアエンジンルーム」 を参照してください。

エンジンを停止して、車両が平坦な場 所に置かれた状態で、冷間時のレベル が、トレイ1および2に表示されてい るマーク「MINI」と「MAXI」の間に なっている必要があります。

「MINI」マークまで減る前に補充して ください。補充は必ずエンジンが冷え ているときに行ってください。

冷却水レベルの点検時期

定期的に冷却水レベルを点検してくだ さい(冷却水が不足するとエンジンが 重大な損傷を受ける可能性がありま す)。

補充には必ずメーカー推奨クーラント をご使用ください。メーカー推奨クー ラントは以下の成分を含んでいます:

- 冷却回路の凍結防止
- 冷却水系統の錆止め



エンジンの近くで作業を 行なう場合、エンジンが 熱くなっていることがあ ります。さらに、クーリ ングファンが突然作動することが あります。これは、エンジンルー

ム内の 警告灯により、通 知されます。

場合によってはケガを負うことも ありますのでご注意ください。

交換時期

整備手帳を参照してください。



(i) オイル消費量が異常に低下 したり、頻繁に低下する場 合は、指定サービス工場に ご相談ください。



エンジンルーム内の作業 を始める前に、電源を必 ず切ってください。(2) 章の「エンジンの始動と

停止」の項を参照してくださ W) .

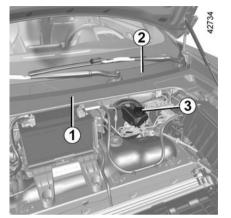


エンジンが熱いうちは、 冷 却水回路には絶対に 手をふ れないでくださ い。

やけどをするおそれがあり ま す。

レベル、フィルター

ブレーキ液



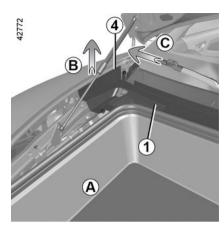
エンジンを停止し、平坦な場所でオイルレベルを点検してください。

ブレーキ液はできるだけこまめに点検 してください。またブレーキの効き具 合に少しでも異常を感じたら必ず点検 してください。



ボンネットの下側での作業を行う前に、必ず、イグニッションをオフにしてください(2章の「エかか」を発展して

ンジンの始動と停止」を参照してください)。



アクセス

車両によっては、ブレーキ液3にアクセスするために、スカットルパネルグリルランチャネルを取り外さなければならないことがあります。

方法:

- スカットルパネルグリルランチャネル1のウィング4の後端を持って、上方向に引き抜き、ランチャネルをスカットルパネルグリル2から外します。
- ランチャネルの左側を持ち、上方向 (自分の方)に引き抜いて(動作*B*) 完全に外します。
- ランチャネルの右側を外すには、左 に動いて(動作C)、ストラットに対 してランチャネルを動かしやすくしま す。

- ランチャネル1をきれいな乾燥した面の上にそっと置きます。



収納ボックスA非装備車 両

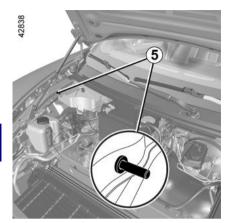
機械部品が存在するため、

- ボンネットの下に物をしまうことは禁止されています。
- エンジンルームの作業を行う場合は、エンジンルーム内に物を置き忘れないように注意してください。布や工具などを置き忘れると、機械部品が損傷したり、火災が発生することがあります。

損傷や火災の危険があります。

- エンジンルームで作業を行う場合、機械部品が熱くなっていることがあります。さらに、クーリングファンが突然作動することがあります。

場合によってはケガを負うこともありますのでご注意ください。

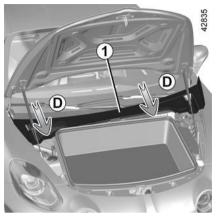


スカットルパネルグリルランチャネル の取付け

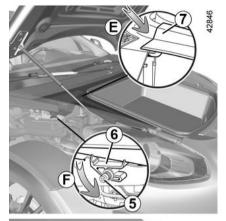
ランチャネル1を正しく取り付けることが重要です。

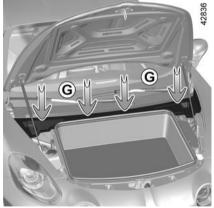
方法:

- ランチャネル1を取付け位置に合わせます(動作D)。
- 車両によっては、ランチャネル1を ウィングカバーハウジング7に挿入し ます(動作E)。
- ランチャネルの両端にある部品6をボディマウント5に留めます(動作F)。
- ランチャネルを押し込んで(動作G) 固定します。

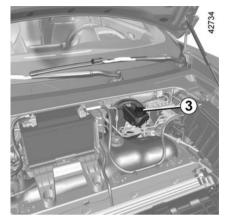


注: ランチャネル1がうまく固定できない場合(動作G)は、ランチャネルが部品5および7に正しく挿入されているか(ランチャネルが損傷するリスク)を確認してください。





ブレーキ液 (続き)



レベル3

通常はブレーキパッドが消耗するとブ レーキ液レベルも下がりますが、絶対 に「MINI」の目盛りを下回らないよう にしてください。

ご自分でディスクやトリムの摩耗状態 を点検する場合は、指定サービス工場 またはメーカーのウェブサイトから、 点検手順を記載した文書を入手してく ださい。

ブレーキ液の補充

ブレーキ油圧系統に何らかの整備を実 施したら、必ず専門家にブレーキ液を 交換してもらってください。

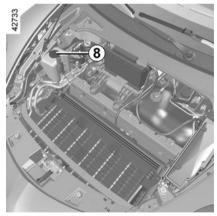
補充するときは、必ず(シールされた ボトルの) メーカー推奨ブレーキ液を ご使用ください。

交換時期

整備手帳を参照してください。

オイル消費量が異常に低下 したり、頻繁に低下する場 合は、指定サービス工場に ご相談ください。

ウインドウウォッシャータンク



ブレーキ液の補充

エンジンを停止し、キャップ8を開け ます。ウォッシャー液が見えるま所ま で補充した後、キャップを取り付けま す、

注: タンクのウォッシャ液量を定期的 に点検して、走行前に補充してくださ い。

ウォッシャー海

ウインドウウォッシャー液。冬季には 不凍液を使用してください。正規サー ビス工場推奨の製品を使用してくださ L1

フィルター

各種フィルター (エアフィルター、 キャビンフィルタ) の交換は車両のメ ンテナンスに含まれています。

フィルターの交換時期: 車両の整備手 帳を参照してください。



点検のためにボンネット を開ける場合、ワイパー のレバーが OFF 位置に あることを確認してくだ

さい。

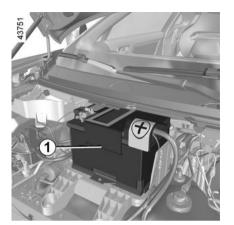
場合によってはケガを負うことも ありますのでご注意ください。



ボンネットの下側での作 業を行う前に、必ず、イ グニッションをオフにし てください(2章の「エ ンジンの始動と停止」を参照して

ください)。

バッテリー:



バッテリー 1 はメンテナンス不要です。バッテリーを開いたり、液を追加したりしないでください。



バッテリー液には希硫酸 が含まれています。 眼 や皮膚に付かないよう に十分注意してバッテ

リーを取扱ってください。万一眼 に入ったり皮膚 に付いたりした 場合には、多量の 水で洗い流し てください。必要に応じて病院で 診察を受けてください。

(爆発の恐れがあるため) バッテリには火炎、白熱体、火花などを近づけないでください。



お客様の安全および車両 の電装品(ライト、ワイ パ、ABS など)の適切な 作動のために、バッテリ

のすべての操作(取外し、ディスコネクションなど)は、必ず専門スタッフが行う必要があります。 重大なやけどまたは感電の危険性があります。

メンテナンス資料に記載された交換間隔に(超過なく)従う必要があります。

バッテリーは専用タイプです。同型のバッテリーと交換してください。

正規サービス工場にご連絡ください。

バッテリー:



ラベル A

バッテリーに記載されている次の注意 事項を守ってください:

- 2火気を近づける行為や喫煙は禁じ られています。
- 3必ず目を保護してください。
- **4**子供を近づけないでください。
- 5 爆発性物質。
- 6マニュアルを参照してください。
- 7腐食性物質。

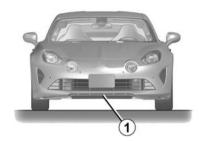


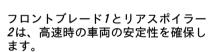
ボンネットの下側での作 業を行う前に、必ず、イ グニッションをオフにし てください(2章の「エ ンジンの始動と停止」を参照して ください)。

エアロパーツ

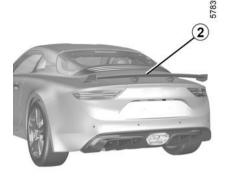
フロントプレード1とリアスポ スポラー2

57840





損傷がある場合は、速度を下ろして、 できるだけ早く指定サービス工場に連 絡してください。



M

フロントブレードやリア スポイラーに干渉しない でください。

車両の下側に衝撃が加わった場合(例:支柱、縁石の隆起、その他のストリートファニチャー)、またはリアスポイラーに衝撃が生じた場合は、指定サービス工場に車両の点検を依頼してください。

ローラタイプの洗車機は絶対に使わないで下さい。第4章の「ボディのメンテナンス」の項を参照してください。

ケガや車両故障の原因となりま す。

クリーニング

ボディのメンテナンス

ボディのお手入れ

洗車時はエンジンを停止し、メーカー 推奨のシャンプーをお使い の上こま めに洗車を行っ てください。 (研磨 剤入りの洗剤は使わない でくださ い。) 前もってジェットウォッシャー を使用して十分に洗い流してくださ い。

- 樹木の樹脂や産業による汚染物質。 - 泥が付着していると水分を吸収し、 錆が発生しやすくなります。ホイール
- ハウス内側やボディ下側など泥が付き やすいところをよく洗ってください。
- 鳥の糞 は塗料と化学反応を起こし て 塗装の変色を促進し、最終的には **塗装が剥がれます。**

こうした跡を見つけたら直ちに洗い流 してください。放置すると研磨しても 取り除けないようになります。

- 凍結防止剤が散布された道路を走行 したあとは、ホイールハウス内側やボ ディ下側を特によく洗ってください。

車両に付着した植物(樹脂、葉など) は定期的に除去してください。

洗車をする場合には、現地の規制に 従ってください(公道での洗車禁止 等)。

砂利道を走行するときは、塗装面を傷 つけないようにするため、前車との車 間距離を十分にとってください。

塗装面が傷ついたら、できるだけ早 く修理を受けるか、タッチアップペ イントなどで補修してください。錆 が広がるのをくい止めることができ ます。

防錆保証対象車の場合、忘れ ずに定 期点検を受けてください。整備手帳を 参照してくだ さい。

機械部品やヒンジ部などを洗浄した場 合は、必ずテクニカルサービス認可の ケア製品をスプレーして性能を維持す るようにしてください。



(i) ルノー販売店でお求めにな れる専用のケア製品を選び ました。

ボディのお手入れに関する注意



日差しの強い日や凍える日に洗車し ないでください。

泥や汚れを液体などで軟化せずに削り 落とす。

汚れやごみを付着したままで放置し ないでください。

傷から発生する錆を放置しないでく ださい。

メーカー推奨外の溶剤で汚れを除去す る。塗装面を傷めるおそれ がありま す、

雪や泥の中を走行後、特にホイール アーチやボディの下回りなどを洗わず に放置する。

高圧洗浄や、メーカーが推奨するスプ レー洗浄液以外などで脱脂や洗浄をし ないでください:

これらは、錆の発生や故障を招くおそ れがあります。

マット塗装の車両の特件

このタイプの塗装には一定の注意が必 要です。

ボディのお手入れ

やわらかい布やスポンジなどを使用し て、十分な水で車両を手洗いしてくだ さい。

ボディのお手入れに関する注意



ワックス(艶出し)を原料とした製品 の使用。

強い摩擦を与える。

洗車機に車両を通す。

塗装にステッカー類を貼り付ける(跡 が残るおそれがあります)。

クリーニング

高圧洗浄装置を使用した洗車

洗車機使用の場合

必ずワイパーのスイッチレバーを停止 位置に戻してください。(1 章の「フロントワイパー、ウォッシャー」の項を参照してください。)車 両の外装、追加ランプ、ドアミラーの取付けを確認し、ワイパーブレー ドをテープで固定してください。

ラジオアンテナが付いている場合は、アンテナを取外してください。 必ず接着剤を取除き、洗浄が終わったらアンテナを元に戻します。

エアロパーツ装備車の特徴



リアスポイラー装備車では、絶対にローラ式洗車 機を使用しないでください。

車両に損傷を与える危険性があり ます。

ヘッドランプ、センサ、カメラの クリーニング

必ず柔らかい布で拭いてください。まだ汚れが残っている場合は、 石鹸水を少し付けて、柔らか い布か脱脂綿で拭き取ってください。最後に、柔らかい布でそっと乾拭きしてください。

アルコールベースの洗浄剤やスクレー パなどの工具は使用しないでくださ い。

クリーニングステッカー、装飾 フィルムなど

ボディのお手入れ

必ず柔らかい布で拭いてください。石 鹸水で湿らせてから、いつも柔らかい 布やコットンできれいに拭いてくださ い。

最後に、柔らかい布でそっと乾拭きしてください。

ボディのお手入れに関する注意



アルコール系洗浄剤を使用してください。工具(スクレーパーなど)を使用します。強い摩擦を与える。

高圧洗浄装置を使用した洗車

内装のお手入れ

マルチメディア画面

画面のメンテナンスは、マルチメディア機器のタイプによって異なる場合があります。詳細については、マルチメディア機器の取扱説明書を参照してください。

計器類の透明カバー

(例: インストルメントパネル、時計、外気温計など)

必ず柔らかい布で拭いてください。 汚れが落ちないときは、石けん水を少 量含ませた布で拭き、その後水で濡ら した別の柔らかい布で拭き取ってくだ さい。

最後に、柔らかい布で**そっと**乾拭き してください。

アルコールを含む製品やスプレーはこのエリアに使用しないでください。

シートベルト

清潔でなければなりません。

ルノー認定製品(ルノーショップ) または石鹸水(ぬるま湯)をスポン ジにつけて拭き、乾いた布で拭き取 ります。

溶剤や染料は絶対に使用しないでく ださい。

布地(シート、ドアトリムなど)

定期的に埃を取り除くようにしてください。

液体の汚れ

石けん水を使用してください。

液体を柔らかい布に含ませるか(こすらずに)軽く叩いて拭き取ってから、 水拭きをし、最後に余分な水分を拭き 取ってください。

クリーニング

固形の汚れや粘着質の汚れ

へラを使って、直ちに固形の汚れや粘着質の汚れを慎重に落とします(汚れが広がらないように外側から内側に向かってヘラを動かします)。

液体汚れの場合は、指示に従って清掃 します。

飴やチューインガムについての注意事 項

汚れの上に氷を当てて固まらせます。 その後は固形の汚れと同じ手順です。

前 内装のお手入れについてアドバイスをお受けになりたい場合、または満足の行くようにお手入れできなかった場合は、ルノー代理店までご相談ください。

取り外し可能な車内装備の取り付け/取り外し

汚れを取り除くために、取り外し可能な装備(フロアマットなど)を取り外した場合は、装備を正しい側に(例えば運転席側フロアマットは運転席側に)正確に取り付け、所定のパーツでしっかりと固定(例:必ずもとから付いていた固定具を使って運転席フロアマットを固定)してください。

必ず停車した状態で、運転の妨げになるものがないか確認してください(ペダルの下に障害物がないか、足がフロアマットに引っかからないかなど)。

ボディのお手入れに関する注意



防臭剤や香水などを吹き出し口の付近 に置くこと。ダッシュボードのトリム を傷める恐れがあります。

車内で高圧洗浄機やスプレーを使用すること。

車内の電気系統またはコンピューター の機能を低下させたり、故障の原因と なったりする可能性があります。

タイヤ

タイヤ - ホイールの安全性

タイヤは車と地面とを結ぶ唯一の接点です。したがって安全な走行のためにはタイヤを常に良好な状態に維持することが大切です。

それぞれの国、地方の道路交通法規を遵守してください。

タイヤのメンテナンス



タイヤは、良好な状態で、タイヤ接地面(トレッド)の溝にも十分な深さがなかればなりません。ルノー技術部門認定タイヤには、トレッドの数カ所に摩耗状態を示すための摩耗警告ストラップ1が備わります。

トレッドが磨耗すると、摩耗インジデケータが現われ、タイヤ交換が必要だと一目でわかります2。摩耗インジデケータが現れた状態では、トレッなが最大でも約1.6 mmしか濡が態に達しており、滑りやすくできいた路面などでは十分な排水がでも状た路面などでは十分な排水できながリップ力を発揮でき換してよるため、必ずタイヤを交換してださい。

また荷物の積み過ぎや夏期の長距離走行、高速走行あるいは悪路の走行などはタイヤの摩耗や劣化を早めます。安全のためタイヤはこまめに点検しましょう。



「歩道にあたる」など運転中のトラブルにより、 タイヤやリムが損傷したり、フロントまたはリア

アクスルの調整不良を引き起こしたりします。このような場合は、 ルノー指 定サービス工場で点検 を受けてく ださい。

タイヤ空気圧

規定のタイヤ空気圧を守ってください (スペアタイヤも同様)。規定のタイヤ空気圧を守ってください。少なくと も毎月 1 回、またはサーキットで車両を走行させる前または長距離走行を する前はタイヤ空気圧を点検してください (運転席側のドアの端、または車両によっては運転席側のドアの下部に貼ってあるラベルをご覧ください)。



タイヤ空気圧が適正でないと、タイヤが異常に磨耗したり、異常に熱くなったりします。これら

は、安全性に重大な影響を及ぼ し、次の原因につながる可能性が ある要因です。

- ロードホールディングが低下します。
- バーストやトレッドのはく離が 起こるおそれがあります。

適切なタイヤ空気圧は、積載重量と走行速度によって異なります。 車の使用状況に応じて空気圧を調整してください(運転席ドアの 端、車両によっては運転席ドアの 下部に貼ってあるラベルを参 照)。

空気圧の点検はタイヤが冷えているときに行ってください。気温の高いときや高速走行後はタイヤ空気圧が通常よりも高くなっているため、その測定値は無視してください。

タイヤが冷えていて空気圧を点検する ことができない場合は、測定値に0.2 ~0.3バール (3 PSI) を足してくださ い。

温間時にタイヤの空気は絶対に抜かないでください。



注意:バルブキャップが なかったり締め方が悪 かったりすると、タイヤ の気密性が損なわれてタ

イヤ空気圧が低下することがあり ます。

バルブキャップを必ず元のバルブ に装着し、完全に締めてくださ い。

タイヤ空気圧監視シス テム装備車

アンダーインフレーション (パンクや 空気圧不足など) の場合は、インスト

ルメントパネルの警告灯 (大型) が点灯します。第2章の「タイヤ空気圧監視システム」の項を参照してください。

スペアタイヤ

第5章の「スペアタイヤ」と「タイヤ 交換」の項をご覧ください。

左右のホイールの交換

タイヤのローテーションは、特に必要 ではありません。



プロントホイールとリア ホイールのサイズが異なります。安全のため、フロントホイール(タイ

ロントホイール (タイヤ/リム) とリアホイールを交換することは禁止されています。

タイヤの交換



安全上の理由。 タイヤは新車時の標準装 備品と同じ製品か、また

備品と同じ製品か、または指定サービス工場推奨

の同等品をご使用ください。 これらの指示に従わなかった場合、安全性が損なわれる可能性があります。これは、車体とタイヤの間の安定性、動作、制動またはクリアランスに悪影響を及ぼす可能性があります。

これらの影響によって、特定の運 転条件の下で車両の制御が失われ る可能性があります。



安全性を守り、道路交通 法に従うために:

タイヤを交換する場合は、必ず元のタイヤと同じメーカー、サイズ、タイプ、ア

クスルのものを取付けてください。 それらは、少なくとも元のタイヤ

それらは、少なくとも元のタイヤと同等の荷重容量と速度定格を持ち、指定サービス工場が推奨するタイヤに対応していなければなりません。

これらの指示に従わなかった場合、安全性が損なわれると共に車両の適合性を無効にする可能性があります。

車両制御の喪失の危険性があります。

冬期の使用

チェーン

安全のため、後輪には必ずチェーンを 装着してください。前輪にも装着する ことを強くお勧めします。

標準装備のタイヤよりも大きなサイズ のタイヤを取り付けると、チェーンが 装着できなくなります。



チェーンを装着する場合 は、専用装備を使用する 必要があります。

正規サービス工場にご連 絡ください。

「スノー」タイヤまたは「スタッドレ ス」タイヤ

正常なグリップ力を確保するため、四 輪ともに同一種類のタイヤを装着する ことをおすすめします。

注意: これらのタイヤには回転方向が 決められている場合があり、使用可能 な設定速度が車両の最高速度より低い ことがあります。

スパイクタイヤ

スパイクタイヤはそれぞれの国や地方 の法律で定められた期間以外は使用で きません。法定制限速度を遵守してく ださい。

スパイクタイヤは最低限リアホイール 両輪に装着してください。



いずれの場合にも、お車に 最適な装備を選択させてい ただくために、ルノー正規 サ ービス工場にお問い合わせい ただくことをお勧めします。

タイヤ規定空気圧

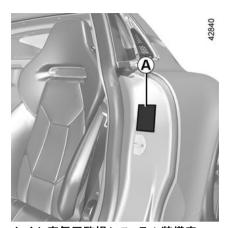
ラベル A



ラベルを読み取るには、運転席ドアを開けてください。ラベルAはドアの端、または車両によってはドアの下部にあります。

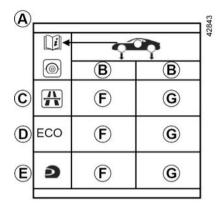
空気圧の点検はタイヤが冷えていると きに行ってください。

タイヤが冷えていて空気圧を点検することができない場合は、測定値に0.2~0.3バール(3 PSI) を足してください。温間時にタイヤの空気は絶対に抜かないでください。



タイヤ空気圧監視シス テム装備車 アンダーインフレーション (パンクや 空気圧不足など) の場合は、インスト

ルメントパネルの警告灯 が点 灯します。第2章の「タイヤ空気圧監視システム」の項を参照してください。



B. : 車両に装着されているタイヤの 直径

C: 一般道路および高速道路での意図 されている走行速度。

D.: 燃料消費を最適化するための推 奨圧力。

注:ドライビングコンフォートが変わることがあります。

E: サーキットでの意図されている走行速度。

F.: フロントタイヤの空気圧。

G.: タイヤ規定空気圧

タイヤの安全性とチェーンの使用:保守条件について、モデルによってはチェーンの使用について、第5章の「タイヤ」の項を参照してください。



安全性を守り、道路交通 法に従うために:

タイヤを交換する場合 は、必ず元のタイヤと同

じメーカー、サイズ、タイプ、ア クスルのものを取付けてくださ い。

元のタイヤと少なくとも等しい負荷容量および速度記号があるか、 指定サービス工場の推奨に従う必要があります。

これらの指示に従わなかった場合、安全性が損なわれると共に車両の適合性を無効にする可能性があります。

車両制御の喪失の危険性があります。

タイヤ空気注入キット





このキットを使うと、4 mm未満の物が原因でタイヤのトレッド部分Aに生じた傷を修理できます。

4 mm以上の傷やタイヤの側面Bについた切り傷などにより生じたパンクの修理には、このキットをお使いいただけません。

ホイールリムが良好な状態にあることも確認してください。 パンクの原因となった異物がタイ

ハンケの原因となった乗物がタイヤに刺さったままである場合は、 それを取り除かないでください。



パンクした状態での走行 により損傷したタイヤに はタイヤ空気圧注入キッ トを使用しないでくださ

い。

修理を行う前にはタイヤ側面を入 念に点検してください。

また、空気圧の不足したタイヤや、空気が完全に抜けた(またはパンクした)タイヤで走行することは危険であり、タイヤも修理不可能になります。

これはあくまでも応急処置です。 パンクしたタイヤは、できるだけ 速く専門家に点検(可能なら修 理)してもらってください。 このキットを使って修理したタイヤを交換する場合は、そのことを 作業員に伝えてください。 走行時、タイヤ内に注入された内 容物による振動が感じられること

があります。

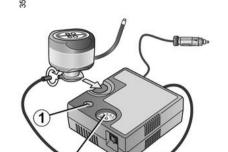


このキットは、装備車両 のタイヤだけを修理する ために認定を受けていま す。

いかなる場合でも、他の車両のタ イヤを修理したり、その他の物 (救命具やボートなど)を膨らま せることに使用しないでくださ い。

パンク修理剤の製品ボトルを扱う 際に、液体が皮膚にかからないよ うにしてください。もし付着した 場合は、大量の水で洗い流してく ださい。

修理キットを子供の手の届くとこ ろに放置しないでください。 ボトルは絶対に投棄しないでくだ さい。指定サービス工場または回 収業者までお届けください。 ボトルの使用期限はボトルに貼ら れたラベルに記載されています。 使用期限を点検してください。 注入チューブとパンク修理剤ボト ルを交換するときは、指定サービ ス工場においでください。





キットを使用する前に車 両を交通の妨げにならな い場所に移動してハザー ドランプを点灯し、パー キングブレーキをかけ、車両の全

乗員を車から下ろして安全な場所 に退避させてください。

パンク時は、ラゲッジルームにある キットをご使用ください。 タイヤ空気圧監視シス テム装備車 アンダーインフレーション(パンクや

空気圧不足など) の場合は、インスト

ルメントパネルの警告灯 (4) が点



灯します。第2章の「タイヤ空気圧監 視システム」の項を参照してくださ い。

エンジンを回転させ、パーキングブ レーキをかけた状態で、

- 車両のアクセサリーソケットからア クヤサリーをすべて外します。
- 車両のトランクにある空気注入ボ ンベキットに関する情報を参考に、取 扱説明に従って作業します。
- 推奨空気圧までタイヤに空気を入れ ます(「タイヤ空気圧」の項を参照し てください)。
- 15 分間を上限として空気を注入し たら、注入を止め、(圧力計 1 に表 示されている) 空気圧を読み取りま す。

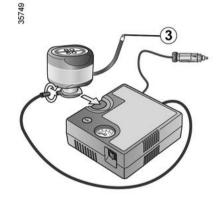
注: 容器が空になるまでの間(約30秒 間)は、圧力計1に表示される値が最 大で6 barに達することもあります が、その後、圧力は下がります。

- 空気圧の調整: 空気圧を上げるに は、キットを使って空気注入を続けま す。空気圧を下げるにはボタン 2 を 押します。



道路の脇に車を駐車する ときは、三角停止表示板 や国の法規で定められた 機器を使用して他の車に

駐車中であることを知らせる必要 があります。



15 分かけても推奨空気圧 1.8 bar にならない場合は、修理不能です。車両を走行させないでください。メーカーにお 問い合わせください。



ドライバーの足元には何 も置かないでください。 急ブレーキなどが必要な ときに、ペダルの下に物

が滑り込みブレーキ操作の妨げと なる危恐れがあります。

正しい空気圧になるまで空気を注入したら、キットを取外します。ボンベから空気注入ボンベのエンドピース3を液体が噴射しないようにゆっくり緩め、ボンベは液体が漏れないようプラスチック容器に保管します。

- 運転時の推奨事項のラベル (ボンベ 下にある) を、ダッシュボード上のド ライバーからよく見える場所に貼り付 けます。
- キットを収納してください。
- 一回目に空気注入を行った後は、タイヤからまだ空気が漏れます。穴をふさぐために走行を行うことが必要です。
- ただちににエンジンを始動して、20 ~60 km/hの速度で走行し、空気をタイヤ全体に行き渡らせます。3 kmほど走行したら停車して、空気圧を点検します。
- 圧力が 1.3 bar を超えていても推 奨圧力未満の場合は再調整します(運 転席ドアの端、または車両によっては 運転席ドアの下部に貼られているラベ ルを参照)。それ以外の場合は、正規

代理店にご連絡ください。タイヤは修 理できません。

キットの使用上の注意

キットは 15 分以上連続して使用しないでください。

液体が残っていてもボンベは使用後に 交換する必要があります。



キットで修理した後、 200 km 以上走行しない でください。また、走行 速度を抑え、いかなる場

合も 80km/h を超えないようにしてください。ダッシュボード上のドライバーからよく見える場所に貼り付ける運転時の推奨事項のラベルが注意を促します。

国または地方の法律により、タイヤ空気注入キットで修理したタイヤは交換しなければならない場合があります。

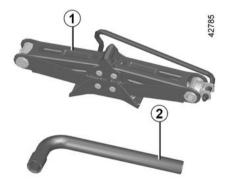


注意:バルブキャップがなかったり締め方が悪かったりすると、タイヤの気密性が損なわれてタ

イヤ空気圧が低下することがあります。

バルブキャップを必ず元のバルブ に装着し、完全に締めてくださ い。

ツール



ツールの有無は車両によって異なります。

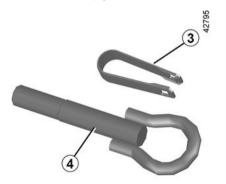
助手席にあるスペアタイヤ収納ケース にはバッグが入っており、次の工具が 含まれています。

ジャッキ1

指定位置に戻す前に、きちんと折りたたんでください(クランクハンドルを正しい位置に戻すようにしてください)。

ホイールレンチ2

これを使用して、ホイールボルトや牽引フック4のロックやロック解除を行うことができます。



トランクルームの空気注入キットケースには、次の工具が含まれています。 プライヤ*3*

ホイールボルトカバーを取り外すのに 使用します。

けん引フック4

第5章の「けん引:故障時の対処」を 参照してください。

ヒューズプライヤ5

ヒューズパック

第5章の「ヒューズ」の項を参照してください。





ツールを車内に放置した まま走行するのはお止め ください。ブレーキをか けたときに飛散する恐れ

があるためです。使用後は、すべてのツールがケースの中に取り付けられているか確認のうえ、ケースをトランクルームに正しく収納してください。放置しておくと乗員がケガをするおそれがあります

車載のジャッキは、タイヤ交換の 目的に限ってお使いください。絶 対にこのジャ ッキを使って修理 作業をし たり、車体の下に入ら ないでくだ さい。

パンク、スペアタイヤ

パンクした場合

車両により、タイヤ空気注入キットまたはスペアタイヤが装備されています (次のページ参照)。

タイヤ空気圧監視シス テム装備車 アンダーインフレーション (パンク*

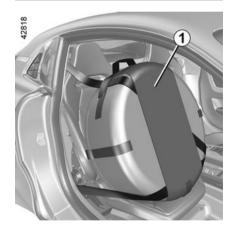
アンダーインフレーション (パンクや空気圧不足など) の場合は、インスト

ルメントパネルの警告灯 (生) が点 灯します。第2章の「タイヤ空気圧監 視システム」の項を参照してください。



道路の脇に車を駐車する ときは、三角停止表示板 や国の法規で定められた 機器を使用して他の車に

駐車中であることを知らせる必要 があります。





同じスペアタイヤを何年 も収納したままの場合 は、そのタイヤが現在で も安全に使用できるかど

も女宝に使用できるかとうかを整備工場で点検してもらってください。

- 当該車両には絶対にスペアタイヤを取付けないでください。
- スペアタイヤを後輪に使用する と、車両の最低地上高が小さくな ることがあります。
- スペアタイヤはできるだけ早く もとのサイズと同じタイヤに交換 してください。
- 時的にこのようなスペアタイヤを履いている間は、スペアタイヤホイールのラベルに書かれた制限速度を超えないように走行してください。
- スペアタイヤを装着すると車両の操縦性に影響が出ます。急激な加速や減速は避け、コーナリング時はいつもより速度を抑えてください。
- スペアタイヤを装着するには、 適切な道具または専用装備を使用 する必要があります。正規サービ ス工場にご連絡ください。

スペアタイヤ

車両にスペアタイヤが装備されている 場合、スペアタイヤ1は、助手席に紐 で固定された収納ケースの中に入って います。

タイヤの交換

ジャッキおよびホイールブレース 装備車両

空気注入キットケースに入っているプ ライヤを使用してホイールボルトカ バーを取り外します(車両に装備され ている場合)。

ホイールボルトのロックを、ホイール レンチ 1 を使って解除します。その ときホイー ルレンチの上から力を加 えられるように位置を選びます。

ジャッキ2を手で回して、ジャッキ ヘッドを、交換するホイールに一番近 いジャッキポイントに当てます(矢印 3の目印)。

(i) ジャッキやホイールレンチ などが車両に備え付けられ ていない場合は、ツール キットを指定サービス工場でお求 めいただけます。

さらにジャッキを回してベースプレー トを正しい位置に配置します(ベース プレートは車両の下に入り、ジャッキ ヘッド と垂直に一直線になっている 必要があります)。

ホイールレンチを回してホイールを地 面から離します。



怪我や車両の損傷を避け るために、地面から最大 3 センチ浮くまでジャッ キアップしホイールを交

換してください。



道路の脇に車を駐車する ときは、三角停止表示板 や国の法規で定められた 機器を使用して他の車に

駐車中であることを知らせる必要 があります。

ホイールボルトを外してホイールを取 り外します。

スペアタイヤをセンターハブに取付け て回転させ、タイヤとハブの穴の位置 を合わせます。

タイヤがしっかりとハブに取り付けら れていることを確認してボルトを締め ます。

ジャッキを下げます。

タイヤを接地させてボルトをきつく締 めます。なるべく早めにボルトの締め 付けトルクとスペアタイヤの空気圧を 点検してください。



タイヤがパンクしたら、 で きるだけ早く交換し 丿 てくだ さい。

パンクしたタイヤは専門 の技術者の点検を受け、修理可能 なら修理してもらってください。

タイヤ空気圧監視シス テム装備車

アンダーインフレーション(パンクや 空気圧不足など) の場合は、インスト

ルメントパネルの警告灯 灯します。第2章の「タイヤ空気圧監 視システム」の項を参照してくださ い。



ツールを車内に放置した まま走行するのはお止め ください。ブレーキをか けたときに飛散する恐れ

があるためです。使用後は、すべてのツールがケースの中に取り付けられているか確認のうえ、ケースをトランクルームに正しく収納してください。放置しておくと乗員がケガをするおそれがあります。

車載のジャッキは、タイヤ交換の 目的に限ってお使いください。絶 対にこのジャ ッキを使って修理 作業をし たり、車体の下に入ら ないでくだ さい。

けん引: 故障車両

すべてのけん引操作の前に、ギアボックスをNの位置に置き(第2章の「オートマチックトランスミッション」を参照)、ステアリングコラムのロックを解除します。次に、パーキングブレーキを解除します(第2章の「パワーアシストパーキングブレーキ」を参照してください)。

トランスミッションをNのポジション に移動することができない場合は、販 売代理店にお問い合わせください。

ステアリングコラムのロック解除

室内でハンズフリーカードを使用して、エンジン始動ボタンを押します(ブレーキペダルを踏まないでください。これは、エンジンの始動を避けるためです)。または、車両によっては、リモコンカードをリーダーに挿入します(第2章の「エンジンの始動、停止」を参照してください)。

ステアリングコラムのロックが解除され、アクセサリー機能の電源が ON になり、車両の各ライト(方向指示灯やブレーキランプなど)の使用が可能になります。夜間はさらに外部照明を点灯してください。

けん引が完了したら、バッテリ放電の リスクを回避するため、カードを使用 して車両をロックします(第1章の 「カード: 概要、使用方法」および 「ハンズフリーカード:使用方法」を 参照してください)。

イグニッションをOFFにすると、トランスミッションの潤滑が行われなくなります。平台型トラックで車両を運搬してください。

例外的な状況では、4輪すべてを地上につけて車両をけん引することができます。この場合、トランスミッションをニュートラル(N)ポジションに入れ、車両を前方方向にのみけん引し、距離は最大80 kmまで、速度は最大25 km/hまでとします。

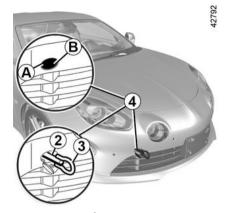
必ずけん引に関する現行の規則を守ってください。



車両をけん引していると きに、「ハンズフリー カード」を車両に差し込 んだままにします。ま

た、車両によっては、リーダから リモコンカードを抜き取らないよ うにします。

ステアリングコラムロックの危険 性。



前方のけん引ポイント*2*のみを使用してください

(ドライブシャフトや車両の他の部分を絶対に使用しないでください。) このけん引ポイントは車をけん引する ためのものです。車体を持ち上げるために使用してはなりません。



エンジンを停止すると、パ ワーステアリングや ブレー キの作動はでき ません。

けん引ポイントへのアクセス

ゾーンBを引いてフラップ4を開いた 状態で、ゾーン Aを押して圧力をかけ 続けます。

けん引フック3を最大限まで締めます: 最初止まるまで手で締め、次にホイー ルレンチを使用してロックし終了しま す。

けん引フック3のみをご使用ください (5章の「ツール」の情報を参照して ください)。



けん引用の目が正しくボ ルトで固定されているこ とを確認します。

けん引対象物を失う恐れ があります。



ツールを車内に放置した まま走行するのはお止め ください。ブレーキをか けたときに飛散する恐れ

があるためです。



- 堅いけん引用のバーを 使用してください。

- 走行に支障のある車両 をけん引してはなりません。

- 急に加速したり急ブレーキをか けたりしないでください。そのよ うな場合には重両が損傷するおそ れがあります。

- どのような状況でも、25 km/h 以下の谏度で走行してくださ い。

バッテリ: 故障時の対処

バッテリーを取扱うときの注意

- バッテリーを切り離すか再接続する 場合は、その前に「電装品」(車内灯 など) のスイッチをOFFにしてくださ い。

- バッテリーチャージャで充雷すると きは、バッテリに接続または接続を外 す前に必ずチャージャの電源をOFFに してください。

- バッテリーの上には絶対に工具や金 属製のものを置かないでください。 バッテリーがショートするおそれがあ ります。

- エンジン停止後、必ず1分以上待っ てからバッテリの接続を外してくださ い。

- バッテリを取り付けた後は、バッテ リ端子が正しく接続されていることを 確認します。



ください)。

ボンネットの下側での作 業を行う前に、必ず、イ グニッションをオフにし てください(2章の「エ ンジンの始動と停止」を参照して

バッテリーチャージャーの接続

定格雷圧が 12 V のバッテリーに適 合するチャージャーを使用してくださ い。

エンジンが作動しているときにバッテ リーの接続を外さないでください。充 雷の際はバッテリーチャージャーに付 属の取扱説明書の指示に従ってくださ L١,



一部のバッテリーには、 充電に関する特別な注意 事項があります。指定 サービス工場にご連絡く

ださい。

火花が飛ばないように十分注意してください。火花はただちに爆発事故の発生につながります。バッテリーは風通しの良い場所で充電してください。

大ケガを負う危険があります。



バッテリー液には希硫酸が含まれています。 眼や皮膚に付かないように十分注意してバッテ

リーを取扱ってください。万一眼 に入ったり皮膚 に付いたりした 場合には、多量の 水で洗い流し てください。必要に応じて病院で 診察を受けてください。

(爆発の恐れがあるため) バッテ リには火炎、白熱体、火花などを 近づけないでください。

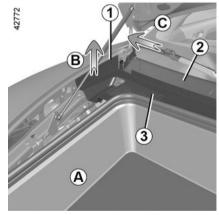
エンジンルームで作業を行う場合、機械部品が熱くなっていることがあります。

場合によってはケガを負うこともありますのでご注意ください。

他車のバッテリーからのエンジン 始動

バッテリーがあがり、エンジンを始動するために他の車両のバッテリーを使用しなければならない場合は、ルノー指定サービス工場で適切なブースターケーブル(セクションが重要です)をお求めになれます。また、ブースターケーブルの状態が良好か確認してください。

2 つのバッテリは同一の公称電圧12 Vでなければなりません。また、ともではればなりません。またくともアーは、少なくアンペルででなければなりません。教援を受ければなりません。教援を受けれる車は、絶対に多いでは、カステートを接続したときにショートバットがあります。かなでいる車のはまり、カスイッチをのFFにします。



車両によっては、バッテリーにアクセスするために、スカットルパネルグリルランチャネルを取り外さなければならないことがあります。

方法:

- スカットルパネルグリルランチャネル3のウィング1の後端を持って、上方向に引き抜き、ランチャネルをスカットルパネルグリル2から外します。
- ランチャネルの左側を持ち、上方向 (自分の方)に引き抜いて(動作B) 完全に外します。
- ランチャネルの右側を外すには、左に動いて(動作C)、ストラットに対してランチャネルを動かしやすくします。
- ランチャネル3をきれいな乾燥した 面の上にそっと置きます。



収納ボックスA非装備車 両

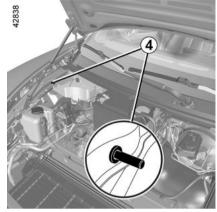
機械部品が存在するため、

- ボンネットの下に物をしまうことは禁止されています。
- エンジンルームの作業を行う場合は、エンジンルーム内に物を置き忘れないように注意してください。布や工具などを置き忘れると、機械部品が損傷したり、火災が発生することがあります。

損傷や火災の危険があります。

- エンジンルームで作業を行う場合、機械部品が熱くなっていることがあります。さらに、クーリングファンが突然作動することがあります。

場合によってはケガを負うこともありますのでご注意ください。

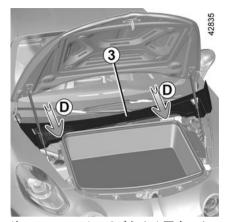


スカットルパネルグリルランチャネル の取付け

ランチャネル3を正しく取り付けることが重要です。

方法:

- ランチャネル3を取付け位置に合わせます(動作D)。
- 車両によっては、ランチャネル3を ウィングカバーハウジング6に挿入し ます (動作E)。
- ランチャネルの両端にある部品5をボディマウント4に留めます(動作F)。
- ランチャネルを押し込んで(動作G) 固定します。



注: ランチャネル3がうまく固定できない場合 (動作G) は、ランチャネルが部品4およびGに正しく挿入されているか (ランチャネルが損傷するリスク) を確認してください。



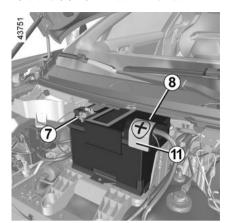




車両によっては、カバー を外します。

赤いタブ11を持ち上げて、端子8 (+) にアクセスします。プラスケーブルHを端子8 (+) に接続し、その後、供給側のバッテリーに端子9 (+) を接続します。

マイナスケーブルGを供給側のバッテリーの端子10(-)に接続し、その後、放電したバッテリーの端子7(-)に接続します。



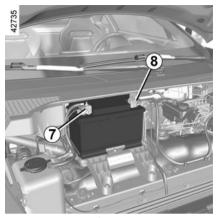
救援車のエンジンを始動させて中速で 回転させます。



ケーブル $G \ge H$ が接触し ておらず、プラスケーブ ルHが、給電車両の金属 部分に触れていないか確

認します。

ケガや車両故障の原因となりま す。



車両のエンジンがすぐに始動しない場合は、イグニッションスイッチを切り、数秒待ってから操作を繰り返してください。

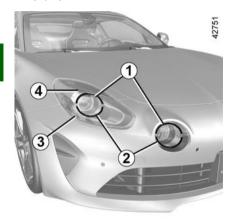
エンジンを回転させた状態でケーブル $G \succeq H$ を逆の順序 (7 - 10 - 9 - 8) で切り離します。

ヘッドライト、ランプ: 電球の交換

エクステリアランプ: 電球の交 換

ヘッドランプ

LEDデイタイムランニングランプと フォグランプ1



正規サービス工場にご連絡ください。

LEDハイビーム2

正規サービス工場にご連絡ください。

LEDロービーム3

正規サービス工場にご連絡ください。

LED方向指示灯4

正規サービス工場にご連絡ください。

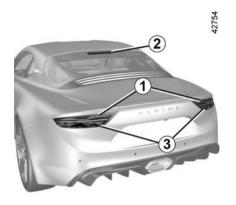


接続が間違っていると電 気機器(ハーネス、コン ポーネント、特にオルタ ネーター)の損傷につな

イーター)の損傷にうながる可能性があるため、電気系統の操作(または変更)は必ず指定サービス工場で実施する必要があります。さらに、指定サービス工場には、これらのユニットを取り付けるために必要なすべての部品がそろっています。

テールランプと表示灯

スモールランプ / ブレーキランプ および方向指示灯1



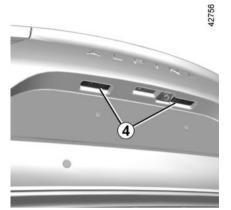
正規サービス工場にご連絡ください。

ハイマウントストップランプ2 正規サービス工場にご連絡ください。

バックランプとリアフォグランプ3 正規サービス工場にご連絡ください。

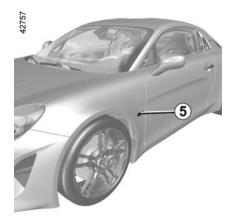
ヘッドライト、ランプ: 電球の交換

ナンバープレートランプ4



正規サービス工場にご連絡ください。

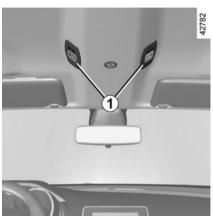
サイドウインカー5



正規サービス工場にご連絡ください。

ルームランプ: バルブ交換 バルブ交換

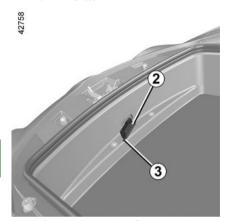
カーテシーランプ1



正規サービス工場にご連絡ください。

ヘッドライト、ランプ: 電球の交換

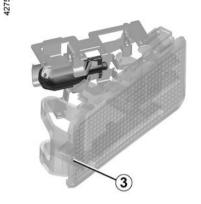
ボンネット収納ボックスランプ2



- タブ3を押してランプ2を取り外します。

- ランプユニットのカバーを外してバルブを交換します。

バルブタイプ: W5W。



ラゲッジルームランプ 4



左側のタブを押しながら、ランプ4を外します(マイナスドライバーなどを使用します)。

交換するバルブを取外します。 バルブタイプ: W5W。



ランプには圧力が掛かっ て いて、交換時に破裂 するお それがありま

場合によってはケガを負うこともありますのでご注意ください。

カードキー

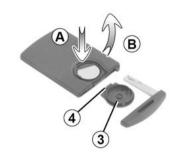
バッテリー:

電池の交換



インストルメントパネルに「カードキー バッテリー低下」というメッセージが表示されたら、カードのバッテリを交換をしてください。ボタン1を押しながらスペアキー2を手前に引き、タブ4を使用してカバー3を外します。

一方の側を押さえ(動作A)、他方を持ち上げる(動作B)ことにより、バッテリを取り外し、カバー3の記載に従って、極性とモデルを確認して交換します。



取り付けは、取り外しと逆の手順で行い、車両付近でカードのボタンを4回押して下さい。次にエンジンを始動させたときに、警告メッセージは消えます。

カバーが確実にはまっているか確認してください。

注: 電池交換の際は、カードの電子回路や端子に触れないようにしてください。

電池は指定サービス工場でお求めください。電池の寿命は約2年です。電池の液漏れがないか点検してください(液漏れがあると接触不良になるおそれがあります)。



| 交換が必要な場合は、同 | じタイプまたは同等のタ | イプのバッテリを使用し | てください(指定サービ

ス工場にお問い合わせください)。



交換時:

- バッテリーが正しく挿 入されていることを確認

してください。

爆発するおそれがあります。

- フラップが正しく閉まらない場合は、使用しないで子供の手の届かないところに置いてください。

カードキー

作動異常

電池が消耗しすぎて作動しない場合でも、(カードをカードリーダーに差し込んで)エンジンを始動し、車両をロック / ロック解除することができます(第1章の「ドアのロック / ロック解除」の項を参照してください)。

26913



使用済み電池は一般のゴミとして廃棄せずに、各地域の回収/リサイクル規定にしたがってください。



バッテリに関する注意事 項

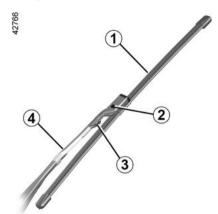
- 電池を飲み込まないようにして ください。

死に至る可能性のある化学的なや けどの危険性があります。

- 身体のいずれかの部分に摂取したり挿入した場合は、できるだけ早く医師に相談してください。

ワイパーブレード: 交換

ウインドウワイパーブレード 1 の交換



ウインドウワイパーアーム*4*を上げな いでください。

- ワイパースイッチレバーを完全に下 げます。ワイパーブレードはボンネッ トから外れた位置に停止します。 - イグニッションスイッチをOFFに し、ブレード1のタブ2を押します。 - ブレードを手前に引いて取り外しま
- ウインドウウォッシャー液パイプ3 を切り離します。

取付け

ワイパーブレードの取付けは、逆の手 順で行います。ブレードがロックされ ており、ウインドウウォッシャー液パ イプが正しく接続されていることを確 認してください。



() ワイパーブレードの状態を こまめ に点検してくださ い。これにより 耐用年数 が大きく変わります:

- ブレード、フロントウインドウ は定期的にセッケン水で洗ってく ださい。
- フロントウインドウが乾燥して いる状態で使用しないでくださ い。
- 長期間使用しないときは、ワイ パーをフロントウインドウから離 してください。



フロントワイパーブレー ド1は、フロントウイン ドウに固有であるため、 同等のフロントワイパー

ブレードと交換する必要がありま す。

正規サービス工場にご連絡くださ W



- 気温が低く、ワイパー が凍結して いる可能性 があるときは注意して

ください。凍りついたワイパーを 無理やりに作動しようとすると、 ワイパーモーターが過熱し、傷む 恐れがあります。

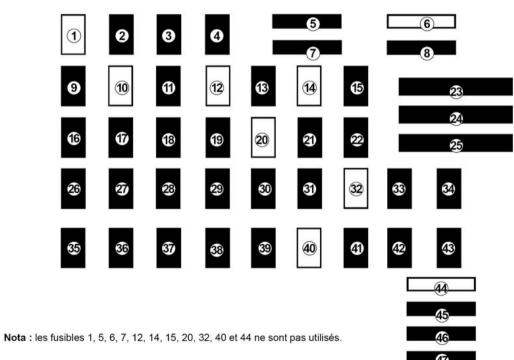
- ワイパーブレードの状態をこま めに点検してください。

ワイパーブレードは、性能が低下 してきたらすぐに交換してくださ い(1年に1回は交換してくだ さい)。

ブレードの交換中、ブレードが取 外されているときは、アームがウ インドー上に落ちないように注意 してください(ウインドーが損傷 するおそれがあります)。

ヒューズの配置

(ヒューズの有無と場所は、車両のエクイップメントレベルによって異なります。)



184 - 使用上のアドバイス

ヒューズ

用語

- 2 UCH (室内コントロールユニット)
- 3 助手席側のウインドウスイッチ
- 4 運転席側のパワーウインドウ
- 8 サービスリレー
- 9 電熱、クルーズコントロール / スピードリミッター、パーキングアシスト、リアウインドーウデフロスタ(リレー)
- 10 リアウインドーデフロス ター
- 11 電動ドアミラーのデフロスター
- *13* 右ハイビーム、左ロービーム、左スモールランプ
- *16* アクセサリ電源
- 17 ライトスイッチ
- 18 ホーン
- 19 ブレーキランプ
- **20** ラジオ、マルチメディアアクセサリソケット
- 21 オーディオアンプ
- 22 フロントワイパー
- *24* 左ハイビーム、右ロービーム、右 スモールランプ
- *25* リアフォグランプ、プレートライト
- *26* ABS /ESC ブレーキランプユニット

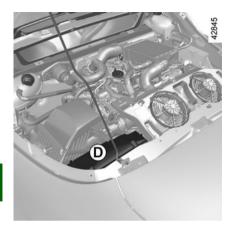
- 27 ルームランプ、ボンネットランプ、ラゲッジルームライト、ギアボックス、ワンタッチウインドウレギュレーター
- 28 レインセンサー、日射センサー、 エンジンスタートボタン
- 29 電動式ドアミラー
- 30 室内コントロールユニット、イン ジェクションユニット、燃料ポンプ、 イグニッションコイル、セルモーター
- 31 Airbag ユニット
- 33 電動パワーステアリング
- 34 ラジオ、診断ソケット
- 35 パワーウィンドウ、ラジオ、オーディオアンプ、マルチメディアアクセサリソケット、ブレーキランプ
- 35 ルームランプ、ラゲッジルームライト、ボンネットランプ、エアコン、ギアボックス、スタートボタン、レインセンサ / ランプ、スイッチ、ESC/ABS ユニット
- 36 電源管理センターユニット、テレマティックユニット
- 37 方向指示灯、アシストパーキング ブレーキスイッチ、クルーズコント ロール
- 38 ドア ロック/ロック解除
- 39 電源管理センターユニット
- *41* アラーム、ランプスイッチ、ホーン

- 42 インストルメントパネルユニット
- 43 ギアボックス
- 45 ヒーティングシート
- 46 ルームミラー
- *47* 室内コントロールユニット、ワイパー / ウォッシャースイッチレバー



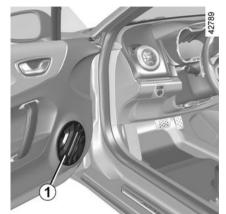
いくつかの機能は、次の場所にあるヒューズによって保護されています。

- フロントルーム (ユニットC)
- リアエンジンルーム (ユニット*D*)
- アクセスの難しい場所にあるため、 ヒューズの交換は正規ディーラーにお 任せくだ さい。



オーディオ(標準装備)

ドアスピーカー1



装備を後付けするときは、ルノー指定 サービス工場にご相談ください。

- すべての場合で、メーカーの取付説明書をよく読み、それに従ってください。 - サポートおよびケーブル(指定サービス工場で入手できます)の仕様は、車両の装備のレベルとラジオのタイプによって異なります。

装備の部品番号はルノー指定サー ビス工場にお問い合わせくださ い。

- 電気系統の追加、変更や修理などはすべて指定サービス工場におまかせください。不適切な配線や取り付けをすると車両の電装品やそれらに接続されている部品が損傷するおそれがあります。

アクセサリの取付けと使用: 重要な推奨事項



電装品アクセサリーの後 付け

電装品または電子機器を後付けする前に(特にに送受信機の場合: 周波数帯域、 出力レベル、アンテナの位置など)、それらがお車に適合するか確認してください。ルノー指定 サービス工場にご連絡ください。

アクセサリをソケットに接続する前に、ソケットに許可された最大電力を超えないようにしてください。第3章 の「マルチメディア機器」および「アクセサリーソケット」の項を参照してください。**火災の恐れがあります**。 車両の電気回路 / 電子回路を取扱う作業は、資格を持つ専門スタッフが行う必要があります。メーカーが承認していない電装品アクセサリーの不適切な接続および / または取付けを行った場合、以下の原因となることがあります:

- 電装機器の損傷。
- 接続されている部品の損傷。
- 車両データの収集および使用。
- プライバシーの侵害(個人データの改変、削除、または不当なアクセス)。

重大な事故のリスク。プライバシーの侵害の危険性。

将来に電装品を取り付けた場合は、該当するヒューズの定格と位置が通知されていることを確認してください。 **ダイアグノシスソケットの使用**

診断ソケットで電装品アクセサリーを使用すると、車両の電子装置に重大な障害が発生したり、プライバシーの侵害(個人データの改変、削除、または不当なアクセス)が生じたりする可能性があります。安全のため、メーカーによって承認された電装品アクセサリーのみ使用することをお勧めします。指定サービス工場にご相談ください。**重大な事故のリスク。プライバシーの侵害の危険性。**

アクセサリーの後付け

お車にアクセサリーを取付 けたいときは、ルノー指定 サービス工場にご相談くだ さい。車両の機能を良好に維持し、安全 な走行を確保していただくため に、メーカー車にはメーカー車専 用のアクセサリーを装備すること をお薦めします。メーカー車専用 アクセサリーは車両に適応するよ うに作られており、メーカーが保 証する唯一のアクセサリーパーツ です。

盗難防止用ロッドをお使いの場合は、ブレーキペダルにのみ取り付けてください。

運転の妨げになるもの

運転席側は、車両に適合したフロアマットのみを必ず使用し、あらかじめ装備されたパーツにしっかりと固定されているか定期的に確認してください。複数のマットを余分においてはいけません。ペダルの動作を妨げる危険があります。

下の表では、トラブルが発生したときの簡単な応急処理について説明しています。安全のためにできるだけ早くルノー指定 サービス工場にご相談ください。

カードキーの使用	考えられる原因	対処方法
カードが作動せず、 ドアが施錠/解錠し ない。	カードキーの電池切れ	電池を交換してください。車をロック / ロック解除して発進できます (第1章の「開口部の施錠と開錠」、第2章の「エンジンの始動と停止」 の項を参照してください)。
	カードと同じ周波数で作動 する機器を 使用する場合 (携帯電話など)。	装置の使用を停止し、カードの内蔵キーを使用してください(第1章の 「開口部の施錠と開錠」)。
		カードの内蔵キーを使用してください(第1章の「開口部の施錠と開錠」 を参照してください)。
	車両のバッテリーがあがっ ている場 合。	
	発進しました。	エンジンが作動中に、カードを使用してロック / ロック解除できない。 イグニッションスイッチを OFF に します。
	カードの非同期化。	カードの内蔵キーをドアロックに差し込み、運転席ドアのロックを解除 します(第1章の「開口部の施錠と開錠」の項を参照)。そして、配置エ リアにカードを置き(第2章の「エンジンの始動と停止」の項を参照)、 STARTボタンを押してカードを同期します。

エンジンを始動してください	考えられる原因	対処方法
メーターパネルの表示灯/警告灯が暗い、または点灯しない、ス	ケーブルの接続不良、切 断、酸化。	再締付け、再接続または酸化の場合には清掃する。
ターターが 作動しない。	バッテリーの放電または故 障。	ブースターケーブルを他車のバッテリーに接続してエンジンを始動する。第5章の「バッテリー: 故障時の対処」の項を参照するか、必要に応じてバッテリーを交換してください。

エンジンを始動してください 考えられる原因		対処方法	
		ステアリングコラムがロックされてい るときは車を押さな いでください	
	回路に欠陥があります。	正規サービス工場にご連絡ください。	
エンジンが始動しない	始動条件が満たされていな い。	第2章の「エンジンの始動と停止」の項を参照してください。	
	「ハンズフリー」カードが 機能しない。	カードリーダーにカードを挿入して始 動させてください。 第2章の「エンジンの始動と停止」の項を参照してくださ い。	
車両が停止しておりエンジンが冷 えた状態で、エンジンのアイドリ ング速度が速い。	必ずしも異常ではありません。これは、エンジン温度 の上昇によって引き起こされる場合があります。	エンジンのアイドリング速度は、約 1 分後には低下するはずです。そうでない場合は、別の故障が原因かもしれません。正規サービス工場にご連絡ください。	
エンジンが停止しない。	カードが探知されません。	カードキーをカードリーダーに差込みま す。	
	 電装系統の故障	エンジンスタートボタンを、素早く 5 回押してください。	
ステアリングコラムのロックが解 除で きない	ステアリングホイールの ロック	エンジン始動ボタンを押しながらステアリングを動かします (第2章の「エンジンの始動と停止」の項を参照してください)。	
	電気回路に障害があります。	正規サービス工場にご連絡ください。	

走行中	考えられる原因	対処方法
異常な振動があ	タイヤ空気圧が不適切、バランス不 調、タ	タイヤ空気圧を点検し、空気圧が正常ならばルノー指定サー
る	イヤの損傷	ビス工場で点検をお受けください。

走行中	考えられる原因	対処方法
	必ずしも異常ではありません。気候条件(寒 さ、湿度など)によっては、車両の急激な加 速時に煙が発生することがあります。	エンジンの回転数を落とし、急な加速を避けて徐々に煙が消 えるようにします。そうでない場合は、別の故障が原因かも しれません。正規サービス工場にご連絡ください。
エンジンルーム から発煙	ショートまたは冷却回路漏れ。	車を止め、イグニッションスイッチを OFF にして車から離れてください。指定サービス工場にご連絡ください。
油圧警告灯が点 灯		
旋回時または制 動時	エンジンオイルレベルが低すぎる	エンジンオイルの補充(4 章の「エンジンオイルレベル、補充/注入」の項を参照してください)。
消灯が遅い、または加速時に点灯したままになる。	油圧不足	車を止めて、指定サービス工場にご連絡ください。

走行中	考えられる原因	対処方法
ステアリングが重い	パワーステアリングシス テムのオー バーヒー ト。 電動アシストモータの故 障。 アシストシステムの故 障.	低速度で慎重に走行し、ハンドルに必要以上の力をかけないように運転します。正規サービス工場にご連絡ください。
- エンジンのオーバーヒート。水温 計の針が警告ゾーンにあり、警告灯	電動冷却ファンの故障	車を止め、エンジンを停止して、ルノー指 定サービス工場 にご連絡ください。
STOP が点灯します。		

走行中	考えられる原因	対処方法
	冷却水漏れ	クーラントリザーバを点検します。液体が含まれているはずです。入っていない場合には、なるべく早くルノ 一正規サービス工場にご連絡ください。
クーラントリザーブタンク内の沸 騰。	シリンダーヘッドガス ケットの破損。	エンジンを止める 正規サービス工場にご連絡ください。



ラジエータ:冷却水が大幅に不足している場合、エンジンが非常に熱い間は絶対に冷たい液体を補充しないでください。車両の点検整備などで冷却水を一部でも抜いた場合には、必ず規定濃度に薄めた新しい冷却水を補充します。メーカー指定以外の製品は、絶対に使用しないようお願いいたします。

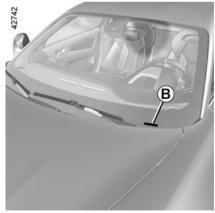
電装品	考えられる原因	対処方法	
ワイパーが作動しない	ワイパーブレードの固着	ブレードを慎重にガラスからはがします。	
	電気回路に障害があります。	正規サービス工場にご連絡ください。	
	損傷ヒューズ	ヒューズを交換します。第5章の「ヒューズ」の項を参照してください。	
ワイパーが停止しない。	電動スイッチの故障	正規サービス工場にご連絡ください。	
方向指示灯の点滅速度が通 常より速い	作動不良のランプ。	第5章の「ヘッドランプ: バルブ交換」または「テールランプとサイドランプ: バルブ交換」の項を参照してください。	
方向指示灯が点灯しませ ん。	電気回路またはスイッチに 障害があります。	正規サービス工場にご連絡ください。	
	損傷ヒューズ	ヒューズを交換します。第5章の「ヒューズ」の項を参照してください。	

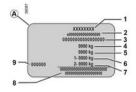
電装品	考えられる原因	対処方法
ヘッドランプまたはその他 のランプが点灯または消灯 しない。		正規サービス工場にご連絡ください。
	損傷ヒューズ	ヒューズを交換します。第5章の「ヒューズ」の項を参照してください。

電装品	考えられる原因	対処方法
ランプとテールランプの内部の結露。	結露は温度と湿度の変化によって生じる自然現象なので故障ではありません。 このような場合、汚れはランプを使用しているうちに消えます。	
前方シートベルト未着用の表示ランプが 実際の装着状態を反映していない。	何かがフロアとシートの間に挟まって、センサーの働きを 阻害しています。	前方座席の下には何 もおかないでくださ い。

ビークルプレート







メーカープレートに刻印された情報が、あなたの注文した車両の仕様と同じであることを確認してください。 これらの情報の有無と設置場所は、車種によって異なります。

メーカープレートA

- 1. メーカーの名称
- 2. EC識別番号、またはホモロゲーション番号
- 3. 識別番号
- **B.** 車両により、この情報はラベルに も表示されています。
- 4. MMAC車両総重量
- 5. MTR (連結総重量)。
- 6. MMTA前アクスル(最大許容軸荷重)
- 7. MMTA後アクスル
- 8. パートナーシップまたは追加登録 に限ります。
- カラーデータ (カラーコード)

緊急サービスに関する技術情報

61551



緊急時に対応する作業者は、タブレットまたはスマートフォンを使用してラベルAのQR Codeを読み取ることにより、事故時の車両に対処するために役立つ技術情報をすぐに入手できます。

常にラベルAがフロントウィンドウとリアウィンドウに、見えるように貼られている必要があります。

改変または損傷がある場合、この情報を入手できない恐れがあります。

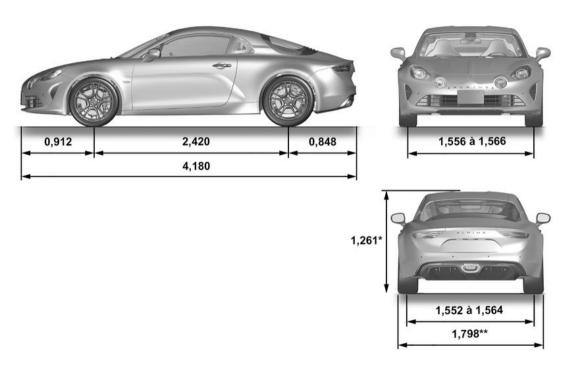




エンジン諸元

モデル	1.8 Tce		
エンジンタイプ (エンジンプレートに表示さ れています)	M5P Turbo		
総排気量(cc)	1798		
使用燃料 オクタン価	必ず フューエルフラップ内のラベルに記載されているオクタン 価の 無鉛燃料を使用してください。		
点火プラグ	エンジンに適合したプラグ以外は使用しないでください。 点火プラグのタイプはエンジンルーム内のラベルに表示されていま す。不明の場合は指定サービス工場にお問い合わせください。 不適切な点火プラグを使用すると、エンジンを損傷する恐れがあり ます。		
欧州規格に適合し、欧州で販売された車両のエンジン に互換性がある燃料タイプ(いずれの場合でも、ル ノー正規ディーラーにお問い合わせください)。	E5 容量あたり5%以内のエタノールを含む、標準EN 228準 拠の無鉛ガソリン。		
	E10 容量あたり10%以内のエタノールを含む、標準EN 228準 拠の無鉛ガソリン。		

車両寸法(単位:m)



* 空車時

** 1.854 ドアミラーを折りたたんだ状態

重量 (kg)

表示された重量はオプションの取付部品を含まないベース車両の重量です。重量は車両の装備に応じて変わります正規代理店にお問い合わせください。
最大許容荷重 (MMAC))
最大許容軸荷重 (MMTA)
連結総重量 (MTR)メーカプレートに表示された重量 (6章の「車両識別プレート」の情報を参照)

連結総重量 (MTR)ブレーキ付きトレーラのけん引重量
アレーキなしトレーラのけん引重量
トレーラー連結装置の最大許容重量不可トレーラー連結装置の最大許容重量
ルーフ最大積載重量不可

部品および修理

ルノーの純正部品は非常に厳密に仕様書に基づいて製造され、特殊なテストを受けています。したがって純正部品は、新車に装着されている商品と同等またはそれ以上の品質水準を保っています。

メーカーの純正部品を正しく装着することにより、お車の性能を長く維持することができます。またルノー指定サービス工場で実施された純正部品を使用しての修理には保証規定が適用されます。

VIN:			
日付:	Km:	請求書 No.:	備考
作業タイプ:		スタンプ	
点検 口			
防錆点検:			
OK 🗆 OKでない* 🗆			
日付:	Km:	請求書 No.:	備考
作業タイプ:		スタンプ	
点検 口			
防錆点検:			
OK 🗆 OKでない* 🗆			
日付:	Km:	請求書 No.:	備考
作業タイプ:		スタンプ	
点検 口			
防錆点検:			
OK 🗆 OKでない* 🗆			

VIN:			
日付:	Km:	請求書 No.:	備考
作業タイプ:		スタンプ	
点検 🗆			
防錆点検:			
OK □ OKでない* □			
日付:	Km:	請求書 No.:	備考
作業タイプ:		スタンプ	
点検 口			
防錆点検:			
OK □ OKでない* □			
日付:	Km:	請求書 No.:	備考
作業タイプ:		スタンプ	
点検 🗆			
防錆点検:			
OK □ OKでない* □			

^{*}該当ページをご覧ください

V/N:			
日付:	Km:	請求書 No.:	備考
作業タイプ:		スタンプ	
点検 口			
		_	
防錆点検:			
OK □ OKでない* □			
日付:	Km:	請求書 No.:	備考
作業タイプ:		スタンプ	
点検 口			
		_	
防錆点検:			
OK □ OKでない* □			
日付:	Km:	請求書 No.:	備考
作業タイプ:		スタンプ	
点検 口			
]	
防錆点検:			
OK 🗆 OKでない* 🗆			

VIN:			
日付:	Km:	請求書 No.:	備考
作業タイプ:		スタンプ	
点検 口			
防錆点検: OK □ OKでない* □			
日付:	Km:	請求書 No.:	備考
作業タイプ:		スタンプ	
点検 口			
防錆点検: OK □ OKでない* □			
日付:	Km:	請求書 No.:	備考
作業タイプ:		スタンプ	
点検 □			
防錆点検: OK □ OKでない* □			

VIN:				
日付:	Km:	請求書 No.:	備考	
作業タイプ:		スタンプ		
点検 □				
防錆点検:				
OK 🗆 OKでない* 🗆				
日付:	Km:	請求書 No.:	備考	
作業タイプ:		スタンプ		
点検 口				
防錆点検:				
OK □ OKでない* □				
日付:	Km:	請求書 No.:	備考	
作業タイプ:		スタンプ		
点検 □				
防錆点検:				
OK 🗆 OKでない* 🗆				

VIN:			
日付:	Km:	請求書 No.:	備考
作業タイプ:		スタンプ	
点検 口			
防錆点検: OK □ OKでない* □			
日付:	Km:	請求書 No.:	備考
作業タイプ:		スタンプ	
点検 口			
	<u> </u>		
防錆点検: OK □ OKでない* □			
日付:	Km:	請求書 No.:	備考
作業タイプ:		スタンプ	
点検 口			
防錆点検: OK □ OKでない* □			

^{*}該当ページをご覧ください

修理による保証請求時には、修理内容は以下に記載されています。

VIN:

修理日: 実施した錆の修理:	スタンプ
修理日: 実施した修理:	スタンプ

修理による保証請求時には、修理内容 VIN:	は以下に記載されています。
修理日: 実施した錆の修理:	スタンプ
修理日: 実施した修理:	スタンプ

修理による保証請求時には、修理内容は以下に記載されています。

修理日: 実施した錆の修理:	スタンプ
修理日:	スタンプ

修理による保証請求時には、修理内容は以下に記載されています。 修理日: スタンプ 実施した錆の修理: 修理日: スタンプ 実施した修理:

修理による保証請求時には、修理内容は以下に記載されています。

修理日: 実施した錆の修理:	スタンプ
修理日:	スタンプ

修理による保証請求時には、修理内容は以下に記載されています。 //№:			
修理日: 実施した錆の修理:		スタンプ	
修理日: 実施した修理:		スタンプ	

修理による保証請求時には、修理内容は以下に記載されています。

修理日: スタンプ 実施した錆の修理: 修理日: スタンプ 実施した修理:

記号・数字 「ハンズフリー」カード: バッテリ、179 Α ABS, 112 Airbag, 22 Airbag: 助手席エアバッグ無効化、40 Airbag: 助手席エアバッグ有効化、40 Airbags: チャイルドセーフティー、40 Ε ECO 運転、106 ESC: 横滑り防止装置、88、112 S Stop and Start, 85 Warning, 75 ァ アクセサリ雷源、135 アンチロックブレーキシステム:ABS、112 アンロック、13 ィ インジケータ、**75**、176 インストルメントパネル、48、59

インストルメントパネルトのメッセージ、48 インストルメントパネル上の警告灯、48、59 インテリアトリム: お手入れ、157 ゥ ウインドウウオッシャー、76 ウィンドウワイパー: ブレード、181 I エアコン: 情報や用法アドバイス、129 エアコンディショナー、125、127、127、127、129、129 エアバッグ:airbag、22 エアロパーツ、155 エンジン: アクセス、141 エンジンオイル、145、145、146 エンジンオイルの交換、146 エンジンオイルレベル:、145、146 エンジンオイルレベルゲージ、145 エンジンの始動、82、85 エンジンの停止、82、82 エンジンルームへのアクセス、141 エンジンをスタンバイにする、85 エンジン始動 / 停止ボタン、82 エンジン冷却水、148 ォ

オイルフィルター、146

オーディオ(標準装備)、187、187

オートマチックトランスミッション(用法)、92

け オンボードコンピューター、48 お子様、28 けん引: 故障車両、171 お子様の運搬、28、36 お手入れ: インテリアトリム、157、157 \Box お手入れ: フィルター、149 コントロール:排出ガスコントロール、105 お手入れ:機械のお手入れ、145 お手入れ: 車体点検整備、156 コントロール警告灯、48、59 シ 力 シートベルト、19、22 カーテシーランプ、134 シートベルトプリテンショナー、22 カードキー: スペアカードキー、4 シートベルト補助拘束装置、22 カードキー: ハンズフリー. 4 シフトコントロール、92 カードキー: ハンズフリーモードでエンジン始動不可、4 カードキー: 開口部のロック/ロック解除、4 ス カードキー: 電池、179 カードキー: 用法、4、6、11 ステアリングホイール:調整、71 ガソリン車特記事項、98 スピーカー: 位置、187 スピードリミッター、116 # スペアキー、4 スペアタイヤ、167 ギアチェンジ、92 スポットライト、134 キー/リモコン、11 キャタライザー、98 スモールランプ、176 ク セ セントラルドアロック、6、11、13、15 クルーズコントロール、118 クルーズコントロール - スピードリミッター、116、118 夕 グローブボックス、136 タイヤ、109、159 タイヤの交換、168

タイヤ規定空気圧、109、162、162 タイヤ空気圧モニターシステム、109 タイヤ空気注入、109、162 タイヤ空気注入キット、165

チ

チャイルドシート、28、33、36 チャイルドシートの取付け、33 チャイルドシート拘束システム、28、36 チャイルドシート拘束装置、28、28、36

デ

ディスプレイ、59 デミスター: フロントウィンドウ、127 デミスター: リアウインドウ、127

ド

ドア、12 ドア/テールゲート、4、6、11、12、13、15 ドア/ルームミラー、72 ドアをロックする、4、6、11、12、13、15 ドア開放、12、13 ドア閉鎖、12、13 ドライビングポジション、43 トラクションコントロール、88、112 トランク、138 トリップコンピューター、116、118、121、122

ナ

ナビゲーション、132 ナビゲーションシステム、132

11

ハザードフラッシャ、75 ハザードランプ、75 バッテリー:、171 バッテリー:故障修理、171 バルブ:交換、176、176、177 バルブ交換、176、177 パワーウインドウ、133 パンク、167、168 ハンズフリーカードキー: 用法、4、6 ハンズフリー電話コントロール、132 パーキングアシスト、121 パーキングブレーキ故障、100

匕

ヒーター、125、127、129 ヒーター付きフロントウィンドウ、127 ヒューズ、182、184 ヒルスタートアシスト、112

ブ

ブレーキランプ、176 フロントウインドウデフロスター/デミスター、127 フロントシート: 調整、17 フロントシートベルトプリテンショナー、22

フロントシートベルト補助拘束装置、22 フロントシート調整、17 フロントワイパーブレードの 交換、181

^

ヘッドランプ、73、75、176、176 ヘッドランプ: バルブ交換、176

木

ホイール(安全機能)、159 ホーン、75 ホーン/パッシングランプ/ハザードランプ/方向指示灯、75 ボンネット、143

マ

マルチメディア装備、132

Ŧ

モードSport、88

ラ

ライター、135 ラゲッジルームへの荷物の積み込み、138 ラジオ、132 ランプ類、73、75

IJ

リアビューカメラ、122

リモコンカードキー: バッテリー、179 リモコンカードキー: 用法、4、11

ル

ルームランプ、134、134、177 ルームランプ: バルブ交換、177

レ

レベル:、141、149

レベル: エンジンオイル、145 レベル: 冷却水、148

П

ロービーム、176

ワ

ワイパー、76、76 ワイパーブレード、181 ワイパーブレード: 交換、181

運

運転支援、112、116、118、121、122 運転席: 設定、19 運転席調整、17、19

横

横滑り防止装置:ESC、112

温

温度調節、127、129

灰

灰皿、135

開

開口部、12

換

換気、127、129 換気装置、125、127

機

機器: マルチメディア、132、187 機能「Stop and Start »、85

緊

緊急ブレーキ、112 緊急時ブレーキアシスト、112

牽

牽引フック、171

故

故障修理: バッテリー、171

索引

後

後進レーダー、121

作

作動不良: カードキーの電池、4

子

子供を乗車させるとき、28、36

時

時計、65、65

車

車体点検整備 (お手入れ)、156 車両カスタマイズ設定、62 車両のイグニッションスイッチを ON にする、82 車両持上げ:ホイール交換、168 車両設定カスタマイズ、62 車両調整のパーソナリゼーションメニュー、62

取

取付け部品、136

徨

省燃料、106

乗

乗員安全確保:airbag の無効化、40

清

清掃: 車内、157

洗

洗浄、156

大

大型収納、136

地

地球にやさしい車づくり、104

着

着信ランプ、75

点

点検ツール、48、59、65 点検整備、105

電

電動パーキングブレ ーキ、100 電話、132

淦

塗装: お手入れ、156

灯

灯火類、73

灯火類: バルブ交換、176

燃

燃料: 等級、79

燃料:燃料消費量の低減に役立つヒント、106

燃料:補給、79 燃料タンク、79

燃料タンクキャップ、79 燃料タンク容量、79

排

排出ガスコントロール: アドバイス、105

発

発進する、82、92、98、100、106、109、112、116、118、121

方

方向指示灯、75、75、176

容

容量: エンジンオイル、146



4

SOCIÉTÉ DES AUTOMOBILES ALPINE, SA par actions simplifiée à associé unique au capital de 3 567 564 € AVENUE DE BREAUTE, 76200 DIEPPE - SIRET 662 750 074 / SITE INTERNET : alpinecars.com



